

夏御文

抑ツモク今日コノニチノ聖教シヤウキョウヲ聽聞チキウモンノタメニトテ、ミナオン、コレハ御サツラフコトヨリ候事シンジムハ、信心シンシンノ  
 イハレヲヨクサツラフ、コ、ロエラレ候オシテ、今日コノニチヨリハ御心オシヲウカサツラフ、ト御オシモチ候サツラフハ  
 デ、キ、ワケラレ候サツラフハ、ナニノ所用シヨウヤウモナキコトニテアルベク候サツラフ。ソノイハレヲ只サツラフ  
 今イタマウスベク候サツラフ。御オシミ、ヲスマシテ、ヨクサツラフ、キコシメシ候サツラフベシ。  
 夫ソレ。安心アンシント申マウスハ、モロサツラフ、ノ雜行ザフキヤウヲステ、一心イツシンニ彌陀ミダ如來ヨライヲタノミ、今度コノトノワ  
 レラガ後生ゴシヤウタスケタマヘト申マウスヲコソ、安心アンシンヲ決定クエチデヤウシタル行者ギヤウシヤトハマウシ候サツラフナレ  
 コノイハレヲシリテノウヘシ佛恩報謝ブチオンホウシヤノ念佛ナムブチトハ申マウスコトニテ候サツラフナリ。サレバ聖人シヤウニン  
 ノ和讚ワサンニモ、智慧チエノ念佛ナムブチウルコトハ、法藏願ホフサウガン力チケノナセルナリ、信心シンシンノ智慧チエニイリ  
 テコソ、佛恩報謝ブチオンホウズル身ミトハナレトオホセラレタリ。コノコ、ロヲモテ、コ、ロエラレ候サツラフ

夏御文

百六十七



ハシコト肝要ニテ候。ソレニツイテハ、マツ念佛ノ行者、南无阿彌陀佛ノ名號ヲキカバ、アハハヤワガ往生ハ成就シニケリ、十方衆生往生成就セズハ、正覺トラジ、トチカヒタマヒシ法藏菩薩ノ、正覺ノ果名ナルガユヘニトオモフベシトイヘリ、マタ極樂トイフ名ヲキカバ、アハワガ往生スベキトコロラ成就シタマヒニケリ、衆生往生セズハ正覺トラジトチカヒタマヒシ法藏比丘ノ成就シタマヘル極樂ヨトオモフベシ、マタ本願ヲ信シ名號ヲトナフトモ、ヨソナル佛ノ功德トオモヒテ、名號ニ功ライレカバナドカ往生スドガザラシナンドオモハンハ、カナシカルベキ事ナリ、ヒシトワレラガ往生成就セシスガタラ、南无阿彌陀佛トハイヒケルトイフ信心ヲヌレバ、佛體ニカハチワレラガ往生ノ行ナルガユヘニ、一聲ノトコロニ往生ヲ決定スルナリ。ゴノコ、ロハ安心ヲトリテノウヘノ事ドモニテハンメルナリト云ハロモアルベキコトナリ、トオモフベキモノナリ。アナカシコ〜。

明應七年五月下旬

二

抑今日御影前へ御ヤイリ候。面々ハ、聖教ヲヨミ候。御聽聞レタヌニテゾ御イリ候。ラン、サレバイツレノ所ニテモ、聖教ヲ聽聞セラレサフヲトキモ、ソノ義理ヲキ、ウケラル、分モ、更ニ候ハデ、タ人日バカリノヤウニ、ミナ〜アツマラレ候。コトハ、ナニノ篇目モナキヤウニオホヘ候。ソレ聖教ヲヨミ候。コトモ他力ノ信心ヲトラシメシガタヌニコソ、ヨミ候。コトニテ候。ニ、サラニツノイハレヲキ、ウケラレ候。テ、ワガ信ノチサキヲモサラサレ候。ハシコトヨソ、佛法ノ本意ニテハアルベキニ、毎日ニ聖教ガアルトテハ、シルモシラヌモ、ヨラレ候。コトハ、所詮モナキコトニテ候。今日ヨリシテハ、アヒカヤヘテ、ソノイハレヲキ、ウケラレ候。テ、モトノ信心ソワロキコトヲモ、人ニタツテラレ候。テ、チヲサレ候。ハデハ、カナラ

夏御文



ベカラズ候。○ソノ分ヲヨク〜コ、ロエラレ候テ、サフラフ聽聞候ハ、ジキヤウクエタ自行化他ノタメ、シカルベキコトニテ候。サフラフソノトヲリヲ、アラマシ、タゞイママウシハンベルベク候。○御ミ、ヲスマシテ御キ、候ヘ。夫、サフラフ安心トマウスハイカナル罪ノフカキ人モ、モロモロノ雜行ヲステ、サフラフ一心ニ彌陀如來ヲタノミ、コムド今度ノワレラカ後生タスケタマヘトマウスヲコソ、サフラフ安心ヲ決定シタル念佛ノ行者トハ申ナリ。○コノイハレヲヨク決定シテノウヘノ佛恩報謝ノタメトイヘルコトニテハ、サフラフ候ナレ。○サレハ聖人ノ和讃ニモ、サフラフコノコ、ロヲ、チエ智慧ノ念佛ウルコトハ、ホフザウクワンリキ法藏願力ノナセルナリ、シム信心ノ智慧ナカリセバ、チハシイカデカ涅槃ヲサトラマシトオホセラレタリ。○此信心ヲ、クエチヤウサフラフ決定候ハデハ、フチオンホウジン佛恩報盡ト申コトハアルマジキコトニテ候。○何ト御コ、サフラフ候ヤラン、コソフシ此分ヲヨク〜御コ、サフラフ候テ、オシミナ〜御カヘリ候ハ、サフラフヤガテヤド〜ニテモ、シシム信心ノトヲリヲ、サタアヒタガヒニ沙汰セラレ候テ、サフラフ信心決定

候ハ、コムド今度ノ往生極樂ハ一定ニテアルヘキ事ニテ候。○アナカシコ〜。

明應七年五月下旬

三

抑。○今月ハ既ニ、センヂユシヤウニシ前住上人ノ御正忌ニテワタラセオハシマシアヒダ、モアジシム未安心ノ人々ハ、シシム信心ヲヨク〜トヲセタマヒ候ハ、コムクワチセンヂユスナハチ今月前住ノ報謝トモナルベク候。○サレバコノ去夏ノコロヨリ、サンヌルナツコノアヒダニイタルマデ、マイニチ毎日ニカタノゴトク、シヤウダウミ、チカナル聖教ノヌキガキナンドラエラビイダシ、アラ〜ヨミ申スヤウニ候。トイヘドモ、ライリン來臨ノ道俗男女ヲ、オホヨソミヲヨビ申候ニ、マウシサフラフイツモノ體ニテ更ニソノイロモミエマシマサズトオボエ候。○所詮ソレヲイカント申候ニ、マウシサフラフ毎日ノ聖教ニ、コトナニタル事ヲタフトキトモ、マタシユシヨウ又殊勝ナルトモ申サレ候。人々ノ、サフラフ一人モ御イリ候ハヌトキハ、シヨヘンナニノ諸篇モナキコトニテ候。○信心ノトヲリヲモ、マタヒトマタヒト



スチメヲ御キ、ワケ候テこそ、連々ノ聴聞ノ一カドニテモ候ハズルニ、ウカク  
ト御イリサフラフ爲體、言語道斷シカルベカラズオボヘ候。○タトヘハ聖教ヲヨミ  
申候モ、他方信心ヲトラシメンガタメバカリノ事ニテ候。アヒダ、初心ノカタ  
ハ、アヒカマヘテ今日コノ御影前ヲ御タイテ候ハ、ヤカテ不審ナル事ヲモ  
申サレテ、ヒトハニタツチマウサレ候。テ、信心決定セラレ候ハズルコトコ  
ソ、肝要タルベク候。○ソノ分ヲヨクハ御コ、ロエアルベク候。○ソレニツキ候  
テハ、ナニマデモイリ候。マジク候。○彌陀ヲタノミ信心ヲ御トリアルベク候。  
ソノ安心ノスガタヲ、タ、イマメツラシカラズ候ヘドモマウスベク候。○御コ、ロラシ  
ツメ、チフリヲサマシテ、チンゴロニ聴聞候ヘ。○  
夫。親鸞聖人ノズ、メマシ候。他方ノ安心ト申ハ、ナニノヤウモナク、一心  
ニ彌陀如來ヲヒシトタノミ、後生タスケタマヘト申サン人々ハ、十人モ百人モノ

コラス極樂ニ往生スベキコト、サラニソノウタガヒアルベカラズ候。○コノ分ヲ面々  
各々ニ御コ、ロエ候テ、ミナハ本々へ御カヘリアルベクサフラフ。アナカシコノ  
明應七年六月中旬

四

抑、今月十八日ノ前ニ、安心ノ次第アラハ御モノガタリ申候トコロニ、面  
々聴聞ノ御人數ノカタハ、イカ、御コ、ロエ候ヤ、御コ、ロモトナクオボヘ候  
イクタヒ申テモ、タ、オナジ體ニ御キ、ナシ候。テハ、毎日ニオヒテ、随分勘文ヲ  
ヨミ申候、ソノ甲斐モアルベカラズ。○タ、一スチメノ信心ノトヲリヲ御コ、ロエノ  
分モ候ハデハ、更々所詮モナキ事ニテ候。○サレハ未安心ノ御スガタ、タ、人目  
バカリノ御心中ヲ御モチ候。カタハ、毎日ノ聖教ニハ、ナガク聴聞ノ事  
無益カトオボヘ候。○ソノイハレハイカント申候ニ、ハヤ此夏中モ、チカバタヤテ



廿四五日ノアヒダノ事ニテ候。又上來モ、毎日聖教ノ勘文ヲエラビヨミ申候  
 へドモ、タレニテモ一人トシテ、今日ノ聖教ニ、ナニト申タルコトノタフトキトモ、マ  
 タ不審ナルトモオホセラレ候。人数、一人モ御イリ候ハズ候。○コノ夏中ト申サ  
 ンモイマノ事ニテ候。アヒダ、ミナノ人目バカリ名聞ノ體タラク、言語道斷  
 アサマシクオボヘ候。○コレホドニ毎日、耳チカニ聖教ノナカラエラビイダシ申候  
 へドモ、ツレナク御ワタリ候。コト、誠ニ、事ノタトヘニ、鹿ノ角ヲハチノサシタルヤ  
 ウニ、ミナノオボシメシ候。アヒダ、千万々々勿體ナク候。○一ハ无道心、一  
 ハ无興隆トモオボヘ候。○コノ聖教ヲヨミ申候。ハンモ、イマ三十日ノウチノコ  
 トニテ候。○イツマデノヤウニ、ツレナク御心中モ御ナリ候ハデハ、眞實々々无  
 道心ニ候。○誠ニタカラノ山ニイリテ、手ヲムナシクシテ、カヘリタランニヒトシカ  
 ルマク候。サレバトテ、當流ノ安心ヲトラレ候。ハンニツケテモ、ナニノワヅラヒカ

御ワタリ候ハンヤ、今日ヨリシテ、ヒシトミナノオボシメシタチ候。テ、信心ヲ  
 決定候。テ、コノタビノ往生極樂ヲ、オボシメシサダメラレ候ハ、マコトニ聖  
 人ノ御素意ニモ、本意トオボシメシ候。ベキモノナリ。  
 コノ夏ノハジメヨリ、スデニ百日ノアヒダ、カタノゴトク安心ノオモムキ申候。トイ  
 へドモ、誠ニ御コ、ロニオモヒイレラレ候。スガタモ、サノミミエタマヒ候ハズオボヘ  
 サフラフ、スデニ夏中ト申モ、今日明日ハカリノ事ニテ候。○コノノチモ、コノアヒダ  
 ノ體タラクニテ御イリアルベク候。ヤ、アサマシクオボヘ候。○ヨクノ安心ノ次  
 第、人ニアヒタツ子ラレ候。テ、決定セラルベク候。○ハヤ明日マデノ事ニテ候  
 アヒダ、カクノゴトク、カタク申候。ナリ、ヨクノ御コ、ロヘアルベク候。アナカ  
 シニコ。

明應七年七月中旬

夏御文



# 御俗姓御文

夫ソレ祖師聖人シヤウニシヤウニシヤウノ俗姓ソクシヤウヲイヘバ、藤氏フヂウジトシテ、後長岡ノ丞ゴナガナカ相公シヤウジヨウウ内磨ノ末孫バツソク、皇太后クワウクワウ宮ノ大進ダイシン有範アリノリノ子コナリ。マタ本地ホクヂヲタツヌレバ、彌陀如來ミダニヨライノ化身クエシト號シ、アルヒハ曇鸞大師トンドランダイシノ再誕サイタントモイヘリ。シカレバスナハチ、生年シヤウチンクサイ九歳ノハルノコロ、慈鎮ジチン和尙クワシヤウノ門人モンジンニツラナリ、出家得度シユツクエトクドシテ、ソノ名ナヲ範ハン宴エン少納言セウナゴンノ公キミト號ス。ソレヨリコノカタ、楞嚴橫州レウゴンヨウカハノ末流バチリウヲツタヘ、天台宗テンダイシユノ碩學セキガクトナリタマヒヌ。ソノノチ二十九歳ニジュウクサイニシテ、ハジメテ源空聖人ゲンクシヤウニシノ禪室ゼンシチニマイリ、上シヤウソク足ヂノ弟子ヂシトナリ、眞宗シンシユ一流イツリウヲクミ、專修專念センシユセンシユノ義ギヲタテ、スミヤカニ凡夫直入ボンブヂキニフノ眞心シンシムヲアラハシ、在家ザイケ止住シヂユノ愚人グニシヲオシヘテ、報土往生ホウドウワウシヤウヲヌ、メマシノケリ。

抑ソモ、今月二十八日コノムハ、祖師聖人ゴシヤウキ遷化ニシフハチニチノ御正忌ゴシヤウキトジテ、毎年マイチンヲイハズ親疎シンソヲキラハズ、古今コキムノ行者キヤウシヤ、コノ御正忌ゴシヤウキヲ存知ソンチセザルトモガラアルベカラズ。コレニヨリテ

當流トウリウモソノ名ナヲカケ、ソノ信心シンシムヲ獲得ゴククシタラン、行者キヤウチヤ、コノ御正忌ゴシヤウキヲモテ報謝ホウシヤノコトヲザシテ、ハコバザラン行者キヤウシヤニオヒテハ、マコトニモテ木石ボクセキニヒトシカラシモノナリ。シカルアヒダ、オノ御恩德ゴオンドクノフカキコトハ、迷慮マイロ八万ノイタキ、蒼浪サウメイ三千ノソコニモエヌギタリ。報ホウゼズハアルベカラズ、謝シヤゼズハアルベカラサルモノ歟カ。コノエヘニ毎年マイチンノ例時レイジトシテ、一七イチチチ日ニチノアヒダ、カタノゴトク報恩謝德ホウオンシヤトクノタメニ元二ゲンニノ勤行コンギヤウヲイタストコホナリ。コノ一七イチチチ日ニチ報恩講ホウオンクワウノミキリニ當リテ、門葉モンエウノタダヒ國郡クニクンヨリ來集ライシユ、今ニオヒテソノ退轉タイテンナシシカリトイヘドモ未安心ミアンシンノ行者キヤウシヤニイタリテハ、イカデカ報恩謝德ホウオンシヤトクノ義ギニレアラシヤ。シカレバゴトキナトモガラハ、コノミキリニオヒテ、佛法フツポフノ信不信シンフヲアヒタツ子テ、コレヲ聽聞チヤウモンシテ、マコトノ信心シンシム決定ヂユウヂヤウスベクシテ、眞實シンジチ々々聖人報謝シヤウニシヤウニシヤウノ懇志コンシニアヒカナスベキモノナリ。アハレナルカチヤ夫ソレ、聖人シヤウニシヤウノ御往生ゴワウシヤウハ、年記ネンキトヌタヘダ、リテ、スデニ一百餘歲ヒヤクニヤクヨサイノ星霜セイソウヲヲクルト



イヘドモ、御遺訓マヌ〜サカンニシテ、教行信證ノ名義、イマニ眼前ニサヘ  
 ギリ、人口ニコレリ、タフトムセシ、信ズベシ。コレニツイテ當時、眞宗ノ行者ノ  
 ナカニオヒテ、眞實信心ヲ獲得セシムル人コレスクナシ。タゞ人目仁義バカリニ、  
 名聞ハコ、ロヲモテ報謝ト號セバ、イカナルコ、ロザシライタストイフトモ、一念歸  
 命ノ眞實ノ信心ヲ決定セザラン人々ハ、ソノ所詮アルベカラズ。マコトニ、ミツ  
 ニ入テアカラチズ、トイヘルタグヒナルベキ歎。コレニヨリテ、コノ一七ケ日報恩講  
 中ニオヒテ、他力本願ノコトハリテ、チムゴロニキ、ヒラキテ、専修一向ノ念佛行  
 者ニナランニイタリテハ、マコトニ今月聖人ノ御正日ノ素意ニアヒカナフベシ。  
 コレシカシナガラ、眞實々々、報恩謝徳ノ御佛事トナリヌベキモノナリ。アナカシ  
 コ〜。

于時文明九年十一月初比、俄爲三報恩謝徳一染翰記之者也。

### 改悔文

モロ〜ノ雜行雜修自力ノコ、ロヲフリステ、一心ニ阿彌陀如來、我等ガ  
 今度ノ一大事ノ後生御タスケサフヲヘトタノミマウシテ候。タノム一念ノトキ  
 往生一定、御タスケ治定ト存ジ、コノウヘノ稱名ハ、御恩報謝ニヨロコビマウ  
 シ候。コノ御コトハリ聽聞マウシワケサフヲフコト、御開山聖人御出世ノ御恩  
 次第相承ノ善知識ノアサカラザル御勸化ノ御恩ト、アリガタク存シ候。コノウ  
 ヘハ定メオカセラル、御掟、一期ヲカギリマモリマウスベク候。



傳

記

卷之二

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

卷之二

百八十一



蓮如上人遺德記

蓮悟撰  
實悟記

ソレ、先師センシ、法印ハフイン大和尚ダイカウワウ位イ、兼壽ケンジュ、蓮如上人レンニヨシヤウニシノ遺德イヲアゲテ、オホヨソコ三ノ意コヲトリテ、略シテ大體ダイタイヲシメスベシ。

一ニハ真宗再興ノ德マコトノトク

二ニハ在世ノ不思議オモシロイ

三ニハ滅後ノ利益メチゴノリヤクナリ

第一ニ真宗再興ノ德トイフハ、俗姓ハ天兒屋根尊、二十一世ノ苗裔、大織冠ノ玄孫、近衛大將右大臣公、六代ノ後胤、弼宰相有國ノ五代ノ孫、皇太后宮ノ大進、有範ノ息男、真宗ノ大祖、親鸞聖人十世ノ孫、相承マコトヲイヘバ第八代ナリ。御母ハ何國ノ人トモシテズ。人尋テ何國ノ人ゾト申トイヘドモ



ツキニ謂顯シタマフコトナシト云云。抑稱光院仁諱實ノ御宇、應永二十二年乙未、洛陽東山大谷ニシテ蓮如上人誕生シマシクケリ。日々歳々ヲ送りタマヘリ。シカレバ幼童ノ貌ヨリ、其心岐嶷ニシテ、同稚ニ卓礫セリ。興法ノコ、ロザシ深厚ニシテ、終ニ其意融通シテ、一天四海ニヲヒテ、聖人ノ一流ヲ再興シタマヘリ。サレバ聖人ノ御時モ、マノアタリ其化ヲ受、慇懃ニ其教ヲマモル族僅ニ五六輩ニダニモタラズト云云。今ノ時モ眞ナル者ハ、希有ナリトイヘドモ、萬國ノ群類コトク、弘願ノ眞信ニカタブキ、他力易往ノ宗門、此時ニ到テ昌ナリ。是則蓮如上人ノ淵源ノ懇志ノ致處ナリ。シカルニ寛正初曆ノ比ヨリ、末代ノ劣機ヲ鑿テ、經論章疏、師資ノ銘釋ヲ披閱シテ、愚凡速生ノ肝府ヲ撰取シテ、敷通ノ要文ヲツクリタマヘリ。是末代ノ明燈アリ。偏ニ濁世ノ目足ナリ。シカレバ祖師聖人ヨリ以來、一念歸命ノコトハリヲ勸トイ

ヘドモ、念持ノ義ヲ教ス。爰ニ先師上人、コノ義ヲ詳ニシテ、无智ノ凡類ヲシテ、明ニ難信金剛ノ眞信ヲ獲得セシムルコトヲ致ス。實ニ是先師上人ノ恩徳ナリ。モシコノ勸ニ非スバ、奈ニシテガ枯渴ノ類、生潤ノ期アラヤ、フカク貴敬スヘシ。

應永二十七年先師、季陽下旬、第八日ニ、母堂六歳ノ少童ニ對シテ語リタマヒケルハ、子ガハクバ、兒ノ御一代ニ、聖人ノ御一流ヲ、再興シタマヘトテ、懇ニ心府ヲ宣タマフガ、ソノマ、イツカタトモナク、出タマヒキ。或人ソノ日、奇雲四方ニタナビキ、莊華虛空ニアリト云云。其後再ヒ來リタマフ事ナシ。コレヲ見聞スル人、殆アヤシマズトイフ事ナシ。コレニヨリテ先師二十八日ヲモテ、其命日トシタマヒテ、御志ヲ運タマヒケリ。シカルニ六歳ノ御像ヲ、暮齡ニ至テ、畫圖セラル、其銘ニ云、



ホシヤウチナツクホ  
本名三布袋  
シテ六歳ニハナルハニ  
爲三六歳ニ離レ母  
ヲハルハチ  
終ニ八十五歳ニ  
ナ  
名乗號ニ幸亭  
マサニイオウハチ  
當明應八年

又或人ノ云、母堂タチ出タマフ時、六角堂ノ精舎ニ詣シタマフト云云。然トキハ  
救世觀音ノ化現タルモノカ、奇特不思議ノ事ナリ。先師十五歳ヨリハジメテ、  
眞宗興行ノ志シ頻ニシテ、一宗ノ中絶セルヲ、前代仰セ立ラザル事ヲ、遺恨  
ニ思召、如何シテカ、ワレ一代ニラヒテ、聖人ノ一流ヲ、諸方ニ顯サント、常ニ  
念願シタマヒ、終ニ再興シタマヘリ。サレバ淨土ノ元祖源空上人モ、三五ノ御  
歳ヨリ、无常ノ理ヲ覺知シテ、速ニ菩提ノ道ニ通入シ在ス。是即大勢  
至ノ應化ナリトイフ事、炳焉ナリ。嗚呼不思議ナルカナヤ、聖人空イツレノ歳  
ゾヤ、カレモ十五歳、蓮如上人イツレノ歳ゾヤ、コレモ十五歳、彼此一體ト云事

ヲ。又鸞聖人ノ化身トモ云ヘキヲヤ。  
永享第三辛亥ノ曆、先師十七歳ニシテ、青蓮院ノ門室ニ至テ、鬢髮ヲ剃除ス  
則廣橋中納言兼郷ノ卿ヲ、養父トシテ、其名ヲ中納言兼壽ト號シ奉ル。  
ソレヨリ以來、學問ニコ、ロラツクシ、研精ナラビナク、切磋世ニコトナリ、涼船ト  
キヲ分ズ。或ハ炎夏ノ短夜ニハ、螢ヲ聚テ車胤ガ古事ヲ訪ヒ、玄冬ノ寒夜ニハ、  
雪ヲ携ヘテ宣士ガ舊儀ヲ試ム。シカルニ、其コロハイマダ一流ノ義シカトシ  
ル人オホカラザル間、他門他家ノ覺モ幽微ナリ。シカレバ、ツ子二人ニオソレ、世  
ヲ憚リタマヘリ。聖典ヲ拜スルニモ、竊ニ人看ヲ忍ビ、是ヲ閱シタマフニモ、或ハ  
隔壁ノ燈ノスキマヨリ、漏光ヲ得、或ハ閉晴ナル夜ハ、青宵ニ澄ル月暉ヲモ  
テ、文籍ヲ披テ、師釋ニ心ヲツクシ。斯ノゴトクシテ、教行證ノ文類、並ニ六  
要鈔、四部ノ釋義ヲ引合セ、是ヲ涉獵シ、具ニ恂視シテ、深旨ヲ極メ、書ノ肝



府ヲ抽テ、彼要文ヲバ作出セルナリ。常ニハ斯ノゴトク怖懼シ、論釋ヲエ、夜ナ  
 ラデハ、見タマフ事ナシ。是故ニ禪屬ニ謁スル門輩モ、希有ナレバ、教興ノ縁モ  
 企ガタシ。爰ニ江州金森トイフ處ニ、道西善從ト云真弟アリ。コノ人、先師ニ  
 常ニ昵近セシメテ、佛法興行ノ旨、ヨリヨリ閑談シ、金森ノ道場ニ、高駕ヲ寄  
 御門葉ヲアツメテ、法語ヲ聽聞サセケリ。總ジテ此人、勸化ヲ致テ、御門葉ヲ  
 建立セシム。ソレヨリコノカタ、三十有餘ノ時分ニ至テ、佛法弘通シテ深義ヤウ  
 ヤク顯テ、上人ノ御本意ステニ達セントス。タトヘハ蒼華ノ雨露ノ潤ヲ受  
 ガゴトシ。日闇浮ニ臨テ明ル比ノ日ノ出ルガゴトシ。  
 寶徳元先師三初テ北地ニ下向シタマヒテ、或ハ舊古ノ蘭若ニ夜ヲアカシ、或ハ  
 醜首ノ瓊浦ニ日ヲ暮シテ、專ラ貴賤度シ、徧緇素ヲ導テ、居諸ヲ送り、  
 其後、越後ノ國ニ下リマシクテ、聖人ノ晨暮ヲ重テタマヒシ國分ニ居住シ、

倩往昔ノ尊跡ヲ歴覽シ、聖人此處ニシテ、幾ノ群類ヲカ化シタマフラン  
 下思召ニ付テモ、亦當時ニ至テ門徒モ繁昌シ、道俗歸伏スル事、往ノ化導ト  
 府合セル事ト思召テ、歡喜ノオモイ身ニアマリ、マターツハ、聖人ノ在世ヲ慕ツ  
 、ソレヨリ北山鳥屋野院淨光寺ニ入タマヒ、猶尊跡ヲ見タマヒテ、感涙ヲ  
 マジヘタマヘリト云云。暫下鄙ノ堺、コ、カシコニ休息シタマヒテ、華洛ニ還リ  
 タマヒケリ。

長祿元年丁丑六月十八日、嚴父法印圓兼時六十二歳、獲麟ニ及ビタマヒヌ  
 然トモ兼壽上人ノ興法ノ志ヲ感ジテ、後代タノモシク思召ケリ。終ニ歸寂  
 シタマヒヌ。一肩愁涙ニ沈ミ、列衆袖ヲ絞リヌ。シカレバ葬送中陰ノ間、念佛  
 報恩ノ經營ヲタコ、ロナク、勤行ノ丹誠ヲ抽テ、五旬忌辰ヲ經ヲハリヌ。粵  
 ニ一ノ騷亂オコレリ。其大旨ハ、中古以來イテシルシカリシ流義、聊衰ルニ



似タリノシカレハ先師ノ出世ニヨリテ、法雨枯類ヲ潤シ、佛日四海ニアフグ、故ニ世ヲ憚リ、是ヲ密トイヘドモ、イヨク時機相應ノ教ナルガエヘニ、ソノ勸化ノヒロマル事、往ニ超過セリ。コレニヨリテ叡山ノ學侶、謀叛ノ逆意ヲ企ツ。ソレ聖道ノ諸宗、證シガタク、未代ノ劣機ナルガエヘニ、瑜伽三密ノ月ノ前ニハ、觀想ヲコラシ、三諦相即ノ隔ノウチニシテ、妙理ヲ顯サンコト、今ノ世ノ根機ニラヒテハ、最モカナヒガタシ。是故ニ機ヲソムキ、時ニアラザル宗門ハ、イヨク廢リ。活ステニカクレントス。シカレバ淨土ノサカンナルヲ偏執シテ、无實風聞ノ儀ヲモテ、東山大谷ノ禪坊ヲ破却セリ。シカルニ聖人ノ影像ヲバ、輦輿ニノセ奉リ、江州志賀郡大津ト云處ヘウツシ奉リ、疎屋ヲ借居奉リ、先師モ同クコノ處ヘ忍タマヒツ、虛ク草扉ヲ閉テ光陰ヲ送リタマフ。ソレヨリ以來ハ、大津南ノ邊ニ、小坊ヲカマヘテ、御影聖人ヲモ居奉リ、御門弟ノ懇志ヲモテ、假柵ヲ

ツグノヒ、禪室ヲシツラヒテ、居住シタマヘリ。カクノゴトクシテ、年序ヲ送リタマフコト暫ナリ。文明第三辛卯ノ曆、初夏上旬ノコロ、大津ノ小坊ヲ忍出テ、北邦ニ趣キタマフ。シカレバ國郡ノ男女、崇重ノ心ヲハコビ、捨邪歸正ノ類ヒ、敬信モトモ專ニシテ、カシコニ群集ス。ソレツラク往年ノ事ヲ案ズルニ、抑空聖人ノ御時聖道ノ諸宗ミナ眞宗ニ歸シケレバ、弘興ヲ猜テ、南北ノ學徒、无實ノ奏事ヲ以テ、忽焉トシテ淨土ノ元祖黒谷聖人ヲ、南海ノ遠境ニ配シ、祖師聖人モ、同ク北陸ノ遙郷ニ配セラル。サレバ、御詞ニノタマハク、大師聖人空モシ流刑ニ處セラレタマハスバ、ワレマタ配所ニ趣ンヤ。若我配所ニオモムカズンバ、何ニヨリテカ邊鄙ノ群類ヲ化セン、コレナラ師教ノ恩致ナリトイヘリ。コレニ依テ門葉モ熾ナル事、オホクハ北邦ニアリ。實ニ文明第三ノ御下向ハ、偏ニ眞宗繁昌



ノ先蹤ナリ。

アルトキ所々巡見ノ砌、越前ノ國坂北郡吉崎ト云處ニ、居ラシメバヤト思召  
テ、既ニ同キ初秋下旬第七日ヨリ、始テ一閣ヲ建立シタマヘリ。シカレバ貴賤  
緇素ヲ論セス、門葉ニ列リ、禪室ニ近ク類ヒ、アゲテカゾフベカラス。是ヨリシテ  
一流ノ宗儀昌ンニシテ、自他宗ヲエラバズ、歸伏スルコト風ニ靡ク草ノ如シ。  
文明第七ノ曆、所々歴覽ノオリフシ、舊寺ノ事ナレバ、再觀大切ナリトテ、加  
州賀北ノカタホトリ、二役ノ松屏ニ立寄、コ、ニシハラク足ヲ憩ヒ、安慰ノタメ  
ニ石ヲ立、樹ヲ植タマフ。ソノ庭ノ形今ニコレリ。遺跡尤モ慕フベキモノヲヤ。  
同年、南呂下旬、頽齡六十一ニシテ、吉崎ノ禪室ヲタチタマヒ、順風ニ帆ヲ  
アゲ、ヒソカニ若狭ノ小濱ニ船ヲヨセ、丹波ノ嶮岨ヲ通リツ、攝津國へ出タマ  
ヒ、ソレヨリ河内ノ國、茨田郡、中振ノ郷、出口ノ里ト云處ニ至タマヒ、幽栖ヲ

トタマフ事、ステニ三年ナリキ。

文明九年立律ノ比、金森ノ善從、出口ノ閑窓ニ謁シテ申シケルハ、城州宇治  
郡ノ東ニ貴坊ヲ建ラルベキヨロシキ在所アリト、時々申サレケレバ、先師ノ仰  
ニハ、ワレ一處不住ニシテ生涯ヲ果スベシト思ナリト云云。シカリトイヘドモ、善  
從ヲ啓述アリツル旨ハ、昔ハ京都東山ニサヘ在キ、宇治郡邊ハ、道俗參入  
ノ便最アルカノ由ヲ、再諮ニ及間、先師ソノコ、ロヲ得タマヒテ、急ギコソ  
處ヲ歴覽アルベシトテ、同十年、先師六十四歳、初陽下旬、第九日、河内  
國茨田郡出口ノ里ライデ、上洛シ在テ、山城國宇治郡小野トイフ莊、山  
科ノ内野村ノ西中路ニ、輦輿ヲタテラレ、少時見廻タマヒテ、シカラバ此ニ居  
住シ、時宜ヲモ試ベシトテ、先小屋ヲ建タマヒ、ソノ年ハ江州近松ノ弊坊ニ  
テ越年シ、翌年六十五歳ニシテ、活洗ノ比連續シテ、作事ヲ企タマフ。爰ニ



先師、憐存生ノ間ニ、御影堂建立セバヤト思召ケリ、則門葉モ忽焉ニソノ企ヲナシケリ。

文明第十二庚子六十六歳、夾鐘上旬ノ比ヨリ、營作ヲハジメラレ、同キ仲秋ノ比ハ、既ニ造畢ノ式ナリ。先師ノ御心ニ、歡娛ノ思深シテ、實ニ數年ノ願望コ、ニ達スト、満足コノ時ト、歡喜ノ色、外ニ現タマヘリ。其後、暢月十八日ノ夜ニ没テ、大津ニ御座ケル根本ノ御影像ヲウツシ奉リタマヘリ。シカウシテ後ニ、報恩講モハジマリ、无二ノ勤行退轉ナシ。謝徳ヲコラスル門葉モ實ニ事新ク、渴仰瞻行ノ念、止事アシ。不信ノ愚鈍モ、眞信ヲ獲得シ、僻見ノ邪輩モ心ヲ翻シテ、忽焉ニ正見ニ趣ケリ。抑、一亂以後、世上ナニトナルベキト、各々思量スルトコロニ、コノ靈地ニ伽藍ヲ建立シテ、御影聖人ヲマノアタリ拜シ奉ル事、一宗ノ大慶、御門弟ノ群類、喜悅ノ眉ヲヒラキケリ。

文明十四年先師六十八歳春ノ比、思召ケルハ、當寺ハ是忝。龜山伏見兩御代ヨリ、勅願所ノ宣ヲ蒙リテ、私ナラザル寺ナレバ、本堂ナクシテハ詮ナシ。然ル間、頻リニ建立ノコ、ロザシ在テ、既ニ同ク中旬ヨリ相續シテ、土木ノ企ヲナシ、忽ニ林鐘下旬ノ天ニ覃テ、建立成就セリ。然則、先師若齡ヨリコノカタ、恩劇已後、都鄙御コ、ロラ盡シタマヒシ事モ、一度法流ヲ再興シ、一處ヲモムスヒ、諸國門葉ノ類コ、ロヤスク參詣ヲ致シ、念佛ヲモ修セシメタマハント、是ヲノミ思召ケルニ、御心ノゴトク事成就セシメ、聖人ノ一流、日本六十餘州ニ殘處ナク、門葉刹那ニ充滿リ。佛法弘通ノ本懐コ、ニ成就シ、衆生利益ノ宿念忽ニアラハレケリ。然則先師上人ハ、黒谷聖人ノ化現トモ謂、又祖師聖人ノ後身トモ稱ス。實ニシンヌ、白身ノ動困ヲカヘリミズ、貢高傳弱ノ下類ヲコシラヘ、無漏ノ燈燭ヲカ、ダテ、濁世迷闇ノ愚惑ヲ導引



シタマフコトヲ。  
 第二ニ、在世ノ不思議トイフハ、本師開山ヨリコノカタ、代々祖師オホシトイヘ  
 ドモ、其一流ノ熾リナルコト、先規アト少ク、當世マタ比ナシ。風聞、高祖聖  
 人、必ズ運如上人ト再誕シテ、出世シタマフベシトイヘル未來記、東關ヨリノボ  
 リシヲ、先師ガタク秘シ語タマハヌニ依テ、人コレヲシラズト云。然バ、則ソノ後  
 身トイフ事、疑ヒナク、モトモモテ明ナルモノヲヤ。ソレ上人ノ御持言ニ云、ナニ  
 タル事ヲ聞トイヘドモ、心ニ叶事ナシ。モシ一人ナリトモ、信心決定セシメン事  
 ラキコシメシタク思召ト、仰事アリキ、サレバ是ヲ慶ヒタマフ事限ナシ、或人語ケ  
 ルハ、一人ニテモ心ヲヒルガヘシ、法ニカタフキタルトイフ事アレバ、聖人慶タ  
 マフ事限ナク、ソノ御形ヲウツサレケル。ソノ眞影ノゴトク、唇口、臍タマフニ似  
 タリト云。カノ御影像、即佛法流通シ、門徒オホク其化ニ隨コト、盛チリ

シ時ノ御影ナリ。又佛恩ノ高大ナルコト、迷慮八万ノ巖ニコエ、師徳ノ深厚  
 ナルコト、蒼海三千ノ底ヨリ過タリ。故ニ佛祖ノ恩徳ノ深キ事ヲオモフニ、或  
 ハ食味ニ向ヘバ、カレヲ食スル毎ニ憶シ、或ハ一衣ヲ受ルニモ是ヲ著スル毎ニ念  
 ス。然、則、晝夜不斷、是ヲ忘スト言ヘリ。又常ニノタマハク、聖人ノ御恩  
 徳ヲバ、夜ハ夢ニ見、晝ハ聊モ忘レスト仰事アリケリ。ソレ夜ハ通霄、寢程  
 ノ呼吸、シカシナガラ念佛ノ聲ナリト云。シカレバ權化ノ再誕タル英聖、猶爾  
 カリ、況ヤワレラ迷倒ノ凡愚ニ於ラヤ。イヨ、ソノ恩徳ヲ重シ、報謝ノ志  
 ヲ專ニスベキモノヲヤ。  
 先師、アルトキ御夢ニ、黒谷ノ法然聖人、先師ニ對シテ、墨染ノ衣ヲ著シ、含  
 喜ノ色ホノカニアラハレ、墨染ノ衣ノ像ヲ先師ニミセタマヒ、快然微笑シタマフト  
 覺テ、夢醒畢ヌ。シカレバコノ事不思議ニ思召、翌朝釋願誓ヲ召テ云ク、



知恩院ニ參、聖人ノ印衣ノ色カハリケルカ、見テ來ルベシト仰事アリケル間、即  
 順誓カノ寺ヘ詣テ拜見セシメテ歸リ參テ申様、中古ノ住持意巧ヲモテ、黄袈  
 裳黄衣ニ御形ヲ彩色シタテマツル。然レドモ昔、如クナラデハ、祖意禪アルト  
 テ、コノタビハジメテ、御衣ノ色ヲナラサル、ノ由、僧侶語ケルト云、シヅカニコノ  
 夢想ヲ思ニ、有カ中ニモ源空聖人、兼壽上人ニ告命シタマフ事、コレ恐クハ、  
 驚聖人ノ口決相承ノ實義、他ニ異ナル事ヲ示シ、且ハ末世凡夫ノ行狀ヲ  
 アラハシタマフ證ナリ。コ、ヲモテ名ヲ碩才道人ノ聞ニ街ハン事ヲイタミ、外ニタ  
 、至愚ノ相ヲ現シ、身ヲ田夫野叟ノ類ニ等クセント欲ス。最モ希代ノ靈夢ト謂  
 ツベシ、敬スベシ、信スベシ。  
 或時、先師、和州御一見アリシキザミ、ソノ國ノ住人トニ々、瑞夢ヲ感スル事  
 アリテ、先師ニ屈請シ奉ル、先師深辭シタマフトイヘドモ、懇志モダシ難クシテ

竊ニ寄タマフ。重疊ノ飲食ヲ盛、種々ノ珍味ヲ調ケリ。爰ニカノ俗、夢ノ旨趣  
 ヲ述ス。先師、堅ク出語ヲ制シタマフト云々。シカレバコレヲ傳ヘ聞モノ、殆ト信  
 敬セズトイフ事ナシ。サレバ聖人ノ御時ニ、箱根ノ社廟ニシテ、昔ノ示現ト憶  
 合サレテ、尊重ノ心ヤスメガタシ。先師上人、七旬有餘ニシテ、寺務ヲ光兼僧  
 都ニ讓テ、隣壁ニ一棟ヲ飾テ、隱居シタマフ。有時、日黄昏ニ覃テ、奥ノ席ニ  
 紅燭ナクテ在ケリ。北國ニ志切ナル門弟アリキ。コノ人上洛シテ、先師ニ申  
 ケレバ、則對面シタマフ。看經シ在ト覺テ、光御身ノホトリニ暉キ、忽ニ尊容  
 ヲ拜シ奉ケリ。加之、闇夜ニ聖教ヲ御前ニ置ケルコトアリ。ツラノコレヲ案ス  
 ルニ、光明ハ智慧ノ形ヲモテ、勢至トス。シカレバ黒谷聖人ハ、大勢至菩薩  
 ノ化現ニテ在ケリ。コノ聖人コソ闇夜ニ燈ナクシテ、遍身ヨリ光明ヲ放  
 テ、經典ヲ拜セリトイヘリ。今此兼壽上人モ、光明ノ相在コト、實ニモテ不可



思議ノ事ナリ。イヨク佛陀ノ應化ニテ在スト云事、顯然ナリ。  
 明應第五ノ天、季秋ノ比、先師、年齢八十二歳ニシテ、攝州東成郡、生  
 玉ノ莊内、大坂ト云勝地ヲ求テ、坊舎ヲ建立シ、是ヲ隱居所トシ給ヘリ。則  
 先師上人ヲ信證院ト號ス。凡易行易修ノ法門ヲ談シ、他力攝生ノ旨趣ヲス  
 、メタマフニ、世、遍ク尊敬シ、人、悉ク仰信スル事、日ヲ送テ重リ、夜ヲ續テ  
 繁シ。然ハ先師ヲ拜シ奉ル道俗、亦趣キタマフ處ノ衆類、各歸伏スル事ソノカ  
 ズラシラス。或時、釋龍立ニ對シテ言ク、我今ハ諸方ヘ臨回スベシト思、ソ  
 ノユヘハワレニ近ク處ノ輩ハ、必ズ眞信ニ歸スト云云。ソレ京洛邊鄙幽栖ヲシ  
 メタマフ、コトニ萬民群ル事、百川ノ巨海ニ歸シ、鱗介ノ龜龍ニ附ガコトシ。  
 明應七年、朱明ノ比、先師ハ、初テ不例ノ氣聊出來セリ。玄陰ニ及テ仰ラレケルハ  
 吾今ノ分ニテハ明バ必ズ彌生ニハ閉眼スベシト、時々仰ラレケリ。シカルニ玄天

早明テ、明應八年己未ノ春モ來リ、夾鐘中旬ノ比ニ、光兼僧都ヨリ御迎ヲ  
 下シタマヒケル。即二月二十日ニ入浴シタマフ。シカルニカノ御病中演說シタマ  
 フ事、恰モ金言ナラスト云事ナシ。或ハ往事ヲ語テ云ク、昔ハ小屋ノ貧窓ヲ  
 ト、窮屈ストイヘドモ、誠ニ聖人ノ一流再興ノ志徹セシニ依テ、今眞宗ヒロマリ  
 末弟安穩ニ住スル事、偏ニ我矜哀ノ念力ニ依テナリト、御自證アリケリ。又光  
 兼僧都ヲ初テ、兄弟ノ衆ニ對シテ言ク、幼年ヨリ佛法興隆ノコ、ロザシアル  
 ガ故ニ、身ノ苦ヲ顧ズ、心ノ悲ヲ痛マズ、都鄙ノ間ニ劬勞セシガ故ニ、今  
 聖人ノ御用ニ依テ、心安満足ノ體タリ。ワレ在世ノ間ハ、愚老冥加ニカナフ  
 ガ故ニ、兄弟ノ衆以下濫用ヲモテ、一局ニ樂ム。吾世ヲ去テ後ハ、動靜意ノ  
 ゴトクナラン、ソノトキヲ今ヨリ思ニアヤウシ、コレヲ思慮シテ深ク冥加ヲ知テ、聖  
 人ヲ重シ奉リ、佛法ヲ嗜ミ、佛物ヲ陳ニ思事ナカレト、常ニ仰事アリト云



同年、季春ノ天先師八連日ノ長病ニオカサレテ、衰老不食シタマヒ、身シニカシ昔ノゴトクナラズ。シカリトイヘドモ、心シムシヤウユミヤウ性勇猛ニシテ、二根明ナリシコト、日來ヒコロニ超タリ。シカレバ青陽ノ春ノ日影、閑ニシテ、世上暖和ナリシカハ、四壁ノ華ヲシヘキツクノト御覽アリテ、

サキツマク、花ミルタビニ、猶モマタ

イトチカハシキ、西ノカノキシ。

老ラクノ、イツマデカクヤ病ナマシ

ムカヘタマヘヤ、彌陀ノ淨土ヘ。

今日マデハ、ヤンデイツ、ニアマル身ノ

ヒサシクイキシト、シレヤミナ人。

ト口號タマヒケリ。シカレバ同三月七日、今一度、御影前へ詣セントテ、老邁

疲憊ノ身タリナガラ、病牀ノ衣裝ヲ脱捨テ、新裁ノ衣服ヲ著シタマヒテ、腰ヨウ輿ニ乗シツ、先本堂へ詣シ、ソレヨリ御影前へ詣シタマヘリ。即先師聖人ノ尊センシシヤウニシ像ニ向給ヒテ、今生ニテノ拜顔ハ是マデナリ、必ズ彼國ニシテ真彩ヲ拜シ奉タテマツルベシト、懇ニ言ヒケル間、キク人ミナ袖ヲ絞ヌハナカリケリ。シカウシテ堂前ノ花ヲ看見シタマフニ、カンバセ朝露ニフカク、又遐峯ニ見ル粧ヒ、白雲ノ飄飄ガタナヒタゴトシ。暫コレヲ歴覽アリテ、面白ノ景氣ヤト仰ラレ、堂閣ノ正面ヨリ、腰輿ヨウヨニ乗ジツ、歸リタマフ。今ハ本懷満足ナリトテ、病牀ニフシタマヒテ、辭世ジサイノ詠歌トテ、

我死セバ、イカナル人モ、ミナトモニ

雜行ステ、彌陀ヲタノメヨ。

ヤンデイツ、定業キハマル我身カナ



明應八年、往生ワウツヤウコソスレ。

二首ニシユヲ書付カキツクタマヒテ、又滅後マクキチコノ事コトマデヲ表シテ、往昔ツノカミヨミタマヘル御詠ミカエ、後ノチノ世ヨノ、シルシノタメニ、カキヲキシ

法ホウノコトノハ、カタミトモナレ。

ワレナクバ、誰タレモコ、ロラ、ヒトツニテ

南无阿彌陀佛ナムフアミダブツト、タノメミナ人。

ナキアトニ、ワレヲワスレヌ、ヒトモアラハ

唯彌陀タミダタノム、コ、ロオコセヨ。

形見カタミニハ、六字ロクジノ御名ミナヲ、ト、メラク

ナカラナン世ヨニハ、タレモ用モチヨ。

極樂ゴクラクヘ、ワレユクナリト、キクナラハ、

イソギテ彌陀ミダヲ、タノメミナ人。

今イマ此歌コノウタノ意遠コ・ロトホク、遺訓ユイクンヲ留テ、末代マチダイノ龜鏡クワケイニソナヘンコトヲ述シ、殊シユチニハ此界コノカイノ

化縁クエエンツキテ、必カナラク安養アンヤウノ本土ホンドニカヘルベキ預言ヨゴシヲ殘テ、猶滅後ナラメチゴノ遺弟ユイテイヲ勸ム、

是恐コレオウラクハ西方サイフウ權化ゴンケウノ來ライ現ゲントイフベキヲヤ。爰コヲ以思モチオモフニ、彌陀經義集ミダキヤウキシツニ、予ヨハ是

西葉サイエウノ尊ソウナリ、暫シバ此土ココノチニ來テ、殊シユニ一門イチモンヲ選リ、各謬アカマテ宣言センゲンヲ陳チンニスル事

ナカレ、若堅モシカタクアフヒ仰オウテ信シンゼバ、定サダメテ往生ワウジヤウヲ得エントイヘル、先賢センケンノ哲言テチゴンヲ思オモヒ合アハセラレ

テ、胸ムネニソミ、信敬シンキヤウノ心肝ココロキモニ銘メイズ。總ソウシテ、サキ所々シヨクニ於テ、吟詠キンエイシタマフ歌付ウタツケ、

コレオホシトイヘドモ、頗スゴクル書シヨスルニアタハズ。唯安養タ・アンヤウノ素懷ソククワイヲオモヒ、報謝ホウシャノ念ネン

佛ブツタユル事コトナシ。詞コトハニ餘言ヨゴシヲマシヘズ、常ツチニ法譽ハフヨヲ宣ノベテ、利益リヤクヲ施ホドシタマフ。或アルヒ

終焉シュエンノ時トキノ事コトマデモ、又滅後マクキチコノ作法サハフトウ等トウ、懇チチニ兼ソシチテ存日アヒダノ間マヒダニ仰オホセ置オカレケリ。

同オナシ九日ニチ、釋龍シヤクリウクエン立タイニ對シテ、何ナニゾ物モノヲ讀ヨメト仰オホセラレケル間マヒダ、御文オヒダクヲヨミ申マツスベキ



ヤトアリシカバ、懸テ領掌ト仰ラル、間、御文ヲ讀奉ル。ツクノト聞召、嗚呼不思議ナル哉ヤ、ワガ造タル文ナリトイヘドモ、殊勝ニ覺間、ナラ讀ベシト仰ケル。五六返讀誦セサセラレ、是實ニ述シテ不レ作ナリトイヘドモ、義ニ府合セリ最聖教トナツクベシトイヘドモ、其憚アリトテ、文ト號セリ。是即卑謙ノ御詞恐クハ先師ノ選述トオモフ猶疎ナリ、唯是如來ノ金言ナリト、仰崇スベシトナリ。

同十日、晝ノ比、起居シタマヒテ、墨池ヲ召寄ラレ、御病中ノ容貌ヲ書圖セラル。眞影ニ書付タマフ其御詞ニ云。

獲一念信 今詣安養 穢身永絶  
法性速證

同仲旬ニ及テ、御不例増氣シタマヘバ、ミナ悲歎シテ參集ス。シカルニ、各ニ

仰置ル、旨ハ、ワレラ去世セバ、大坂ヨリ持セラル、處ノ曲祿ニ乗テ、正信偈同念佛シテ、御影前ヘウツシ申スベシ。年來同行ノシルシ、佛法ノヨシミナレバ、ミタクモアルヘシ、マタ見ラレタグモ思ナリ。強ニ名聞ニハアラス、ワレラ見テ門葉悲歎スルタグヒコレアラバ、如是ノ事ヲ縁トシテモ、人々信ヲトルベキ間、暫クカヤウニ思ヨルナリト仰ラレテ、又龍立ニ對シテ言ハク、乞食ノ沙門ハ鵝珠ヲ死後ニ顯シ、賊縛ノ比丘ハ王遊ニ草繫ラ免ルト云戒文マデヒキタマヒ、御入滅ノ以後、不思議ヲ現ジタマフベキト云事ヲ、示シタマヘリ。又云ク功成名遂身退ハ、天ノ道ナリト云事モ、ワガ身ノ上ニテアルマシト仰ラル。誠ニ佛法ヲ再興シ世ヲシリゾキ、衰老病惱ノ身ナガラ、心安養ノ素懷ヲ遂タマフベキニトヨト思召、斯ノ如ク越陶ノ故事マデ、仰出サレタル。實ニ是末世相應ノ知識、凡愚引入ノ明師ナリ。



同下句ニ至テ、御病氣トリシキル間、親屬一類、悲泣雨涙シタマフ事、斜ナ  
 ラズ。サレドモ先師法語常ニ斷事ナシ。要言ヲ宣テ、所集ノ類ニキカシメタマフ。  
 オホヨソ御病中ノ宣説、金言、毛舉ニ遑アラズ。シカレバ二十五日ノ曉、大地  
 鳴動シケリ。聞人不思議ノ思アリ、是即權化入滅ノ瑞相ナリ。ソレヲキク人或  
 ハ傷嗟シ、或ハ奇特ノ思アリ。時ウツリ、夜明スレバ、日光東嶺ホノメイテ、清  
 虚雲晴テ金色ニ變ズ。然テ漸ク未明ニ覃ト見シカバ、一屬或ハ親厚ノ所衆、  
 五體投地シ、涕泣嗚咽セシムル事限ナシ。然シテ午ノ正中ニ、頭北面西ニ臥  
 タマヒ、睡レルガゴトクニテ、終ニ念佛ノ息絶畢、時ニ春秋八十五歳、身體柔  
 軟ニシテ、相貌常ノ如シ。悲哉ヤ、日月西雲ニ還隱シ、法燈忽ニ消失スト、  
 國郡ノ徒衆悲傷ヲイダキ、穢域ノ門輩哀慟ニシヅム、實ニ撫育考妣ヲウシナヘ  
 ルニスギタリ。

第三ニ、滅後ノ利益ト云ハ、凡愚易往ノ教文ヲノコシテ、失道ノモノ、指南ト  
 シ、没後利益ノ言光ヲ暉カシテ、闇冥ノモノ、慧日トシタマフ。然ニ遺言ニ任テ  
 即二十六日ノアサ、曲祿ニノセ奉リ、御影前ヘウツシ、聖人ノ在ス須彌  
 座ノ右ニ置奉リケル。門葉群集シテ、悉ク感涙ニムセフ。各愁悃ノ袖ヲ拭リ  
 ス。抑カノ面貌ヲ見奉ルニ、御影聖人ノ尊顔ニ毛端ホドモ相違セズ。シカレ  
 バ萬人拜シ奉ル輩、祖師聖人ノ再誕ト、イヨク敬信ヲイダケリ。  
 爰ニアル人、靈夢ヲ感スル事アリ。去ヌル夾鐘上句第八日、イサ、カ睡眠  
 シケルニ、或人ノ云、今此本願寺上人ハ、黒谷聖人ノ化身トシテ在ス間ダ、必  
 ズ二十五日ニハ、入滅シタマフベシトイヘルト、アキラカニ見ケリ。此人不思議ノ  
 儀ヲナシ、イソギ上洛シテ、人々ニ語アヘリ。シカルニ、日限タガハズ、入滅シタマ  
 フ事、奇特ナリト、滅後ノ今時ニ至テ思合タル。夫三春イツレノ時ゾ、カレハ



初春下旬五日、コレハ暮春下旬五日、カレハ淨土ノ元祖、コレハ末法ノ明師ナリ。古今イツレトセンヤ、化導不思議ナルモノヲヤ。

同二十六日辰刻ニ、葬喪ノ場ニ送リタマフ。シカンバ日光萬山ニカヤキ、

曜色衆木ニウツリ、紫雲四方ニ垂布シ、殊ニ西ノ空ニアタリ、金色ノ光雲カサ

ナレリ。又諸佛菩薩ノ音樂ヲキ、奇麗妙華フリクダル事、マノアタリ諸人コレ

ヲ拜セリ。諸方ノ有情、日域ノ門流、來集シテ、江河山谷ライハズ、群蟻シテ不

思議ノ靈瑞ヲ見奉リ、屈敬シ哽絶ス。自他宗コレヲ見聞シテ、仰崇ノ思ヲナセ

リ。シガレバホドナク葬場ノ煙トナリ、青帝ノ天ニ立登ケルニ、白鷺充滿シテトビ

ネグリ、又白龍現ジテ暫煙ヲサラス、是併、結縁ノユヘカ、又臨葬ヲ歎ズル故カ

希代ノ事ナリ。又カノ葬煙肉身ノ香カツテコレナシ、馨香紛馥ナル事、人間ノ

沈檀ニ異ナリ、旁以靈瑞不思議ノ事ナリ。ソレ尊老隨置タマヘル萬對華集コ

ト、夕萎藥セリ。コトニ草木非情ノ類マデモ、彼入滅ヲ悲歎セルモノヲヤ。昔

釋迦大師、入滅ノトキ、暴風オコリ天曇、樹木雙林色ヲ變ジ、提河流竭ケリ。

最彼ニ同ジカルベシ。實ニ奇トスベシ。權化ノ方便、末代ノ衆生ニシラセントナリ

仰ヘシ、信スベシ。

粵ニ泉涌寺ノ長老、カタラレケルハ、本願寺ノ上人ハ、開山聖人ノ後身ナリ

ト、アラタニ夢想ヲ被ケルヨシ、健ニ聞シヨリ、奇特ニ思ヒケルホドニ、今度カノ聞

維ニオヨブ間、コノ寺ノウシロノ嶺ニノボリ、遙ニカノ葬喪ヲ拜スルニ、煙ノ内ニ

忽ニ白龍二頭現ジ、紫雲タチ、華ノリケレバ、唯事ナラズオボエテ、紅淚連々ト

シテトマラズ。實ニカクノ如キノ妙事ハ、耳ニキケドモ、眼ニハ見ズ、老齡七十

年ノ間ニ、コノタビ始テ、不思議ノ奇特ヲ拜シタリトテ、物語アリキト云云。

同二十七日、遺骨ヲヒロヒテ、即二十八日ヨリ、仲呂十七日マデ、忌辰ノ



日數ヲツ、メテ、念佛勤行ヲ勵シ、耆閣ノ眞文ヲ讀誦シ、本式ニ任テ、五旬ノ中陰ヲ致シタマフヘシトイヘドモ、佛事供養ヲ要トセズ、タゞ歸命ノ信心ヲ本意ト思召、存日ノ時々、三七日バカリ、ソノ營ヲナスベシト仰置レシ旨ニ任テ、カクノ如シ。凡報恩ノ誠ヲ致シ、懇志ヲ抽ンツル類、イヨ／＼稱計スベカラズ、稟教ノ族ハ、謝德ヲ專ニシテ、遺訓ヲマモリ、歩ヲ運ブ緇徒、大オホシ。シカルニ終焉ノ砌ヨリ、四月二日マデ、紫雲空中ニオホヒキ。同日ヨリ、マタ七日タチテ本堂御影堂ノ上ニ、寶華充滿シテ、フリクダリ、佛庭ニ近ツク道俗、法筵ニソツム老少、コレヲ拜シ、隨喜ノ涙ヲ流シ、渴仰ノ色深カリケリ。攝州東成郡大坂ノ坊閣ノ邊ニモ、同ク七日紫雲タチ、二尺バカリナル華フリクダル事、自他宗コレヲ拜シ、瞻仰ヲ致ス。不思議ナリト稱セル事、人口ニ殘レリ。ソレ金闕ニノゾム月卿、芝砌ニ走ル雲客、ソノ外大樹勇武、總ジテ屬民野叟ノ類マデモ

讚譽セストイフ事ナシ。明應九年、彼一周忌ラムカヘテ、勤行ノ忠心ヲ致シ、偏ニ報謝ノ丹誠ヲコラス。ソノ諷諫ノ熾ナル事、スコブル在世ノ昔ニ超ズリ。カノ遺恩ヲ重ンズル門葉、在々所々ニ遍布シテ、末流國郡ニ繁昌セリ。然ニ此一回ノ忌辰ニ至テ、又華フリ下事、一所ニカキラス、京夷ニ覃ヘリ。其後亦年忌ブムカフルコトニ、如是ノ瑞事ヲ見事シゲカリキ。後弟蹤跡ヲ慕ヒ、報恩ノマコトヲ致シ、遠回千里ノ雲濤ヲシノイテ、懇念ヲハコビ、峻道萬程ノ青嶂ヲ歩テ、廟堂ニ詣ス。華夷ノ息白、遠近ノ貴賤、ソノ舊好ヲタツ子、遺誠ヲ重ジテ、年々松林ノ嚴扉ニ詣スル事、濟々焉タリ。シカレバソレラ无始ヨリコノカタ、生死ノ苦海ニ沈テ、三毒ノ愛波シノギガタク、无明ノ長夜ニマトヒテ、三途ノ黑闇出ガタシ。是ニ仍テ大聖悲憐シテ、ヒロク一代ヲ選テ、西土ノ眞教ヲ明テ、遠ク末代ニ蒙ラシメ、法滅百歳



ヲ救濟シタマフの實ニ釋尊出世ノ本懷、諸佛誠諦ノ金說ナリ。是即愚凡易  
 往ノ捷徑、跋蹇能度ノ風船ナリ。コノエヘニ、五祖東漢ニイデ、偏ニコノ法ヲ  
 シキシ、本朝ニマタ源信源空ソノ教ヲツタヘテ、アマチク淨土ノ教門ヲヒライテ  
 安養ノ往生ヲス、ム。爰ニ祖師聖人出世シタマヒテ、眞宗ヲ弘興シ、教行ノ要  
 義ヲノベテ、濁世ノ群萌ヲ利シヌ。サレバ先師和國ニ生ラ受、一流ノ中絶セルヲ  
 再興シ、心指トゴロノ衆類ヲ化度シ、我朝ニノコル處ナク、聖人ノ御代ニ聞得  
 ザル遠邦外邊ニ至マデ、教法ヲヒロメタマヒ、ナラ滅後ニ於テ、利益ヲ遐代ニア  
 ラハサントテ、明應第八彌生ノ空ニ、雲カクレシタマヒ、マノアタリ靈異ヲミセシメ  
 タマヒケリ。滅後ノ世ニ至テ、ソノ遺徳オホキ中ニ、先師翰墨ヲナゲウチタマフ、  
 六字ノ尊號ノ中ニ、奇特不思議アリ。權筆トシテ喩ラトルニモノナシ、今略シテ  
 ソノ不思議ヲ云ニ、タトヘバ門葉ノウチニ、道場ヲ燒失シケルニ、或ハ名號燬焦

シテ、オホク佛像トナリタマヘルアリ、或ハ名號燒爛セシガ、ソノ字形バカリ明  
 ニ残り、或ハ名號破燃セシガ、漸々ニイエカヘルモアリ、滅後ノ勝相モトモ感ズ  
 べシ。名號ノ焦燃シテ、佛像トナル事ハ、在世ニモ有シコトナリ、順誓先師ニ申  
 上ケルハ、爰ニ不思議アリ、御筆ノ名號燒焦シテ、六體ノ佛像トナリタマヘル  
 ト云云。其時仰ラレケルハ、佛ノ佛トナリタマフハ、不思議トスルニタラス、凡夫ノ  
 身ナガラ、一念ノ信ヲモテ、頓ニ證悟ラトル事コソ、不思議ノ第一ナレト仰ラレ  
 ケリ。  
 入滅已後、十箇年ヲ過テ、門葉ノ中ニ、彼尊翰ヲ安置シ奉ルニ、常ニ燈明ヲ  
 カ、ゲサルニ、名號ノホトリカ、ヤキタマフ事アリ、驚テ是ヲ拜スルニ、光曜アガ  
 ヤカニシテ、阿彌陀佛ノ四字ノ上ニ、忽ニ方便法身ノ尊形イデキタマヘリ、  
 如レ是拜スル間ニ、南无ノ二字ノトホリニ、本師親鸞聖人ノ尊形、鮮覈トシテ



現シタマフ。其後マタ、先師蓮如上人ノ容貌、出來シタマフ。居諸ヲヘ星霜ヲ  
カサテ、彌々ソノ形アキラカニシテ、佛像アマタイデキタマヘリ。上古ニモ季世ニ  
モ、カクノ如クノ奇特アルベカラズ。實ニ是滅後ノ利益ヲ、且ハ末代ニシテセント  
善巧不思議ノ徴ナリ。

伏以、釋迦選擇ノ教風、惑深覆障ノ霞雲ヲハラフト雖、正像春夏ノ天  
騰騰トシテ、光アキラカナラズ。然ニ末法ノ秋ノ空寂靜ニシテ、淨土圓滿ノ月  
朗ナリ。ゴ、ニシンヌ。西方ノ教潤、高峰ヨリ出テ、遼溪ノ垢濁ヲス、ギ、彌陀  
ノ法水、遼季ノ滅劫ニ流テアマチク六趣四生ノ乾地ヲウルホス。上來ニ義ノ不  
同アリトイヘドモ、僅ニソノ奇蹤ヲシルス。委曲スルニイトマアラズ、併ラコレヲ略  
スル所ナリ。

### 蓮如上人遺德記

右所録冊篇、殆ト有以憚但思頗有僻之恐、愁ニ深ニ黃子之拳墨一列ニ鳥鼠ノ  
之疎詞ヲ、有レ恥有レ憚、餘テ是ニ楚忽短慮彌惑、豈非レ受ニ呵咲ヲ乎、寧非、  
招ニ毀哂ニ乎、雖レ然、憶フニ彼ノ德海ヲ、深シテ而難レ覆ニ其ノ譽ニ難レ謝ニ其ノ恩ヲ  
因レ茲舉ニ九牛カ一毛ヲ、拾ニ所聞之聊ナル旨ヲ、俯シテ乞文體卑劣、言辭北謬  
尤讓ニ他眼ニ、而加ニ取捨通局ニ而已。

大永第四曆南呂初三日同第五之天終早書篇畢

此ノ遺德記ハ、本泉寺兼縁蓮悟ノ所集、其後實悟記レ之。釋ノ兼興<sup>七十</sup>先年  
予馳筆ノ之次、早卒ニ記レ之、其ノ後者擬シテ反古ニ令ニ棄置ニ之處ニ、尙斯ノ書  
在ニ座右ニ、然間爲レ消ニ閑窓ノ徒然永日ノ之懶睡ヲ、聊加ニ添削ヲ、書ニ改之、  
愚昧ノ之短語、不レ及ニ再覽ニ、慚ニ汗ス之ヲ。天文二癸巳年<sup>癸巳</sup>雜賓下旬日



訓

行

訓

行



蓮如上人御一代記聞書

古寫本外題ニ實悟覺書天正十三年記ト云

ヒトツクワシユツト一〇勸修寺村ノ道徳、メイオウニ明應二年正月一日ニ、ゴゼン御前へマイリタルニ、レンニヨ蓮如  
シヤウニ上人、オホセラレサフラフ。道徳ハ、ダウトクイクツニナルゾ、チンブチ念佛マフサルベシ。自  
リキカノ念佛トイフハ、チンブチ念佛オホクマフシテ、フチ佛ニマイラセ、クワダクコノマフシタル功德ニテ、  
フチ佛ノタスケタマハンスルヤウニオモフテ、タリキトナフルナリ。他力トイフハ、ミダク彌陀ヲタノム  
チンブチ一念ノオコルトキ、オンヤガテ御タスケニアツカルナリ。ゾノ、チンブチ念佛マフスハ、オン御タスケ  
チンブチアリタル、タリキアリガタサノト、タオモフコ、タロヲヨロコビテ、ナモワ南无阿彌陀佛ニ自力ヲ  
クハヘザルコクハヘザルコ、タリキロナリ。サレバ他力トハ、タ他ノ力トイフコ、タロナリ。コノ一念、チンブチ臨終  
マデトホリテマデトホリテ、ワウヤウ往生スルナリト、オホセラレサフラフナリオホセラレサフラフナリ。

ヒトツクワセ一〇仰ニ、ナム南无トイフハ、クハヒヤウ歸命ナリ。歸命トイフハ、ミダク彌陀ヲ一念、チンブチタノミマイラス



ルコ、ロナリ。マタ發願廻向トイフハ、タノム機ニ、ヤガテ大善大功德ヲアタヘタマフナリ。ソノ體スナハチ南无阿彌陀佛ナリト仰候キ。

一〇加賀願生ト、覺善ト、又四郎トニ、對シテ、信心トイフハ、彌陀ヲ一

念御タスケサフラヘトタノムトキ、ヤガテ御タスケアルスガタラ、南无阿彌陀佛ト

マフスナリ。總シテ、ツミハイカホドアルトモ、一念ノ信心ニテ、ケシウシナヒタマフ

ナリ。サレバ无始已來、輪轉六道ノ妄業、一念南无阿彌陀佛ト歸命スル佛

智无生ノ妙願力ニホロボサレテ、涅槃畢竟ノ眞因、ハジメテキザストコロサス

ナリトイフ、御コトバラヒキタマヒテ、仰サフラヒキ。サレバコノコ、ロヲ、御カケ字ニ

アソバサレテ、願生ニクダサレケリ。

一〇御ソトメノトキ、願讚御ワスレアリ。南殿へ御カヘリアリテ、仰ニ、聖人御

ス、メノ和讚、アマリニ、殊勝ニテ、アゲバラワスレタリト仰サフラヒキ。アリガ

タキ御ス、メヲ信シテ、往生スルヒトスクナシト御述懐ナリ。

一〇念稱是一トイフコト、シラズトマフシサフラフトキ、仰ニ、オモヒウチニアレハ

イロホカニアラハル、トアリ。サレバ信ラエタル體ハ、スナハチ南无阿彌陀佛ナリト

コ、ロウレバ、口モコ、ロモヒトツナリ。

一〇アサノ御ツトメニ、イツ、ノ不思議ヲトクナカニヨリ、盡十方ノ无尋光ハ、

无明ノヤミヲテラシツ、一念歡喜スルヒトラ、カナラズ滅度ニイタラシムト候

段ノニ、ロヲ、御法嘆ノトキ、光明遍照十方世界ノ文ノコ、ロト、マタ、月カ

ゲノ、イタラヌサトハナケレドモ、ナガムルヒトノ、コ、ロニゾスムト、アルウタヲヒキヨ

セ、御法嘆候。ナカ、アリガタサ、マフスバカリナクサフラフ。上様、御立ノ御

アトニテ、北殿様ノ仰ニ、夜前ノ御法嘆、今夜ノ御法嘆トヲ、ヒキアハセテ仰候

アリカタサ、是非ニオヨハスト御掟候ヒテ、御落涙ノ御コトカギリナキ御コト



ニサフラフ。

一〇三河ノ教賢、伊勢ノ空賢トニ對シテ、仰ニ、南无トイフハ歸命、コノコ、ロハ、御タスケサフラヘト、タノムナリ。コノ歸命ノコ、ロ、ヤガテ發願廻向ノコ、ロヲ感スルナリト、オホセラレサフラフナリ。

一〇他力ノ願行ヲ、ヒサシク身ニタモチナガラ、ヨシナキ自力ノ執心ニホダサレテ、ムナシク流轉シケルナリトサフラフヲ、エ存ゼズサフラフヨシ、マフシアゲ候トコロニ、仰ニ、キ、ワケテ、エ信セヌモノ、コトナリト、仰ラレサフラヒキ。

一〇彌陀ノ大悲ノ、ム子ノウチニ、カノ常没ノ衆生、ミチノタルトイヘルコト不審ニサフラフト、福田寺マフシアゲラレサフラフ。仰ニ、佛心ノ蓮花ハ、ム子ニコソヒラクヘケレ、ハラニアルベキヤ。彌陀ノ身心ノ功德、法界衆生ノ、身ノウチ、ココロノソコニ、イリミットモアリ。シカレバ、タ、領解ノ心中ヲサシテノコトナリト、

仰サフラヒキ。アリガタキヨシ、サフラフナリ。

一〇十月二十八日ノ速夜ニ、ノタマハク、正信偈和讃ヲヨミテ、佛ニモ、聖

人ニモ、マイラセントオモフガ、アサマシヤ。他宗ニハ、ツトメラモシテ、廻向スルナリ御一流ニハ、他力信心ヲヨクシレト、オボシメシテ、聖人ノ和讃ニ、ソノコ、ロヲアソハサレタリ。コトニ、七高僧ノ、御子シコロナル御釋ノコ、ロヲ、和讃ニキ、ツクルヤウニ、アソハサレテ、ソノ恩ヲ、ヨクノ存知シテ、アラタウトヤト、念佛スルハ、佛恩ノ御コトヲ、聖人ノ御前ニテ、ヨロコビマフスコ、ロナリト、クレノ、仰ラレ

サフラヒキ。

一〇聖教ヲヨクオホエタリトモ、他力ノ安心ヲ、シカト決定ナクバ、イタツラコトナリ。彌陀ヲタノムトコロニテ、往生決定ト信ジテ、フタコ、ロナク、臨終マデトヲリサフラハ、往生スベキナリ。



一〇明應三年十一月、報恩講ノ二十四日、アカツキ八時ニラキテ、聖人ノ御前、參拜マフシテサフラフニ、スコシチプリサフラフウチニ、ユメトモウツ、トモワカズ、空善オガミマフシ候ヤウハ、御厨子ノウシロヨリ、ワタラツ、ミヒロゲタルヤウナルウチヨリ、上様アラハレ、御出アルトオガミマフストコロニ、御相好、開山聖人ニテゾ、オハシマス。アラ不思議ヤトオモヒ、ヤガテ御厨子ノウチヲ、オガミマフセバ、聖人御坐ナシ。サテハ開山聖人、上様ニ現シマシクテ、御一流ヲ御再興ニテ御坐候ト、マフシイダスベキト存スルトコロニ、慶聞坊讚嘆ニ、聖人ノ御流義、タトヘバ木石ノ縁ヲマチテ火ヲ生ジ、瓦礫、錙ノスリテ玉ヲナスガコトシト、御私記ノウヘラ讚嘆アルトオボエテ、ユメサメテサフラフ。サテハ開山聖人ノ御再誕ト、ソレヨリ信仰マフスコトニサフラヒキ。

一〇教化スルヒト、マツ信心ノヨク決定シテ、ソノウヘニテ、聖教ヲヨミカタ

ラバ、キクヒトモ、信ヲトルベシ。

一〇仰ニ、彌陀ヲタノミテ、御タスケラ決定シテ、御タスケノアリガタサヨト、ヨロコブコ、ロアレバ、ソノウレシサニ、念佛マフスバカリナリ。スナハ千佛恩報謝ナリ。

一〇大津近松殿ニ對シマシクテ、仰ラレ候信心ヲヨク決定シテ、ヒトニモトラセヨト、仰ラレサフラヒキ。

一〇十二月六日ニ、富田殿へ御下向ニテ候アヒダ、五日ノ夜ハ、大勢ノ御前へマイリサフラフニ、仰ニ、今夜ハナニゴトニヒトオホクキタリタルゾト。願誓マフサレ候ハ、マコトニ、コノアヒダノ御聽聞マフシ、アリガタサノ御禮ノタメ、マタ明日日御下向ニテ御座サフラフ、御目ニカ、リマフスベシカノアヒダ、歳末ノ御禮ノタメナラント、マフシアゲラレケリ。ソノトキ仰ニ、无益ノ歳末ノ禮カナ、歳末ノ禮ニハ、信心ヲトリテ禮ニセヨト、オホセサフラヒキ。



一〇仰ニ、トキ／＼<sup>ヒトツオホセ</sup>懈怠スルコトアルトモ、往生スマジキカト、ウタガヒナゲク  
トアルモノアルベシシカレドモ、モハヤ彌陀如來ヲ、ヒトタヒタノミマイラセテ、<sup>ヒトツオホセ</sup>  
生決定ノノチナレバ、懈怠オホクナルコトノアサマシヤ、カ、ル懈怠オホクナル  
モノホレドモ、<sup>オホセ</sup> 依スケハ治定ナリ、アリガタヤ／＼ト、ヨロコブコ、ロラ、他力大  
行ノ催促ナリトマフスト、オホセラレサフラフナリ。

一〇御タスケアリタルコトノ、アリガタサヨト、念佛マフスベク候ヤ。又、御タ  
スケアラフズル事ノアリガタサヨト、念佛マフスベク候ヤト、マフシアゲサフラフト  
キ、仰ニ、イツレモヨシ、タ／＼シ、正定聚ノカタハ、御タスケアリタルト、ヨロコブコ  
、ロ。滅度ノサトリノカタハ、御タスケアラウスルコトノ、アリガタサヨト、マフスコ、  
ロナリ。イツレモ、佛ニナルコトヲ、ヨロコブコ、ロ、ヨシト仰サフラフナリ。  
一〇明應五年、正月二十三日ニ、富田殿ヨリ御上洛アリテ、仰ニ、當年

ヨリイヨ／＼<sup>オホセ</sup> 信心ナキヒトニハ、御アヒアルマジキト、カタノ 仰候ナリ。安心ノト  
ヲリ、イヨ／＼<sup>オホセ</sup> 仰キカセラレテ、マタ誓願寺ニ能ヲサセラレケリ。二月十七日ニ、  
ヤガテ富田殿へ御下向アリテ、三月二十七日ニ、サカイ殿ヨリ御上洛ニテ、二  
十八日ニ、仰ラレサフラフ。自信教人信ノユ、ロラ、仰キカセラレンガタメニ、上  
下辛勞ナレドモ、御出アルトコロハ、信ヲトリヨロコブヨシ、マフスコドニ、ウレシク  
テ、マタノボリタリト、オホセラレサフラヒキ。

一〇四月九日ニ、仰ラレ候。安心ヲトリテ、モノライハバヨシ。用ナイトコロラ  
バ、イフマジキナリ。一心ノトコロラバ、ヨクヒトニモイヘト、空善ニ御掟ナリ。  
一〇同十二日ニ、堺殿へ御下向アリ。  
一〇七月二十日、御上洛ニテ、ソノ日、仰ラレ候。五濁惡世ノワレラコソ、  
金剛ノ信心バカリニテ、ナガク生死ヲステハテ、自然ノ淨土ニイタルナレ。コノ



次ヲモ、御法嘆アリテ、コノ二首ノ讚ノコ、ロヲイヒテ、キカセントテ、ノボリタリト仰候ナリ。サテ自然ノ浄土ニイタルナリ、ナガク生死ヲヘダテケリ。サテノア  
ラ、オモシロヤ、ト、クレ、御掟アリケリ。

一。ノタマハク、南无ノ字ハ、聖人ノ御流義ニカギリテ、アソバシケリ。南无阿彌陀佛ヲ、泥ニテツツサセラレテ、御座敷ニカケサセラレテ、仰ラレケルハ、不可思議ノ佛、光導光佛モ、コノ南无阿彌陀佛ヲホメタマフ徳號ナリ。シカレバ、南无阿彌陀佛ヲ本トスベシト、オホセラレサフアラフナリ。

一。十方无量ノ諸佛ノ、證誠護念ノミコトニテ、自力ノ大菩提心ノ、カナハヌホドハシリヌヘシ。御讚ノコ、ロヲ、聽聞マフシタキト、願誓マフシアケラレケリ。仰ニ、諸佛ノ彌陀ニ歸セラル、ヲ、能トシタマヘリ。世ノナカニ、アマノコ、ロヲステヨカシ、妻ウシノツノハ、サモアラバアレト。コレハ、御開山ノ御ツタナリ。サレバ、カ

タチハイラヌコト、一心ヲ本トスヘシトナリ。世ニモ、カウベヲツルト不ヘトモ、コ、ロヲソラストイフコトガアルト、オホセラレサフアラフナリ。

一。鳥部野ヲ、オモヒヤルコソ、アハレナレ、ユカリノヒトノアト、オモヘバコレモ聖人ノ御ツタナリ。

一。明應五年、九月二十日、御開山ノ御影様、空善ニ御免アリ。ナカノ

アリガタサ、マフスニカギリナキコトナリ。

一。同十一月、報恩講ノ二十五日ニ、御開山ノ御傳ヲ、聖人ノ御前ニテ上様アソバサレテ、イロノ御法嘆サフアラフ。ナカノアリガタサ、マフスバカリナ

候。



サフラヒテ、ミナニオガマセタマヘリ。コノ正本シヤウホン、マコトニ宿善シラゼンナクテハ、拜見ハイケンマフサヌコトナリト、オホセラレサフラフ。

一〇ノタマハク、諸佛シヨフチ三業莊嚴ヒチキヨウベウアウシテ、畢竟平等シユシヤウヨウウナルコトハ、衆生シユシヤウ虚誑シユシヤウノ身口意ヲ、治センガタメトノタマフトイフハ、諸佛シヨフチノ彌陀ミダニ歸シテ、衆生シユシヤウヲタヌケラルハコトヨト、オホセラレサフラフ。

一〇一念ノ信心シンシムヲエテノチノ相續サウゾクトイフハ、ザラニ別ノコトニアラズ。ハジメ發起ホチキスルトコロノ安心アンシムニ、相續サウゾクセラレテ、タウトクナル一念イチネンノコ、ロノトアルヲ、憶念オクネンノ心シンツ子ニトモ、佛恩報謝フチオンホウシヤトモイフナリ。イヨク歸命クキイウノ一念イチネン、發起ホチキスルコト、肝要カンヨウナリトオホセサフラフナリ。

一〇ノタマハク、朝夕チウセキ、正信偈和讃シヤウシンガワニテ、念佛チンブチマフスハ、往生ワウシヤウノタ子ニナルベキカ、タ子ニハナルマシキカト、ヲノク坊主ボウゾウニ御オンタツ子ナリ。ミナ、マフサレケルハ、往生ワウ

生ウマヤノタ子ニナルベシト、マフシタルヒトモアリ、往生ワウシヤウノタ子ニハナルマシキトイフヒトモアリケルトキ、仰オホセニ、イツレモワロシ、正信偈和讃シヤウシンガワハ、衆生シユシヤウノ彌陀ミダ如來ニヨライヲ、一念イチネンニタノミマイラセテ、後生ゴシヤウタスカリマフセトノコトハリテ、アソバサレタリ。ヨクキ、ワケテ、信心シンシムヲトリテ、アリガタヤクト聖人シヤウニンノ御前ゴゼンニテ、ヨロコブコトナリト、シレ

仰オホセサフラフナリ。  
一〇南无阿彌陀佛ミツレナノ六字ロクジヲ、他宗カシユニハ、大善大功德ダイゼンダイクニテアルアヒダ、トナヘテ、コノ功德クダクヲ諸佛シヨフチ菩薩ササシヨテン諸天シヨフチニマイラセテ、ソノ功德クダクヲ、ワカモノガホニスルナリ。  
一流イツリウニハサナシ。コノ六字ロクジノ號イハ、ワカモノニテアリテコソ、トナヘテ佛菩薩フチボニマイラヌケレ。一念イチネン一心イチシンニ、後生ゴシヤウタスケタマヘトタノメバ、ヤガテ、御オンタスケニアツカルコトノ、アリカダヤクトマウスバカリ、リト、仰オホセ候コトナリナリ。

一〇三河ノ國ミカワヨリ、淺井アサイノ後室ゴウシツイトマゴヒニトテ、マイリ候コトナリニ、富田殿トミダノミヤヘ



御下向ノアシタノコトナレバ、コトノホカニ、御トリミダシニテ、御座候ニ、仰ニ  
 名號ヲタ、トナヘテ、佛ニマイラスルコ、ロニテハユメノナシ。彌陀佛ヲ、シカト  
 御タスケサフラヘト、タノミマイラスレバ、ヤガテ佛ノ御タスケニアツカルヲ、南無阿  
 彌陀佛トマフスナリ。シカレバ、御タスケニアツカリタルコトヲ、アリガタサヨノト  
 コ、ロニオモヒマイラスルヲ、クチニオホク南无阿彌陀佛ノトマフスヲ、佛恩ヲ  
 報スルトハ、マフスコトナリト、仰候ヒキ。

一〇順誓マフシアケラレ候。一念發起ノトコロニテ、ツミミノ消滅シテ、正定  
 聚不退ノクラキニサダマルト、御文ニアソバサレタリ。シカルニ、ツミハイノチノアル  
 マヒダ、ツミモアルヘシト、オホセサフラフ御文ト、別ニキコニマフシサフラフヤト、マ  
 フシアケサフラフトキ、仰ニ、一念ノトコロニテ、ツミミノキエテアルハ、一念ノ信  
 カニテ、往生サダマルトキハ、ツミハサハリトモラズ、サレバナキ分ナリ。イノチノ

娑婆ニアランカギリハ、ツミハツキザルナ。順誓ハ、ハヤサトリテ、ツミハナキカヤ。  
 聖教ニハ、一念ノトコロニテ、ツミキエテアルナリト仰ラレ候。罪ノアリナシノ  
 沙汰ラセンヨリハ、信心ヲトリタルカ、トラザルカノ沙汰ヲ、イクタビモノヨシ、  
 ツミキエテ御タスケアラントモ、ツミ消ズシテ御タスケアルヘシトモ、彌陀ノ御ハカラ  
 ヒナリ、我トシテハカラフベカラス。タ、信心肝要ナリト、クレノオホセラレサフ  
 ラフナリ。

一〇眞實信心ノ稱念ハ、彌陀廻向ノ法ナレバ、不廻向トナツケテゾ、自力  
 ノ稱念キラハル、トイフハ、彌陀ノカタヨリ、タノムコ、ロモ、タウトヤアリガタヤト  
 念佛マフスコ、ロモ、ミナアタヘタマフユヘニ、トヤセンカクヤセントハカラフテ、念佛  
 マフスハ、自力ナレバ、キラフナリト、オホセサフラフナリ。

一〇無生ノ生トハ、極樂ノ生ハ、三界ヲヘメクルコ、ロニテアラサレバ、極樂ノ



生ハ、无生ノ生トイフナリ。

一〇 廻向トイフハ、彌陀如來シ、衆生ヲ御タスケテ、イフナリト、オホセラレサフ  
ラフナリ。

一〇 仰ニ、一念發起ノ時、往生ハ決定ナリ。

ツミケサズシテ、タスケタマハントモ、彌陀如來ノ御ハカラヒナリ。ツミノ沙汰无益  
ナリ。タノム衆生ヲ、本トタスケタマフコトナリト仰ラレ候ナリ。

一〇 仰ニ、身ヲステテ、平坐ニテ、ミナト同坐スルヲハ、聖人ノオホセニ、四海ノ

信心ノヒトハ、ミナ兄弟ト、仰ラレタレバ、ワレモソノ御コトバノコトクナリ。マダ同

座ヲモシテアラハ、不審ナルコトヲモトヘカシ、信ヲヨクトレカシト、子ガフバカリナ  
リト、オホセラレサフナリ。

一〇 愛欲ノ廣海ニ沈没シ、名利ノ大山ニ迷惑シテ、定聚ノカズニイルコトヲ

ヨロコバス、眞證ノ證ニチカヅクコトヲ、タノシマストマフス沙汰ニ、不審ノアツカヒ

ドモニテ、往生センズルカ、スマジキナンド、タガヒニマフシアヒケルヲ、モノゴジニキ

コシメサレテ、愛欲モ、名利モ、ミナ煩惱ナリ。サレバ、機ノアツカヒラスルハ、雑修

ナリト、オホセラフナリ。タ、信スルホカハ、別ノコトナシト、仰ラレ候ナリ。

一〇 ユフツリ案内ヲモマフサズ、ヒトノオホクマイリタルヲ、美濃ドノ、マカリ

イデサフラヘト、アラノ御マフシノトニコロニ、仰ニ、サヤウニイハンコトバニテ、

一念ノコトライヒテキカセテ、カヘセカシト、東西ヲハシリマハリテ、イヒタキコトナ

リト、オホセラレ候トキ、慶聞坊、ナミダラナガシ、アヤマリテ候トテ、讀喚ア

サケリ。ミナノ落涙マフスコト、カキリナカリケリ。

一〇 明應六年十一月、報恩講ニ、御上洛ナク候アヒダ、法慶坊、御使

トシテ、當年ハ、御在國ニテ御座サフアラヒダ、御講ヲナニト御沙汰アルキキヤ



ト、タツ子御マフシ候ニ、當年ヨリハ、ユフベノ六トドキ、アサノ六トドキヲカキリニ、  
 ミナ退散アルベシトノ、御文ヲツクリテ、カクノゴトクメサルベキヨシ、御掟アリ。御  
 堂ノ夜ノトマリ衆モ、ソノ日ノ頭人バカリト、御掟ナリ。マタ上様ハ、七日ノ御講  
 ノウチヲ、富田ドノニテ三日、御ツトメアリテ、二十四日ニハ、大坂ドノへ御下向  
 ニテ御勤行ナリ。

一〇 同七年ノ夏ヨリ、マタ御違例ニテ御座候アヒタ、五月七日ニ、御イ

トマゴヒニ、聖人へ御マイリアリタキト、オホセラレテ、御上洛ニテ、ヤガテオホセニ  
 信心ナキヒトニハ、アフマジキノ、信ラウルモノニハ、メシテモミタクサフラフ。アスグ  
 ベシト仰ナリト云云

一 イマノヒトハ、イニシヘヲタツヌベシ。マタフルキヒトハ、イニシヘヲヨクツタフ  
 ベシ。物語ハウスルモノナリ。シルシタルモノハ、ウセス候。

一〇 アカラノ道宗、マフサレサフラフ。一日ノタシナミニハ、アサツトメニカ、サジ

トタシナメ。一月ノタシナミニハ、チカキトコロ、御開山様ノ御座候トコロへ、マ

イルベシトタシナムベシ。一年ノタシナミニハ、御本寺へマイルベシト、タシナムベシ

ト云。コレヲ圓如様、キコシメシヲヨバレ、ヨクマフシタルトオホセラレサフラフ。

一〇 ワガコ、ロニマカセズシテ、コ、ロラセメヨ。佛法ハ、コ、ロノツマルモノカトオ

モヘバ、信心ニ御ナグサミ候ト、オホセラレサフラフ。

一〇 法敬坊、九十マデ存命サフラフ、コノトシマデ、聽聞マフシサフラヘドモ、

コレマデト存知タルコトナシ。アキタリモナキコトナリト、マフサレサフラフ。

一〇 山科ニテ、御法嘆ノ御座候トキ、アマリニアリガタキ御掟トモナリトテ、

コレヲワスレマフシテハト存シ、御座敷ヲタチ、御堂へ六人ヨリテ、談合サフラヘバ  
 面々ニキ、カヘラレサフラフ。ソノウチニ、四人ハチガヒサフラフ。大事ノコトニテ



チフラフ

候 トマフスコトナリ。キ、マドヒアルモノナリ。

一〇 蓮如上人ノ御トキ、コ、ロザシノ衆モ、御前ニオホク 候 トキ、コノウチ、

信ヲエタルモノイクタリアルベキゾ、ヒトリカ、フタリカ、アルベキカナド、御掟 候 ト

キ、ヲノノキモヲツブシサフラフト、マフサレサフラフヨシニ 候。

一〇 法慶マフサレサフラフ、讃嘆ノトキ、ナニモオナシヤウニキカデ、聴ハ、カドヲ

キケト、マフサレサフラフ。詮アルトコロヲキケトナリ。

一〇 憶念稱名 イサミアリテトハ、稱名 ハイサミノ念佛ナリ。信ノウヘハ、ウ

レシク、イサミテ、マフス念佛ナリ。

一〇 御文ノコト。聖教ハ、ヨミチガヘモアリ、コ、ロエモユカヌトコロモアリ。御文

ハ、ヨミチガヘモアルマジキトオホセラレサフラフ。御慈悲ノキハマリナリ。コレヲキハ

ナガラコ、ロエノユカヌハ、无宿善ノ機ナリ。

一〇 御流ノ御コト、コノトシマデ聽聞マフシサフラヒテ、御コトバラウケタマハリ

サフラヘドモ、タ、コ、ロカ、御コトバノゴトクナラヌト、法慶マフサレ 候。

一〇 實如上人、サイノ仰ラレ 候。佛法ノコト、ワガニ、ロニマカセス、タシ

ナメト御掟ナリ。コ、ロニマカセテハ、サテナリ。スナハチコ、ロニマカセス、タシナム

心ハ、他力ナリ。

一〇 御一流ノ義ヲ、ウケタマハリワケタルヒトハアリトモ、キ、ウルヒトハマレナリ

トイヘリ。信ラウル機、マレナリトイヘルコ、ロナリ。

一〇 蓮如上人ノ御掟ニ、佛法ノコトヲイヌニ、世間ノコトニ、トリナスヒトノミ

ナリ。ソレヲ、タイクツセズシテ、マタ佛法ノコトニ、トリナセト、オホセラレ 候ナリ。

一〇 聖教ヲ、スキコシラヘモチタルヒトノ子孫ニハ、佛法者イダタルモノナリ。ヒ

トタビ、佛法ヲタシナミサフラフヒトハ、大様ニナレドモ、オドロキヤヌキナリ。



一〇タレノトモガラモ、ワレハワロキト、オモフモノ、ヒトリトシテモアルヘカラス。コレニヨリテ、一人ツツモ、心中ラヒルガヘサズハ、ナガキ世、泥梨ニフカクシツムベキモノナリ。コレトイフモ、ナニゴトゾナレバ、眞實ニ、佛法ノソコヲシラザルユヘナリ。

一〇ミナヒトノ、マコトノ信ハ、サラニナシ、モノシリガホノフゼイニテコソ。近松殿ノ界へ御下向ノトキ、ナゲシニオシテラカセラレ候。アトニテコノコ、ロヲオモヒイタシサフラヘト御掟ナリ。光應寺殿ノ御不審アリ。モノシリガホトハ、ワレハコ、ロエタリトオモフガ、コノコ、ロナリ。

一〇法敬坊、安心ノトヲリバカリ、讃嘆ルヒトナリ。言南无者ノ釋ヲバ、イツモハツサズヒクヒトナリ。ソレサへ、サシヨセテマフセト、蓮如上人、御掟候ナリ。コトバスクナニ、安心ノトヲリマフセト、御掟ナリ。

一〇善宗マフサレ候。コ、ロザシマフシ候。トキ、ワガモノガホニ、モチテマイルハ、ハツカシキヨシ、マフサレ候。ナニトシタルコトニテ候。ヤト、マフシサフラヘバ、コレハミナ御用ノモノニテアルヲ、ワガモノノヤウニモチテマイルト、マフサレサフラフ。タ、上様ノモノ、トリツキ候。コトニテ、サフラフヲ、ワガモノガホニ存ズルカト、マフサレサフラフ。

一〇津國クンゲノ主計トマフスヒトアリ。ヒマナク念佛マフスアヒダ、ヒゲヲソルトキ、キラヌコトナシ。ワスレテ念佛マウスナリ。ヒトノクチ、ハタラカチバ、念佛モ、スコシノアヒダモ、マフサレヌカト、コ、ロモトナキヨヨニサフラフ。

一〇佛法者マフサレ候。ワカキトキ、佛法ハタシナメト候。トシヨレバ、行歩モカチハズ、チムタクモアルナリ。タ、ワカキトキ、タシナメト候。

一〇衆生ヲ、シツラヒタマフ。シツラフトイフハ、衆生ノコ、ロヲ、ツノマ、フキテ



ヨキコ、ロラ、御クハハサフラヒテ、ヨクメサレナシ候。衆生ノコ、ロラ、ミナトリカベテ、佛智バカリニテ、別ニ御シタテ候。コトニテハ、ナクサフラフ。

一〇アガ妻子ホド、不便ナルコトナシ。ソレヲ勸化セヌハ、アサマシキコトナリ。宿善ナクバ、チカラナシ。ワガ身ヲヒトツ、勸化セヌモノガアルベキカ。

一〇慶聞坊ノイハレ候。信ハナクテ、マギレマハルト、日ニク地獄ガチカクナル。マギレマハルアラハレバ、地獄ガチカクナルナリ。ウチミハ信不信ミエズサフラフ。トラクイノチヲモタズシテ、今日バカリトオモヘト、フルキコ、ロザシノヒト、マフサレサフラフ。

一〇一度ノチカヒガ、一期ノチカヒナリ。一度ノタシナミガ、一期ノタシナミナリ。ソフエハバ、ソノマ、イノチヲハレバ、一期ノチカヒニ、ナルニヨリテナリ。

一〇今日バカリ、オモフコ、ロラフスルナヨ、サナキハイト、ソノゾミオホキニ御歌。聖如鏡。

一〇蓮如上人仰ラレ候。本尊ハ掛ヤブレ、聖教ハヨミヤブレト、對句ニ仰ラレ候。

一〇他流ニハ、名號ヨリハ繪像、繪像ヨリハ木像ト云ナリ。當流ニハ、木像ヨリハエザウ、繪像ヨリハ名號トイフナリ。

一〇御本寺北殿ニテ、法敬坊ニ對シテ、蓮如上人仰ラレ候。ワレハ、何事ヲモ、當機ヲカ、ミオボシメシ、十アルモノヲ一ニスルヤウニ、カロクト理ノヤガテ叶フ様ニ、御沙汰候。是ヲ人ガ、勘ヘヌト仰ラレ候。御文等ヲモ、近年ハ

御コトバスクナニアソバサレ候。今ハ、モノヲ聞ウチニモ退屈シ、物ヲ聞オトス間々肝要ノコトヲヤガテシリ候。ヤウニ、アソバサレ候。由、仰ラレ候。

一〇法印兼縁、幼少ノ時、二役ニテ、アマタ小名號ヲ申入候時、信心ヤアル、ヲノくト仰ラレ候。信心ハ體名號ニテ候。仰、今思合候トノ義ニ



候○

一〇蓮如上人仰ラレ候 塚ノ日向屋ハ、三十萬貫ヲ持タレドモ、死ニタルガ佛ニハナリ候マシ。大和ノ了妙ハ、帷一ツヲモキカ子候ヘドモ、此度佛ニナルヘキヨト、仰ラレサフラフ由ニ候○

一〇蓮如上人へ、久寶寺 法性、申サレ候ハ、一念ニ、後生御タスケ候ヘト、彌陀ヲタノミ奉リ候バカリニテ、往生一定ト存候。カヤウニテ、御入候カト、申サレ候ヘバ、或人ワキヨリソレハイツモノ事ニテ候、別ノコト不審ナルコトナド、申サレ候ハデト、申サレ候ヘバ、蓮如上人、仰ラレ候。ソレゾトヨ、ワロキトハ、メツラシキ事ヲ、聞タクオモヒ、シリタク思フナリ、信ノウヘニテハ、イクタビモ心中ノオモムキ、カヤウニ申サルヘキコトナルヨシ、仰ラレ候○

一〇蓮如上人仰ラレ候 一向ニ不信ノ由、申サル、人ハ、ヨク候。○エト

バニテハ、安心ノトヲリ申候テ、口ニハ同ゴトクニテ、マギレテ空クナルヘキコトヲ、悲ク覺エ候由、仰ラレ候ナリ○

一〇聖人ノ御一流ハ、阿彌陀如來ノ御掟ナリ。サレバ、御文ニハ、阿彌陀如來ノ仰ラレケルヤウハト、アソバサレ候○

一〇蓮如上人、法敬ニ對セラレ、仰ラレ候 今此彌陀ヲタノメトイフコトヲ御教ヘ候 人ヲ、シリタルカト、仰ラレ候 願誓、存セズト申サレ候。今、御

ヲシヘ候 人ヲ云ヘシ。鍛冶番匠ナドニ、物ヲラシフルニ、物ヲ出スモノナリ。一大事ノコトナリ。何ゾモノヲマイラセヨ、イフヘキト仰ラレ候 時、願誓、ナカ

何タルモノ成トモ、進上イタスヘキト、申サレ候 蓮如上人、仰ラレ候。此事ヲラシフル人ハ、阿彌陀如來ニテ候 阿彌陀如來ノ、我ヲタノメトノ、御



ラシヘニテ候由、仰ラレ候。

一〇法敬坊、蓮如上人へ申サレ候。アツバザレ候御名號、燒申候。

ガ、六體ノ佛ニナリ申候。不思議ナル事ト、申サレ候へバ、前々住上人、ソノ

時、仰ラレ候。ソレハ不思議ニテモナキナリ。佛ノ佛ニ御ナリ候ハ、不思議ニテ

モナク候、惡凡夫ノ彌陀ヲタノム一念ニテ、佛ニナルコソ、不思議ヨト仰ラレ

候ナリ。

一〇朝夕ハ、如來聖人ノ御用ニテ候間、冥加ノ方ヲ、フカク存スヘキヨシ、

折々前々住上人、仰ラレ候由ニ候。

一〇前々住上人、仰ラレ候。カムトハシルトモ、吞トシラスナト云コトガアル

ゾ。妻子ヲ帶シ、魚鳥ヲ服シ、罪障ノ身ナリトイヒテ、サソミ思ノマ、ニハ、アルマ

ジキ由、仰ラレ候。

一〇佛法ニハ、无我ト仰ラレ候。ワレト思コトハ、イサ、カ、アルマジキコトナ

リ。ワレハ、ワロシトオモフ人ナシ。コレ聖人ノ御罰ナリト、御詞候。他力ノ御

ス、メニテ候。ユメノ、ワレトイフコトハ、アルマジク候。无我ト云コト、前住

上人モ度々仰ラレ候。

一〇日比シレルトコロラ、善知識ニアヒテ、トヘバ、徳分アルナリ。シレルトコロ

ヲトヘバ、徳分アルトイヘルガ、殊勝ノコトバナリト、蓮如上人、仰ラレ候。不

知處ヲトヘバ、イカホド殊勝ナルコト、アルベキト仰ラレ候。

一〇聽聞ヲ申モ、大略、我タメトオモハズ、ヤ、モスレバ、法文ノ一ヲモキ、オ

ホエテ、人ニウリゴ、ロアルトノ、仰コトニテ候。

一〇一心ニタノミ奉ル機ハ、如來ノヨクシロシメスナリ。彌陀ノタシロシタ

スヤウニ、心中ヲモツベシ。冥加ヲオンロシク存スヘキコトニテ候。トノ義ニ候。



一〇前住上人、仰ラレ候。前々住ヨリ御相續ノ義ハ、別義ナキナリ。タ、彌陀タノム一念ノ義ヨリホカハ、別義ナク候。コレヨリホカ御存知ナク候。イカヤウノ御誓言モアルヘキ由、仰ラレ候。

一〇同、仰ラレ候。凡夫往生、タ、タノム一念ニテ、佛ニナラスコトアラバ、イカナル御誓言ヲモ、仰ラルベキ證據ハ、南无阿彌陀佛ナリ。十方ノ諸佛ノ證人ニテ候。

一〇蓮如上人、仰ラレ候。物ライヘノト仰フレ候。物ライハヌ者ハ、オソロシキト仰ラレ候。信不信トモニ、タ、物ライヘド仰ラレ候。物ヲ申セバ、心底モキコエ、又人ニモナラサル、ナリ。タ、物ヲ申セト、仰ラレ候。一〇蓮如上人、仰ラレ候。佛法ハ、ツトメノフシハカセモシラデ、ヨクスルト思フナリ。ツトメノフシワロキヨシヲ仰フレ、慶園坊ライツモトリツメ、仰フレツル

由ニ候。ソレニ付テ、蓮如上人、仰ラレ候。一向ニワロキ人ハ、チガヒナト、

イフ事モナシ。タ、ワロキマテナリ。ワロシトモ仰コトモナキナリ。法義ヲモ心ニカケ

チトコ、ロエモアル上ノチガヒガ、コトノホカノ違ナリト、仰ラレ候。由ニ候。

一〇人ノエ、ロエノトラリ、申サレケルニ、ワガゴ、ロハ、タ、カゴニ水ヲ入候。ヤウニ、佛法ノ御座敷ニテハ、アリガタクモタウトクモ存候。ガ、ヤガテモトノ心

中ニナサレ候。ト、申サレ候。所ニ、前々住上人、仰ラレ候。ソノカゴヲ、水ニツケヨ。我身ヲハ法ニヒテ、ラクヘキヨシ、仰ラレ候。萬事信ナキニヨリテワロ

キナリ。善知識ノワロキト仰ラル、ハ、信ノナキコトラクセコト、仰ラレ候。事ニ

候。一〇聖教ヲ拜申スモ、ウカト、オガミ申スハ、ソノ詮ナシ。蓮如上人ハ、タ、聖教ヲハ、クレト仰ラレ候。又百遍コレヲミレハ、義理ヲノツカラウル



ト申ス事モアレバ、コ、ロヲトムメキコトナリ。聖教ハ、句面ノゴトクエ、ロウヘシ  
ソノ上ニテ、師傳口業ハアルベキナリ。私ニシテ、會釋スルコトシガルベカラザル  
事ナリ。

一〇前々住上人、仰ラレ候。他方信心、他方信心トミレバ、アヤマリナキ  
ヨシ、仰ラレ候。

一〇ワレバカリト思ヒ、獨覺心ナルコト、アサマシキコトナリ。信アラバ佛ノ御慈  
悲ラウケトリ申ス上ハ、ワレバカリト思フコトハ、アルマシク候。觸光柔輭ノ願  
候時ハ、心モヤハラグベキコトナリ。サレバ縁覺ハ獨覺ノサトリナルガ故ニ、佛ニ  
ナラザルナリ。

一〇一句一言モ申ス者ハ、ワレト思テ物ヲ申スナリ。信ノウヘハ、ワレハワロシ  
ト思ヒ、又報謝ト思ヒ、アリガタサノアマリヲ、人ニモ申スコトナルベシ。

一〇信モナクテ、人ニ信ヲトラレヨ〜ト申スハ、我ハ物ヲモタズシテ、人ニ物  
ヲトラスベキトイフ心ナリ。人、承引アルベカラズト、前住上人、願誓申サレシ

トテ、仰ラレ候。キ〇自信教人信ト候時ハ、マツワガ信心決定シテ、人ニモ  
教テ、佛恩ニナルトノコトニ候。自心ノ安心決定シテ教ルハ、則チ大悲傳普

化ノ道理ナル由、同ク仰ラレ候。

一〇蓮如上人、仰ラレ候。聖教ヨミノ聖教ヨマスアリ、聖教ヨマスノ聖教  
ヨミアリ。一文字モシラチドモ、人ニ聖教ヲヨマセ、聽聞サセテ、信ヲトラスルハ、

聖教ヨマスノ聖教ヨミナリ。聖教ヲハヨメトモ、眞實ニヨミモセス、法儀モナキハ、  
聖教ヨミノ聖教ヨマスナリト、仰ラレ候。

自信教人信ノ道理ナリト、仰ラレ候事。  
一〇聖教ヨミノ佛法ヲ申タテタルコトハナク候。尼入道ノタグヒノ、オウトヤ



アリガタヤト、申サレ候ヲキ、テハ、人ガ信ヲトルト、前々住上人仰ラレ候由ニ候。何モシラテドモ、佛ノ加備力ノ故ニ、尼入道ナドノヨロニバル、ヲキ、テハ、人モ信ヲトルナリ。聖教ヲヨメドモ、名聞ガサキニタチテ、心ニハ法ナキ故ニ、人ノ信用ナキナリ。

一〇 蓮如上人、仰ラレ候。當流ニハ、總別世間機ヲロシ。佛法ノウヘヨリ、何事モアヒハタラクベキコトナルヨシ、仰ラレ候ト云々

一〇 同仰ラレ候。世間ニテ、時宜シカルベキヨキ人ナリトイフトモ、信ナクバ、心ラクベキナリ。便ニモナラズ、タトヒ片目ツブレ、腰ヲ引候ヤウナル者ナリ

トモ、信心アラン人ヲバ、タノモシク思フベキナリト、仰ラレ候。由ニ候。一〇 君ヲ思フハ、ワレヲ思フナリ。善知識ノ仰ニ隨ヒ、信ヲトレバ、極樂へ參ル者ナリ。

一〇 久遠劫ヨリ久キ佛ハ、阿彌陀佛ナリ。カリニ果後ノ方便ニヨリテ、誓願ヲ諸タマフコトナリ。

一〇 前々住上人仰ラレ候。彌陀ヲタノメル人ハ、南无阿彌陀佛ニ身ヲハマルメタル事ナリト、仰ラレ候ト云。イヨク冥加ヲ存スベキノ由ニ候。

一〇 丹後法眼、蓮應、衣裳ト、ノヘラレ、前々住上人ノ御前ニ伺候サフラヒシ時、仰ラレ候。衣ノエリヲ御タ、キアリテ、南无阿彌陀佛ヨト仰ラレ候。

又前住上人ハ、御タ、ミラタ、カレ、南无阿彌陀佛ニモタレタルヨシ、仰ラレ候。南无阿彌陀佛ニ、身ヲハマルメタルト、仰ラレ候ト、符合申候。

一〇 前々住上人、仰ラレ候。佛法ノウヘニハ、毎事ニ付テ、空オソロシキ事ト存候ヘク候。タゞヨロツニ付テ、油斷アルマジキコト、存候ヘノ由、折々

ニ仰ラレシト云々、佛法ニハ明日ト申事アルマジク候。佛法ノ事ハ、イソゲ



ト仰ラレ候ナリ。

一〇同 仰ニ、今日ノ日ハ、アルマジキト思ヘト、仰ラレ候。何事モカキイソギテ、物ヲ御沙汰候由ニテ候。ナガクシタル事ヲ、御嫌ノ由ニ候。佛法ノウヘニテハ、明日ノコトヲ、今日スルヤウニイソギタルコト賞翫候。

一〇同 仰ニ云、聖人ノ御影ヲ申スハ、大事ノコトナリ。昔ハ、御本尊ヨリホカハ、御座ナキコトナリ。信ナクバ、必御罰ヲ蒙ルベキ由、仰ラレ候。

一〇時節到來ト云コト、用心ヲモシテ、ソノウヘニ事ノ出來候ヲ、時節到來ト云ヘシ。无用心ニテ、事ノ出來候ヲ、時節到來トハイハヌ事ナリ。聽開ラ心カケテノウヘノ、宿善无宿善トモ云事ナリ。タ、信心ハ、キクニキハマルコトナル由、仰ノ由ニ候。

一〇前々住上人、法敬ニ對シテ、仰ラレ候。マキタテトイフ物、知タルカト。

法敬、御返事ニ、マキタテト申スハ、一度タテラマキテ、手ヲサ、又物ニ候ト、申サレ候。仰ニ云、ソレソマキタテガワロキナリ。人ニオラサレマジキト思フ必ナリ

心中ラバ、申シ出シテ、人ニオラサレ候。ハテハ、心得ノオラルコトアルヘカラス。マキタテニテハ、信ラトルコトアルヘカラスト、仰ラレ候ト云々。

一〇何トモシテ、人ニオラサレ候。ヤウニ、心中ヲ持ヘシ。ワガ心中ラバ、同行ノ中ヘ、ウチ出シラクヘシ。下々タル人ノイフコトヲバ、用ヒスシテ、必ス腹立スルナリ、アサマシキコトナリ。タ、人ニオラサル、ヤウニ、心中ヲ持ヘキ儀ニ候。

一〇人ノ前々住上人へ申サレ候。一念ノ處決定ニテ候。ヤ、モスレバ、善知識ノ御コトヲ、ヲロソカニ存候由、申サレ候。ハ、仰ラレ候。ハ、最モ信ノウヘハ、崇仰ノ心アルベキナリ。サリナカテ、凡夫ノ心ニテハナキカ、加樣ノ心中ノオコラン時ハ、勿體ナキ事ト、オモヒスツベシト仰ラレシト云々。



一〇 蓮如上人、兼縁ニ對セラレ、仰ラレ候。タトヒ、木ノ皮ヲキルイロメナリトモ、ナワビソノタ、彌陀ヲタノム一念ヲ、ヨロコブベキ由、仰ラレ候。

一〇 前々住上人、仰ラレ候。上下老若ニヨラズ、後生ハ、油斷ニテシンソズベキノ由、仰ラレ候。

一〇 前々住上人、御口ノウチヲ御煩候。ニ、オリフシ御目ヲフサガレ、アト仰ラレ候。サダメテ御口中御煩ト、皆々存候。處ニ、ヤ、アリテ仰ラレ候。人ノ信ノナキコトヲ思召セバ、身ヲキリサクヤウニ、カナシキヨト仰ラレ候。

由ニ候。一〇 同 仰ニ、ワレハ人ノ機ヲカ、ミ、人ニシタガヒテ、佛法ヲ御聞セ候由、仰ラレ候。イカニモ、人ノスキタルコトナド、申サセラレ、ウレシヤト存候。處ニ、又佛法ノ事ヲ仰ラレ候。イヨク御方便ニテ、人ニ法ヲ御キカセ候。ツル由。

ニ候。一〇 前々住上人、仰ラレ候。人ノ佛法ヲ信シテ、ワレニヨロコバセント思ヘリ、ソレハワロシ。信ヲトレバ、自身ノ勝徳ナリ。サリナガラ、信ヲトラバ、恩ニモ御ウケアルベキト仰ラレ候。又キ、タクモナキ事ナリトモ、マコトニ信ヲトルベキナラバ、キコシメスヘキ由、仰ラレ候。

一〇 同、仰ニ、マコトニ一人ナリトモ、信ヲトルベキナラバ、身ヲ捨ヨ、ソレハヌタラヌト仰ラレ候。一〇 アルトキ、仰ラレ候。御門徒ノ、心得ヲナラヌトキコシメシテ、老ノ誠ヲノベ候ト仰ラレ候。

一〇 アル御門徒衆ニ御尋候。ソナタノ坊主、心得ノナラリタルヲ、ウレシク存スルカト、御尋候ヘバ、申サレ候。寔ニ心得ヲナラサレ、法義ヲ心ニカケ



ラレ候一段、アリガタクウレシク存候由、申サレ候。ソノトキ仰ラレ候。

一〇オカシキ事態ヲモサセラレ、佛法ニ退屈仕候者ノ、心ヲモクツロケ、ソノ氣ヲモウシナハシテ、又アタリシク法ヲ仰ラレ候。誠ニ善巧方便、アリガタキ事ナリ。

一〇天王寺土塔會、前々住上人、御覽候テ、仰ラレ候。アレホドノ多キ人トモ、地獄ヘオツメシト、不便ニ思召候ツル由、仰ラレ候。又ソノ中ニ御門徒ノ人ハ、佛ニナルベシト仰ラレ候。コレ又アリガタキ仰ニテ候。

一〇前々住上人、御法談已後、仰ラレ候。四五人ノ御兄弟ヘ、仰ラレ候。四五人ノ衆、寄合談合セヨ、必ス五人ハ五人ナガラ、意巧ニキク物ナリ。能ク談合スベキノ由、仰ラレ候。

一〇タトヒナキ事ナリトモ、人申候ハ、當座ニ領掌スベシ。當座ニ詞ヲ返セバ、フタ、ビイハザルナリ。人ノイフ事ヲバ、タツフカク用心スベキナリ。是ニ付テ、アル人、相タガヒニアシキ事ヲ申スベシト、契約候シ處ニ、則チ一人ノアシキサマナルコト、申シケレバ、我ハ左様ニ存セザレドモ、人ノ申ス間、左様ニ候ト申ス。サレバ此返答アシキトノ事ニ候。サナキコトナリトモ、當座ハサソト申マキ事ナリ。

一〇一宗ノ繁昌ト申スハ、人ノ多クアツマリ、威ノ大ナル事ニテハナク候。一人ナリトモ、人ノ信ヲ取カ、一宗ノ繁昌ニ候。然ハ、專修正行ノ繁昌ハ、遺弟ノ念力ヨリ成ストアソバサレフカレ候。

一〇前々住上人、仰ラレ候。聽聞心ニ入テ申サント思フ人ハアリ、信ヲトランスルト思フ人シサレバ、極樂ハ、タノシムト聞テ、參フント願ヒノゾム人ハ、



佛ニナラス。彌陀ヲタノム人ハ、佛ニナルト仰ラレ候。

一〇御文ハ、如來ノ直説ナリト存ズベキノ由ニ候。形ヲミレバ法然、詞ヲ聞

ハ彌陀ノ直説トイヘリ。

一〇蓮如上ノ人、病中ニ、慶聞ニ何ソ物ヲヨメト仰フレ候時、御文ヲヨ

ミ申スベキカト申サレ候。サラバヨミ申セト仰ラレ候。三通二度ツ、六遍ヨマ

セラレテ、仰ラレ候。ワガツクリタル物ナレドモ、殊勝ナルヨト仰ラレ候。

一〇願誓申サレシト云々。常ニハ、ワガ前ニテハ、イハズシテ、カゲニ後、言イフト

テ、腹立スルコトナリ。ワレハサヤウニハ存セス候。ワガ前ニテ、申ニク、ハ、カゲニ

テナリトモ、ワガウシロ事ヲ申サレヨ、聞テ心中ヲナラスベキヨシ申サレ候。

一〇前々住上人、仰ラレ候。佛法ノタメト思召候。ハ、ハ、ナニタル御辛

勞ラモ、御辛勞トハ思召レヌ由、仰ラレ候。御心マメニテ、何事モ御沙汰候

由ナリ。

一〇法ニハアラメナルガワロシ。世間ニハ、微細ナルトイヘドモ、佛法ニハ、微細

ニ心ヲモチコマカニ心ヲハコブベキヨシ、仰ラレ候。

一〇トラキハチカキ道理、チカキハ遠キ道理アリ、燈臺本クラントテ、佛法ヲ不

斷聽聞申ス身ハ、御用ヲアビミテ、イツモノコト、思ヒ、法義ニヲロソカナリ。遠

ク候。人ハ、佛法ヲキ、タク大切ニモトムル心アルナリ。佛法ハ大切ニモトルヨ

リキク者ナリ。

一〇ヒトツコトヲ聞テ、イツモメヅラシク、初タル様ニ、信ノウヘニハ有ルヘキナリ

タ。珍シキ事ヲ聽度思フナリ。一事ヲ幾度聽聞申ストモ、メヅラシク、ハジメタ

ルヤウニアルヘキナリ。

一〇道宗ハ、タ、一ツ御詞ヲ、イツモ聽聞申カ、初タルヤウニ難有由申サ



レ候。

一〇念佛申モ、人ノ名聞ゲニオモハレント思ヒテ、タシナムガ、大儀ナル由、或人申サレ候。ツチノ人ノ心中ニカハリ候事。

一〇同行 同侶ノ目ヲハヂテ、冥慮ヲオソレズ。タゞ冥見ヲオソロシク存スベキコトナリ。

一〇タトヒ 正義タリトモ、シゲカラシコトヲバ、停止スベキ由候。マシテ世間ノ儀、停止候ハヌコト、シカルヘカラス。彌増長スベキハ、信心ニテ候由ニ候。

一〇蓮如上人、仰ラレ候。佛法ニハ、マイラセ心ワロシ。是ヲシテ、御心ニ叶ハント思フ心ナリ。佛法ノウヘハ、何事モ報謝ト存スヘキナリト云々。  
一〇人ノ身ニハ、眼耳鼻舌身意ノ六賊アリテ、善心ヲ奪フ。コレハ諸行ノコ

トナリ。念佛ハシカラズ、佛智ノ心ヲウルユヘニ、貪瞋癡ノ煩惱ヲハ、佛ノ方ヨリ刹那ニケシタマフナリ。故ニ、貪瞋煩惱中、能生清淨願往生心トイヘリ。正信偈ニハ、譬如日光覆雲霧、雲霧之下明无闇トイヘリ。

一〇一句一言ヲ聽聞スルトモ、タゞ得手ニ法ヲキクナリ。タゞヨク聞キ、心中ノトナリ、同行ニアヒ談合スベキコトナリト云々。

一〇前々住上人、仰ラレ候。神ニモ馴テハ、手デスベキコトヲ、足デスルゾド仰ラレケリ。如來聖人善知識ニモ、ナレ申ホド、御コ、ロヤスク思ナリ。馴申ホド彌渴仰ノ心ヲフカクハコフベキ事ナル由、仰ラレ候。

一〇クチト身ノハタラキトハ、似スルモノナリ。心子ガ、ヨクナリガタキモノナリ、涯分、心ノ方ヲ嗜ミ申スベキコトナリト云々。

一〇衣裳等ニイタルマデ、ワガ物ト思ヒ、踏タ、クルコト、淺間敷事ナリ。悉



ク聖人ノ御用物ニテ候間、前々住上人ハ、メシ物ナド、御足ニアタリ候ヘ  
バ、御イタゞキ候由、ウケタマハリオヨヒ候。

一〇王法ハ額ニアテヨ、佛法ハ内心ニ深ク蓄ヘヨトノ仰ニ候。仁義ト云事  
モ、端正アルベキコトナルヨシニ候。

一〇蓮如上人、御若年ノ比、御迷惑ノコトニテ候シ。タ、御代ニテ、佛法  
ヲ仰タテラレント思召候。御念力一ツニテ、御繁昌候。御辛勞故ニ候。

一〇御病中ニ、蓮如上人仰ラレ候。御代ニ、佛法ヲ是非トモ御再興アラ  
ント、思召候御念力一ツニテ、カヤウニ今マデ皆々心ヤスクアルコトハ、此法師  
カ、冥加ニ叶フニヨリテノコトナリト、御自證アリト云々。

一〇前々住上人ハ、昔ハコフクメラメサレ候。白小袖トテ、御心ヤスク召シ  
候御事モ、御座ナク候由ニ候。イヨ／＼御カナシカリケル事トモ、折々御物語

候。今々ノ者ハ、左様ノ事ヲ承リ候テ、冥加ヲ存スヘキノ由、クレ／＼仰ラレ  
候。

一〇ヨロツ御迷惑ニテ、油ヲメサレ候ハンニモ、御用脚ナク候間、ヤウ／＼京  
ノ黒木ヲ、スコシツ、御トリ候テ、聖教ナド御覽サラフ由ニ候。又少々ハ、月  
ノ光ニテモ、聖教ヲアソバサレ候。御足ヲモ、大概、水ニテ御洗候。又二三日モ  
御膳マイリ候ハヌ御事モ候由、承リオヨヒ候。

一〇人ヲモ甲斐／＼シクメシツカハレ候ハデ、アル上ハ、幼童ノ襦袢ヲモ、御  
ヒトリ御洗候ナト、被レ仰候。

一〇存如上人、召仕ハレ候小者ヲ、御雇ヒ候テ、メシツカハレ候由ニ候。存  
如上人ハ、人ヲ五人メシツカハレ候。蓮如上人、御隠居ノ時モ、五人メシツカ  
ハレ候。當時ハ、御用トテ心ノマ、ナルコト、ソラオソロシク、身モイタク、カナシク



存スベキ事ニテ候。

一〇前々住上人仰ラレ候。昔ハ、佛前ニ伺候ノ人ハ、本ハ紙絹ニ幅ヲサシ着候。今ハ白小袖ニテ、結句キカヘヲ所持候。コレソノ比ハ、禁裏ニモ御迷惑ニテ、質ヲカレテ、御用ニサセラレ候ト、ヒキゴトニ御沙汰候。

一〇又仰ラレ候。御貧ク候テ、京ニテ、古キ綿ヲ御トリ候テ、御一人ヒロケ候事アリ。又御衣ハ、カタノ破タルヲメサレ候。白キ御小袖ハ、美濃絹ノワロキヲモトメ、ヤウ〜一ツメサレ候ヨシ、仰ラレ候。當時ハ、カヤウノ事ヲモシリ候ハデ、アルベキヤウニミナ〜存候ホドニ、冥加ニツキ申ヘシ一大事ナリ。

一〇同行善知識ニハ、能々チカヅクヘシ。親近セザルハ、雑修ノ失ナリト、禮讃ニアラハセリ。悪キ者ニ、チカヅケバ、ソレニハ馴ジト思ヘドモ、悪事ヨリ〜ニアリ。只佛法者ニハ、馴チカヅクベキヨシ、仰ラレ候。俗典ニ云ク、人ノ善惡ハ

チカヅキナラフ近習ニヨルト。又ソノ人ヲ知ントオモハ、ソノ友ヲミヨトイヘリ。善人ノ敵トハナルトモ、悪人ヲ友トスルコトナカレトイフ事アリ。

一〇キレハイヨ、〜カタク、仰ゲハイヨ、〜タカシトイフコトアリ。物ヲキリテミテカタキト知ルナリ。本願ヲ信シテ、殊勝ナルホドモシルナリ。信心オコリヌレバ、タウトクアリガタクヨロコビモ増長スルナリ。

一〇凡夫ノ身ニテ、後生タスカルコトハ、タ、易キトばかり思ヘリ。難中之難トアレハ、輒オコシカタキ信ナレドモ、佛智ヨリ易得成就シタマフ事ナリ。往生ホトノ一大事、凡夫ノハカラフベキニアラズトイヘリ。前住上人仰ニ、後生一大事ト存スル人ニハ、御同心アルベキヨシ、仰ラレ候ト云々。

一〇佛説ニ、信誘アルベキヨシ、トキヲキタマヘリ。信ズル者ばかりニテ、誘スル人ナクハ、トキヲキタマフコト、イカト思フベキニ、ハヤ誘スルモノアルウヘハ、信セ



ンニライテハ、カナラズワウ必往生決定トノ仰ニ候。

一〇同行ノマヘニテハ、ヨロコブモノナリ、コレ名聞ナリ。信ノウヘハ、ヒトイ一人居テヨロコブ法ナリ。

一〇佛法ニハ、世間ノヒマヲ闕テキクベシ。世間ノヒマヲアケテ、法ヲ聞ヘキヤウ

ニ思フ事、淺間敷コトナリ。佛法ニハ、明日ト云事ハ、アルマシキ由ノ仰ニ候。タ

トヒ大千世界ニ、ミテラン火ヲモスギユキテ、佛ノ御名ヲキクヒトハ、ナカク不退

ニカナフナリト、和讃ニアソハザレ候。

一〇法敬申サレ候ト云々。人ヨリ合ヒ、雜談アリシナカバニ、アル人、不圖座敷

ヲ立レ候。上人、イカニト仰ケレバ、一大事ノ急用アリトテ、タレケリ。ソノ後、

先日ハイヨニ不圖御立候ヤト問ケレバ、申サレ候。佛法ノ物語、約束申タル

間、アルモアラズシテ、マカリタチ候由、申サレ候。法義ニハ、カヤウニゾ心ヲカケ

候ヘキ事ナル由、申サレ候。

一〇佛法ヲアルジトシ、世間ヲ客人トセヨトイヘリ。佛法ノウヘヨリ、世間ノコ

トハ、時ニシタガヒ、相ヒハタラクヘキ事ナリト云云。

一〇前々住上人へ、南殿ニテ、存覺、御作分ノ聖教、チト不審ナル所ノ候ヲ

イカトテ、兼縁、前々住上人へ、御目ニカケラレ候ヘバ、仰ラレ候、名人ノセラ

レ候物ヲバ、ソノマ、ニテ置コトナリ、コレガ名譽ナリト仰ラレ候ナリ。

一〇前々住上人へ、アル人、申サレ候。開山ノ御時ノコト、申サレ候。コレハ

如何ヤウノ子細ニテ候ト、申サレケレハ、仰ラレ候。ワレモシラヌコトナリ。何事モ

ノ、シラヌコトヲモ、開山ノメサレ候ヤウニ、御沙汰候ト、仰ラレ候。

一〇總別、人ニハヲトルマシキト思フ心アリ、此心ニテ世間ニハ物モシナラフナ

リ、佛法ニハ无我ニテ候上ヘハ、人ニマケテ信フトルヘキナリ。理ヲマケテ情ヲオ



ルコソ、佛ノ御慈悲ナリト仰ラレ候。

一〇一心トハ、彌陀ヲタノメバ、如來ノ佛心ト、一ツニナシタマフカ故ニ、一心トイフナリ。

一〇或人申サレ候ト云。ソレハ井ノ水ヲノムモ、佛法ノ御用ナレバ、水ノ一口モ、如來上人ノ御用ト存候由、申サレ候云。

一〇蓮如上人、御病中ニ仰ラレ候。御自身、何事モ、思召立候コトノ、成行ホドノコトハアレドモ、ナラストイフコトナシ。人ノ信ナキコトバカリ、カナシク御

ナゲキハ、思召ノ由、仰ラレ候由ニ候。

一〇同仰ニ、何事ヲモ思召マ、ニ御沙汰アリ。聖人ノ御一流ヲモ、御再興候テ、本堂御影堂ヲモタテラレ、御住持ヲモ御相續アリテ、大坂殿ヲ御建立アリテ、御隠居候。然レバ、ワレハ功成名遂テ身退ハ天ノ道ナリトイフコト、

ソノ御身ノ上ナルヘキヨシ、仰ラレ候ト。

一〇同御病中ニ、度々仰ラレ候ト云々。慶聞ニ仰ラレ候。賊縛ノ比丘ノ王遊ニ草繫ヲ脱シ、乞食ノ沙門ハ鵝珠ヲ死後ニアラハスト云戒文ヲ、タヒク仰

ラレ候由ニ候。御滅後ニ不思議ヲアラハサルヘキノ仰ニ候。

一〇敵ノ陣ニ、火ヲトホスヲ、火ニテナキトハ思ハス、イカナル人ナリトモ、御コ

トバノトラリヲ申シ、御詞ヲヨミ申サバ、信仰シウケタマハルヘキコトナリト。

一〇蓮如上人、オリク仰ラレ候。佛法ノ義ヲハ、能々人ニトヘ。物ヲハ人ニ

ヨクトヒ申セノヨシ、仰ラレ候。誰ニトヒ申ヘキ由、ウカマヒ申ケレバ、佛法タニモ

アラハ、上下ライハズ、トフベシ、佛法ハシリサウモナキモノガ、シルゾト仰ラレ候ト云々。

一〇蓮如上人、无紋ノ物ヲキルコトヲ、御キラヒ候。殊勝サウニミユルトノ仰



二候。又スミノ黒キ衣ヲキ候ヲ御キラヒ候。墨ノクロキ衣ヲキテ、御前へ参レバ、仰ラレ候。衣紋タシキ殊勝ノ御僧ノ、御出候ト、仰ラレ候テ、イヤワレハ殊勝ニモナシ、タゞ彌陀ノ本願殊勝ナル由、仰ラレ候。

一〇大坂殿ニテ、紋ノアル御小袖ヲセラレ、御座ノ上ニ掛ラレテ、ヲカレ候由ニ候。

一〇御膳マイリ候トキニハ、御合掌アリテ、如來聖人ノ御用ニテ、衣食ヲヨト仰ラレ候。

一〇人ハアガリノ、テ、オチバラシラメナリ。タ、ツ、シミテ、不斷ソラオソロシキコト、毎事ニ付テ心ヲモツベキノ由、仰ラレ候。

一〇往生ハ、一人々々ノシノギナリ。一人々々ニ佛法ヲ信シテ、後生ヲタスカルコトナリ、餘所コトノヤウニ思フコトハ、且ハワカ身ヲシラヌ事ナリト、圓如仰

候ヒキ。

一〇大坂殿ニテ、或人、前々住上人ニ申サレ候。今朝、曉ヨリ、老タル者

ニテ候ガ、参ラレ候。神變ナルコトナル由、申サレ候へバ、ヤガテ仰ラレ候。信ダニアレバ、辛勞トハオモハヌナリ。信ノウヘハ、佛恩報謝ト存シ候へバ、苦勞トハ思ハヌナリト、仰ラレシト云々。老者ト申ハ、田上ノ了宗ナリト云々。

一〇南殿ニテ、人々ヨリ合ヒ、心中ヲ何かトアツカヒ、申所へ、前々住上人御出候テ、仰ラレ候。何事ライフゾ、タ、何事ノアツカヒモ思ヒステ、一心ニ彌

陀ヲウタガヒナクタノムバカリニテ、往生ハ佛ノカタヨリ定マシマスゾ。ソノ支證ハ南无阿彌陀佛ヨ。此ウヘハ、何事ヲカアツカフヘキソト仰ラレ候。若不審ナトヲ申ニモ、多事ヲタゞ御一言ニテ、ハラリト不審ハレ候ヒシト云々。

一〇前々住上人、オドロカス、カヒコンナケレ、村雀、耳ナレヌレバ、ナルコニ



ソナル。此歌ヲ御引アリテ、折々仰ラレ候。タ、人ハ、ミナ耳ナレ雀ナリト、仰ラレシト云々。

一〇心中ヲアラタメントマテハ、思フ人ハアレドモ、信ヲドラント思フ人ハ、ナキナリト仰フレ候。

一〇蓮如上人、仰ラレ候。方便ヲワロシトイフ事ハ、アルマジキナリ。方便ヲ以テ、眞實ヲアラハス廢立ノ義、能々シルベシ。彌陀、釋迦、善知識ノ、善巧方便ニヨリテ、眞實ノ信ヲバウルコトナル由、仰ラレ候ト云々。

一〇御文ハ、コレ凡夫往生ノ鏡ナリ。御文ノウヘニ、法門アルベキヤウニ思フ人アリ、大ナルアヤマリナリト云々。

一〇信ノウヘハ、佛恩ノ稱名、退轉アルマジキコトナリ。或ハ心ヨリ、タウトク、アリ難ク、存スルヲバ、佛恩ト思ヒ、タゞ念佛ノ申サレ候ヲハ、ソレホドニ思ハ

サルコト、大ナル誤ナリ。自念佛ノ申サレ候コソ、佛智ノ御モヨホシ、佛恩ノ稱名ナレト、仰事ニ候。

一〇蓮如上人、仰ラレ候。信ノウヘハ、タウトク思ヒテ申ス念佛モ、又フト申ス念佛モ、佛恩ニ備ナリ。他宗ニハ、親ノタメ、又何ノタメナンド、テ、念佛ヲツカフナリ。聖人ノ御一流ニハ、彌陀ヲタノムカ念佛ナリ。ソノウヘノ稱名ハ、ナニトモアレ、佛恩ニナルモノナリト仰ラレ候云々。

一〇或人云、前々住上人ノ御時、南殿トヤラシニテ、人蜂ヲ殺シ候ニ、思ヒヨラス念佛申サレ候。ソノ時、何ト思フテ、念佛ヲハ申タルト、仰ラレ候ヘハ、タカハイヤト存ジ、フト申候ト申サレケレバ、仰ラレ候ハ、信ノウヘハ、何トモアレ、念佛申ハ、報謝ノ義ト存スベシ。ミナ佛恩ニナルト仰ラレ候。

一〇南殿ニテ、前々住上人、ノウレンヲ打アケラレテ、御出候トテ、南无阿



彌陀佛ミダツブチト仰オホセラレ候マフテ、法敬ハツケウコノ心ココロシリタルカト仰オホセラレ候マフ。ナニトモ存ゾシゼズト申マフサレ候マフヘハ、仰オホセラレ候マフ、コレハワレハ御オンタスケ候マフ御オンウレシヤタウトヤト申マフ心ココロヨト仰オホセラレ候マフ云々。

一。違ヒトツラシ如上ニヨシヤウニ人ヒトへ、或アル人ヒト、安心アシンノトヲリ申マフサレ候マフ西國オクニノ人ヒトノ安心アシンノ一通ヒトトホリヲ申マフサレ候マフヘハ、仰オホセラレ候マフ。申候マフコトク心中シムチウニ候マフハ、ソレカ肝要カンユウト仰オホセラレ候マフ。

一。同ヒトツオナシク仰オホセラレ候マフ。當時トウジコトバニテハ、安心アシンノトヲリ、同オナシヤウニ申マフサレ候マフヒシ。然者シカレハ信治シンヂ定ヂヤウノ人ヒトニ紛マギレテ、往生ワウジヤウヲシソンスヘキコトヲ、カナシク思オホシメ召メシ候マフ由ヨシ、仰オホセラレ候マフ。

一。同ヒトツオナシク仰オホセニ云マフ、佛法ハツクワヲバ、サシヨセテイヘト仰オホセラレ候マフ。法敬ハツケウニ對タイシ、仰オホセラレ候マフ。信心シンシン安心アシントイヘハ、愚癡クチノモノハ、マダモシラヌナリ。信心シンシン安心アシンナドイヘハ別ヒナノ様ヤウニモ思オホセフナリ。タ、凡夫ボムフノ佛ブツニナルコトヲラシフヘシ。後生ゴシヤウタスケタマヘト、

彌陀ミダツヲタノメト云マフヘシ。何ナニタル愚癡クチノ衆生シユジヤウナリトモ、聞キテ信シンヲトルヘシ。當流トウリウニハコレヨリホカノ法門ハツモンハナキナリト、仰オホセラレ候マフ。安心アシン決定ヂヤウヂヤウ抄セウニ云マフ、淨土ジユウノ法門ハツモンハ第十八ダイジウハチノ願クワン能ヨク々クコ、ロウルノホカニハナキナリトイヘリ。然シカレハ、御文オホフミニハ、一心イツシン一向イツクワンニ佛ブツタスケタマヘト申マフサン衆生シユジヤウヲバ、タトヒ罪業ザイゴフハ深重シンヂヤウナリトモ、カナラズ彌陀ミダツ如來ニョライハスクヒマシマスベシ、コレスナハチ、第十八ダイジウハチノ念佛ニギフミ往生ワウジヤウノ誓願セイクワンノ意ココロナリト云マフヘリ。

一。信シンヲトラスニヨリテワロキソノタ、信シンヲトレト仰オホセラレ候マフ。善知識ゼンチシキノワロシト仰オホセラレケルハ、信シンノナキコトヲ、ワロキト仰オホセラル、ナリ。然者シカレハ前々ゼンゼン住上ヂュウシヤウ人ヒト、或アル人ヒトヲ言語ゴンゴ道斷ダウダンワロキト仰オホセラレ候マフトコロニ、ソノ人ヒト申マフサレ候マフ。何事ナニゴトモ御意キヨイノコトクト存ゾシ候マフト、申マフサレ候マフヘハ、仰オホセラレ候マフ、フツトワロキナリ、信シンノナキハワロクハナキカト仰オホセラレ候マフト云マフ。



一〇 蓮如上人仰ラレ候、何タル事ヲキコシメシテモ、御心ニハユメノ不  
 叶ナリ。一人ナリトモ、人ノ信ヲトリタルコトノキコシメシタキト、御ヒトリゴトニ仰  
 ラレ候。御一生ハ、人ニ信ヲトラセタク思召シ候由、仰ラレ候ト云々。  
 一〇 聖人ノ御流ハ、タノム一念ノ所 肝要ナリ。故ニ、タノムト云コトヲバ、代  
 々アソハシラカレサフラヘドモ、委ク何トタノメト云コトヲ、シラザリキ。然ハ、前々  
 住上人ノ御代ニ、御文ヲ御作り候テ、雜行ヲステ、後生ヲタスケタマヘト、一  
 心ニ彌陀ヲタノメト、アキラカニシラセラレ候。然ハ御再興ノ上人ニテマシマスモ  
 ノナリ。

一〇 ヨキコトヲシタルガ、ワロキゴトアリ。ワロキ事ヲシタルガ、ヨキ事アリ。ヨキ事  
 ラシテモ、ワレハ法義ニ付テ、ヨキ事ヲシタルト思ヒ、ワレト云事アレバ、ワロキナリ  
 アシキ事ヲシテモ、心中ヲヒルガヘシ、本願ニ歸スルハ、ワロキ事ヲシタルガ、ヨキ道

理ニナル由、仰ラレ候。シカレバ、蓮如上人ハ、マイラセ心ガ、ワロキト仰ラル、  
 ト云々。

一〇 前々住上人、仰ラレ候。思ヒヨラヌ者カ、分ニ過テ、物ヲ出シ候ハ、一  
 子細アルベキト思フヘシ。ワガゴ、ロ、ナラヒニ、人ニモノヲイタセバ、ウレシク思フ  
 ホトニ、何ゾ用ヲ云ヘキ時ハ、人ガサヤウニスルナリト、仰ラレ候。

一〇 行サキムカヒバカリミテ、足モトラミ子ハ、踏カブルヘキナリ。人ノ上バカリミ  
 テ、ワガミノウヘノコトヲタシナマスハ、一大事タルベキト仰ラレ候。

一〇 善知識ノ仰成トモ、成マシキナンド思フハ、大ナルアサマシキコトナリ。ナニ  
 タル事ナリトモ、仰ナラバ、ナルヘキト存スヘシ。此凡夫ノ身ガ、佛ニナルウヘハ、サ  
 テナルマシキト存ズルコトアルヘキカ。然レバ、道宗、近江ノ湖ヲ一人シテウメヨ  
 ト仰候トモ、畏リタルト申ヘク候。仰ニテ候ハ、ナラヌコトアルヘキカト被レ申



候。

一〇イタリテカタキハ、石ナリ、至テヤハラカナルハ、水ナリ。水ヨク石ヲウカツ。心源モシ徹シナバ、菩提ノ覺道、何事カ成セザラントイヘル古キ詞アリ。イカニ不信ナリトモ、聽聞ヲ心ニ入テ申サバ、御慈悲ニテ候間、信ヲウヘキナリ。只佛法ハ聽聞ニキハマルコトナリト云々。

一〇前々住上人、仰ラレ候。信決定ノ人ヲミテ、アノゴトクナラテハト思ヘバナルゾト、仰ラレ候。アノゴトクニナリテコソト、思ヒスツルコト、淺間敷事ナリ。佛法ニハ、身ヲステ、ノゾミ求ル心ヨリ、信ヲバツルコトナリト云々。

一〇人ノワロキ事ハ、能々ミユルナリ。ワカミノソロキ事ハ、オホエザルモノナリ。ワガミニシラレテ、ワロキコトアラバ、能々ワロケレバコソ、身ニシラレ候ト思ヒテ、心中ヲ改ムヘシ。タゞ人ノ云事ヲバ、ヨク信用スヘシ。ワカワロキ事ハ、オホエザル

モノナル由、被レ仰候。

一 世間ノ物語アル座敷ニテハ、結句、法義ノコトヲ云事モアリ。サヤウノ段ハ、人ナミタルヘシ。心ニハ油斷アルヘカラス。アルヒハ講演力、又ハ佛法讚嘆ナト云時、一向ニ物ライハサルコト、大ナル違ナリ。佛法讚嘆トアラン時ハ、イカニモ心中ヲノコサズ、アヒタガヒニ、信不信ノ儀、談合申ヘキコトナリト云々。

一 金森ノ善從ニ、或人申サレ候。此間サコソ徒然ニ御入候ヒツルラント申ケレバ、善從申サレ候。我身ハ、八十二アマルマデ、徒然ト云コトヲシラス。ソノ故ハ、彌陀ノ御恩ノ難有ホトラ存シ、和讃聖教等ヲ拜見申候ヘハ、心面白モ又タウトキコト充滿スルユヘニ、徒然ナルコトモ、更ニナク候ト申サレ候由ニ候。一 善從申サレ候トテ、前住上人、仰ラレ候。アル人、善ノ宿所へ行候處ニ、履ヲモ脱候ハヌニ、佛法ノコト申カケラレ候。又或人、申サレ候ハ、履ヲサヘ



ヌカレ候ハヌニ、イソギカヤウニハ何トテ仰候ソト、人申ケレバ、善申サレ候ハ、イ  
ヅルイキハ入ルヲマタヌ浮世ナリ。若履ヲヌカレヌマニ、死去候ハ、イカ、候ヘキ  
ト申サレ候。タ、佛法ノ事ヲハ、サシイソキ申ヘキノ由、仰ラレ候。

一〇前々住上人、善ノ事ヲ仰ラレ候。未タ野村殿御坊、ソノ沙汰モナキト  
キ、神无森ヲトマリ、國ヘ下向ノ時、輿ヨリオリラレ候テ、野村殿ノ方ヲサシテ、  
此トマリニテ、佛法ガヒラケ申ヘシト申サレ候シ。人々、是ハ年ヨリテ、カヤウノコ  
トヲ申サレ候ナド申ケレバ、終ニ御坊御建立ニテ、御繁昌候。不思議ノコト、  
仰ラレ候キ。又善ハ法然ノ化身ナリト、世上ニ人申ツルト、同仰ラレ候キ。  
カノ往生ハ八月二十五日ニテ候。

一〇前々住上人、東山ヲ御出候テ、何方ニ御座候トモ、人不存候シニ、此  
善アナタコナタ尋申サレケレバ、有所ニテ、御目ニカ、ラレ候。一段御迷惑ノ體

ニテ候ツル間、前々住上人ニモ、サダメテ善、カナシマレ申ヘキト思召レ候ヘバ  
善ホカト御目ニカ、ラレ、アラアリガタヤ、早佛法ハヒラケ申ヘキヨト申サレ候。終  
ニ此詞符合候。善ハ不思議ノ人ナリト、蓮如上人仰ラレ候シ由、上人仰  
ラレ候キ。

一〇前住上人、先年大永三、蓮如上人二十五年之三月始比、御夢  
御覽候。御堂上壇南ノ方ニ、前々住上人御座候テ、紫ノ御小袖ヲメサ  
レ候。前住上人ヘ對シマイラセラレ、仰ラレ候。佛法ハ讚嘆談合ニキハマル。能  
ク讚嘆スヘキ由、仰ラレ候。誠ニ夢想トモ云ベキコトナリト、仰ラレ候キ。然バ、  
ソノ年ゴトニ、讚嘆ヲ肝要ト仰ラレ候。ソレニ付テ、仰ラレ候ハ、佛法ハ一人居  
テ悦フ法ナリ、一人居テサヘタウトキニ、マシテ二人ヨリアハ、イカホドアリガタ  
カルベキ。佛法ヲバ、タ、ヨリ合ノ談合申セノ由、仰ラレ候ナリ。



一〇心中ヲ改メ候ハント申人、何ヲカマヅ改メ候ハント申サレ候。万ツワロキコトヲ改メテト、加様ニ仰ラレ候。イロヲタテ、キハラ立テ、申出テ改ムベキ事ナリト云々。ナニ、テモアレ、人ノナラサル、ヲキ、テ、ワレモナラルヘキト思フテ、ワガトガヲ申イダサスハ、ナヲラヌソト仰ラレ候ト云々。

一、佛法談合ノトキ、物ヲ申サヌハ、信ノナキユヘナリ。ワガ心ニタクミ案シテ、申スベキヤウニ思ヘリ。ヨソナル物ヲ、タヅ子イダスヤウナリ。心ニウレシキコトハ、ソノ儘ナルモノナリ。寒ナレバ寒、熱ナレバ熱ト、ソノマ、心ノ通リヲイフナリ。佛法ノ座敷ニテ、物ヲ申サヌコトハ、不信ノ故ナリ。又由斷トイフコトモ、信ノウヘノコトナルヘシ。細々同行ニヨリ合、讚嘆申サハ、由斷ハアルマシキノ由ニ候。

一〇前々住上人、仰ラレ候、一心決定ノウヘ、彌陀ノオンタスケアリタリトイフハ、サトリノオタニシテワロシ。タノム所ニテタスケタマヒ候事ハ、擧然ニ候ヘ

ドモ、御タスケアラウスト云テ、然ルヘキノ由、仰ラレ候云々。一念歸命ノ時、不退ノ位ニ住ス、コレ不退ノ密益ナリ、コレ涅槃分ナル由仰ラレ候ト云々。

一〇有人、瞻西上人ノ攝取不捨ノコトハリラシリタキト、雲居寺ノ阿彌陀ニ、祈誓アリケレハ、夢想ニ、阿彌陀ノ今ノ人ノ袖ヲトラヘタマフニ、ニゲ、レドモ、シカトトラヘテ、ハナシタマハズ、攝取ト云ハ、ニグル者ヲトラヘテ、ヲキタマフヤウナルコト、コ、ニテ思付タリ。是ヲ引言ニ仰ラレ候。

一〇前々住上人、御病中ニ、兼譽、兼縁、御前ニ伺候シテ、アル時、尋申サレ候、冥加ト云事ハ何トシタルコトニテ候ト、申セバ、仰フレ候、冥加ニ叶ト云ハ、彌陀ヲタノム事ナルヨシ、仰ラレ候ト云々。

一〇人ニ、佛法ノ事ヲ申テ、ヨロコバレバ、ワレハソノ悦フ人ヨリモ、ナヲタウトク思フベキナリ。佛智ヲツタヘ申スニヨリテ、カヤウニ存セラレ候事ト思ヒテ、佛智



ノ御方ヲ、有難ク存セラルヘシトノ儀ニ候。

一〇御文ヲヨミテ、人ニ聽聞サセントモ、報謝ト存スベシ。一句一言モ、信ノ上ヨリ申セバ、人ノ信用モアリ、又々報謝トモナルナリ。

一〇蓮如上人、仰ラレ候。彌陀ノ光明ハ、タトヘハ、スレタル物ヲホスニ、ウヘヨリヒテ、下マテヒルコトクナル事ナリ。是ハ日ノカラナリ。決定ノ心オコルハ、コレ則チ他力ノ御所作ナリ。罪障ハ、悉ク彌陀ノ御ケシアルコトナルヨシ、仰ラレ候ト云々。

一〇信心治定ノ人ハ、誰ニヨラズ、マツミレハスナハチタウトクナリ候。是ソノ人ノタウトキニアラス、佛智ヲエラル、ガエヘナレバ、イヨク佛智ノアリカタキホドラ存スベキコトナリト云々。

一〇蓮如上人、御病中ノ時、仰ラレ候。御自身何事モ、思召ノコサル、コト

ナシ。思召コトノ、ナラスコトハナキナリ。ソレニツキテ、御往生アルトモ、御身ハ思召ノコサル、事ナシ、但御兄弟ノ中、ソノホカ誰ニモ、信ノナキヲカナシク思召候

世間ニハ、ヨミチノサハリトイフコトアリ、我ニライテハ、往生ストモ、ソレナシ、タマ信ノナキ事、コレヲ歎キ思召候由、仰ラレ候キ。

一〇蓮如上人、アルヒハ人ニ御酒ヲモ下サレ、物ヲモ下ザレテ、カヤウノ事トモ、アリガタク存候テ、近ツクサセラレ候テ、佛法ヲ御キカセ候。サレバ、カヤウニ物ヲ下サレ候事モ、信ヲトラセラルヘキタメト思召セバ、報謝ト思召候由、仰ラレ候ト云々。

一〇同仰ニ云、心得タト思フハ、心得ヌナリ。心得ヌト、思フハコ、ロエタルナリ。彌陀ノ御タスケアルヘキコトノ、タウトサヨト思カ、心得タルナリ。少モ心得タルト思フコトハ、アルマジキコトナリト、仰ラレ候ト云々。サレハ、口傳鈔ニ云、サ



レバコノ機ノウヘニ、タモツトコロノ、彌陀ノ佛智ヲツノリトセンヨリホカハ、凡夫

イカデカ、往生ノ得分アルベキヤトイヘリ。

一〇加州菅生ノ願生坊主ノ、聖教ヲヨマレ候ヲキ、テ、聖教ハ殊勝ニ候

ヘトモ、信カ御入ナク候アヒダ、タウトクモ御入ナキト申サレ候。此コトヲ前々住

上人キコシメシ、菅生蓮智ヲメシノボセラレ、御前ニテ、不斷聖教ヲモヨマセラレ

法義ノコトヲモ仰キカセラレテ、願生ニ仰ラレ候。蓮智ニ聖教ヲモヨミナラハセ

佛法ノ事ヲモ仰キカセラレ候ヨシ、仰ラレ候テ、國へ御下シ候。ソノ後ハ、聖教

ヲヨマレ候ヘバ、今コソ殊勝ニ候ヘトテ、アリガタカラレ候由ニ候。

一〇蓮如上人、幼少ナル者ニハ、マツ物ヲヨメト仰ラレ候。又ソノ後ハ、イカ

ニヨムトモ、復セスハ、詮アルヘカラザル由、仰ラレ候。チト物ニユ、ロモツキ候ヘバ

イカニ物ヲヨミ、聲ヲヨクヨミシリタルトモ、義理ヲワキマヘテソト仰ラレ候。ソノ

後ハ、イカニ文釋ヲオボエタリトモ、信ガナクバ、イタヅラエトヨト仰ラレ候。

一〇心中ノトラリヲ、或人、法敬坊ニ申サレ候、御詞ノ如クハ、覺悟仕候

ヘトモ、タノ油斷不沙汰ニテ、アサマシキコトノミニ候ト、申サレ候。ソノ時、法敬

坊申サレ候、ソレハ御詞ノゴトクニテハナク候。勿體ナキ申サレ事ニ候。御詞ニ

ハ油斷不沙汰ナセソトコソ、アツバサレ候ヘト、申サレ候ト云々。

一〇法敬坊ニ、或人不審申サレ候。コレホド佛法ニ御心ヲモイレラレ候法敬

坊ノ、尼公ノ不信ナル、イカ、ノ義ニ候由人申候ヘバ、法敬坊申サレ候、不審

サルコトナレドモ、コレホド朝夕御文ヲヨミ候ニ、驚キ申サヌ心中ガ、ナニカ法敬

ガ申分ニテ、聞入候ベキト申サレ候ト云々。

一〇願誓申サレ候、佛法ノ物語申ニ、カゲニテ申候段ハ、ナニタルワロキ事ヲ

カ申ベキト存ジ、脇ヨリ汗タリ申候。前々住上人聞召所ニテ、申時ハ、ワロ



キ事ヲバ、ヤガテ御ナラジアルベキト存候アヒダ、心安ク存候テ、物ヲモ申サル由ニ候。

一〇信ノウヘニハ、サノミワロキ事ハ有マシク候。或ハ、人ノ云候ナド、テ、アシキ事ナドハ、アルマシク候。今度生死ノ結句ヲキリテ、安樂ニ生セント思ハシ人、イカントシデアシキサマナル事ヲスベキヤト仰ラレ候。

一〇信ヲバ得ズシテ、ヨロコビ候ハント思フコト、タトヘバ、糸ニテ物ヲヌラニ、アトソノマ、ニテヌヘハ、ヌケ候ヤウニ、悦候ハントモ、信ヲエヌハ、イダツラゴトナリ。ヨロコビ、タスケタマハシト、仰ラレ候コトニテモナク候。タノム衆生ヲ、タスケタマハントノ本願ニテ候。

一〇前々住上人、仰ラレ候。不審ト一向シラヌトハ、各別ナリ。知ヌコトヲモ不審ト申ス事、イハレナク候。物ヲ分別シテ、アレハナニト、コレハイカ、ナト、云ヤ

ウナルコトカ、不審ニテ候。子細モシラズシテ、申ス事ヲ、不審ト申マギラカシ候由、仰ラレ候。

一〇前々住上人、仰ラレ候キ。御本寺御坊ヲハ、聖人、御存生ノ時ノヤウニ、思召サレ候。御自身ハ、御留主ヲ常座御沙汰候。然トモ、佛恩ヲ御忘候事ハナク候。御齋ノ御法談ニ仰ラレ候キ。御齋ヲ御受用候間ニモ、少モ御ワスレ候コトハ、御入ナキト仰ラレ候キ。

一〇善如上人、綽如上人、兩御代ノ事、前住上人仰ラレ候コト、兩御代ハ、威儀ヲ本ニ御沙汰候シ由、仰ラレシ。然ハ、今ニ御影ニ御入候由、仰ラレ候。黄袈裟黄衣ニテ候。然ハ、前々住上人ノ御時、アマタ御流ニソムキ候本尊以下、御風呂ノタビゴトニ、ヤカセラレ候。此ニ幅ノ御影ヲモ、ヤカセラルベキニテ、御取リ出シ候ヒツルガ、イカバト思召候ヒツルヤラン。表紙ニカキツケテ、ヨ



シワロシトアソバサレテ、トリテヲカセラレ候。此事ヲ、今御思案候へバ、御代ノウ  
 チサへ、カヤウニ御チガヒ候、マシテイハンヤ、ソレヲ式ノ者ハ、違計タルベキ間、  
 大事ト存、ツ、シメヨトノ御事ニ候。今思召アハセラレ候由、仰ラレ候ナリ。又  
 ヨシワロシトアソバサレ候コト、ワロシトバカリアソバシ候へバ、先代ノ御事ニテ候  
 へハト思召、カヤウニアソバサレ候事ニ候シト仰ラレ候。又前々住上人ノ御時、  
 アマタ昵近ノカタク、チガヒ申事候。彌 一大事ノ佛法ノコトヲバ、心ヲト  
 メテ、細々人ニ問、心得申へキノ由、仰ラレ候キ。  
 一 佛法者ノ、少ノチガヒヲ見テハ、アノウヘサへ、カヤウニ候ト思ヒ、我身ヲフ  
 カク嗜ムベキコトナリ。然ルヲ、アノウヘサへ御チガヒ候。マシテ我等ハ、チガヒ候ハ  
 テハト思フ心、大キナルアサマシキコトナリト云々。  
 一 佛恩ヲ嗜ムト仰候事、世間ノ物ヲ嗜ムナド、イフヤウナルコトニテハナシ。

信ノウヘニ、タウトク難有存シ、ヨロコヒ申ス透間ニ、懈怠申ス時、カ、ル廣大  
 ノ御恩ヲワスレ申スコトノアサマシサヨト、佛智ニタチカヘリテ、難有ヤタウトヤト  
 思へバ、御モヨホシニヨリ、念佛ヲ申スナリ、嗜ムトハ、コレナル由ノ儀ニ候。  
 一 佛法ニ厭足ナケレバ、法ノ不思議ヲキクトイヘリ。前住上人、仰ラレ候。  
 タトへバ、世上ニワガスキコノムコトヲバ、シリテモ、猶能シリタウ思フニ、人ニ  
 トヒ、イクタビモ敷奇タル事ヲバ、聞テモ、能シリタク思フ。佛法ノ事ハ、イクタ  
 ビ聞テモ、アカヌ事ナリ。シリテモ、存タキ事ナリ。佛法ノ事ハ、イクタビモ、  
 人ニトヒキハメ申スベキ事ナル由、仰ラレ候。  
 一 世間へツカフ事ハ、佛ノ物ヲ徒ラニスルコトヨト、オソロシク思フベシ。サリ  
 ナガラ、佛法ノ方へハ、イカホド物ヲ入テモ、アカヌ道理ナリ。又報謝ニモナルベシ  
 ト云々。



一〇人ノ辛勞モセデ、徳ヲトル上品ハ、彌陀ヲタノミテ、佛ニナルニ、スギタルコトナシト、仰ラレ候ト云々。

一〇皆人毎ニ、ヨキコトヲ云ヒモシ、動モスルコトアレバ、眞俗トモニ、ソレヲワカヨキ者ニハヤナリテ、ソノ心ニテ、御恩トイフコトハ、ウチワスレテ、ワガ心本ニナルニヨリテ、冥加ニツキテ、世間佛法トモニ、悪キ心カ必ス〜出來スルナリ、  
一大事ナリト云々。

一〇堺ニテ、兼縁、前々住上人へ、御文ヲ御申候、ソノ時、仰ラレ候、年モヨリ候ニ、ムツカシキコトヲ申候、マツハワロキコトヲイフヨト仰ラレ候。後ニ仰ラレ候、佛法タニ信セバ、イカホドナリトモ、アソハシテ然ルベキ由、仰ラレシト云々。

一〇同 堺ノ御坊ニテ、前々住上人、夜更テ蠟燭ヲトモサセ、名號ヲアソハサレ候。ソノ時、仰ラレ候。御老體ニテ、御手モ振ヒ、御目モカスミ候ヘトモ、明

日越中へクタリ候ト申候ホトニ、カヤウニアソハサレ候。一日夜ノ事ニテ候間、御辛勞ヲカヘリミラレズ、アソハサレ候ト仰ラレ候。シカレバ、御門徒ノタメニ、御身ヲハステラレ候、人ニ辛勞ヲモサセ候ハテ、タ、信ヲトラセタクハ、召候由、被仰候。

一〇重寶ノ珍物ヲ調へ、經營ヲシテ、モテナセドモ、食セザレバ、ソノ詮ナシ。同行寄合讚嘆スレドモ、信フトル人ナケレバ、珍物ヲ食セザルト同事ナリト云々。

一〇物ニアクコトハアレドモ、佛ニ成コト、彌陀ノ御恩ヲ喜トハ、アキタル事ハナシ。焼トモ失モセヌ重寶ハ、南无阿彌陀佛ナリ。然ハ、彌陀ノ廣大ノ御慈悲、殊勝ナリ。信アル人ヲミルサヘタウトシ、能々ノ御慈悲ナリト云々。  
一〇信決定ノ人ハ、佛法ノ方ヘハ、身ヲカロクモツヘシ。佛法ノ御恩ヲハ、オモクウヤマフヘシト云々。



一〇蓮如上人、仰ラレ候。宿善メデタシト云ハワロシ。御一流ニハ、宿善有難ト申カ、ヨク候由、仰ラレ候。

一〇他宗ニハ、法ニアヒタルヲ宿縁トイフ。當流ニハ、信ヲトルコトヲ宿善ト云。信心ヲウルコト肝要ナリ。サレバ、コノ御ヲシヘニハ、群機ヲモラサヌヘニ、彌陀ノ教ヲバ、弘教トモ云也。

一〇法門ヲバ申ニハ、當流ノ心ロハ信心ノ一儀ヲ申立ラレタル肝要ナリト云々。

一〇前々住上人、仰ラレ候。佛法者ニハ、法ノ威力ニテナルナリ。威力テナクバ、ナルベカラズト、仰ラレ候。サレバ佛法ヲハ學匠物シリハ云ヒタテズ、タゞ一文不知ノ身モ、信アル人ハ、佛智ヲ加ヘラル、故ニ、佛力ニテ候間、人カ信ヲトルナリ。此故ニ、聖教ヨミトテ、シカモ我ハト思ハン人ノ、佛法ヲ云ヒタテタルコト

ナシト、仰ラレ候事ニ候。タゞナニシラテドモ、信心定得ノ人ハ、佛ヨリイハセラル間、人カ信ヲトルトノ仰ニ候云々。

一〇彌陀ヲタノメバ、南无阿彌陀佛ノ主ニナルナリ。南无阿彌陀佛ノ主ニ成ルトイフハ、信心ヲウルコトナリト云々。又當流ノ眞實ノ寶ト云ハ、南无阿彌陀佛、コレ一念ノ信心ナリト云々。

一〇一流眞宗ノ内ニテ、法ヲソシリ、ワロサマニイフ人アリ。是ヲ思フニ、他門他宗ノコトハ、是非ナシ。一宗ノ中ニ、カヤウノ人モアルニ、ワレラ宿善アリテ、コノ法ヲ信スル身ノ、ダウトサヨト思フヘシト云々。

一〇前々住上人ニハ、何タルモノヲモ、アハレミカハユク思召候。大罪人トテ、ナラ人ヲ殺候コト、一段御悲候。存命モアラバ、心中ヲナラスメシト、仰ラレ候テ、御勘氣候テモ、心中ヲダニモナリ候ヘバ、ヤガテ御宥免候ト云々。



一。安藝蓮宗、國ヲクツガヘシ、クセゴトニ付テ、御門徒ヲハナサレ候。前々住上人、御病中ニ、御寺内へ参リ、御詔言申候ヘドモ、トリツキ候人ナク候シ。ソノ折節、前々住上人、フト仰ラレ候。安藝ヲナラサウト思ヨト、仰ラレ候。御兄弟以下、御申ニハ、一度佛法ニアダラナシ申人ニテ候ヘバ、イカト御申候ヘバ、仰ラレ候、ソレゾトヨ、淺間敷事ヲイフゾトヨ、心中ダニナララバ、ナニタルモノ成トモ、御モラシナキコトニ候ト、仰ラレ候テ、御赦免候ヒキ。ソノ時、御前へ参リ、御曰ニカ、ラレ候トキ、感涙疊ニウカミ候ト云々。而シテ御中陰ノ中ニ、蓮宗モ寺内ニテスギラレ候。

一。奥州ニ、御一流ノコトヲ、申マギラカシ候人ヲキコシメシテ、前々住上人奥州ノ淨祐ヲ御覽候テ、以ノホカ、御腹立候テ、サテ、開山聖人ノ御流ヲ申ミダスコトノ、アサマシサヨ、ニクサヨト、仰ラレ候テ、御齒ヲクヒシメラレテ、サテ

切キザミテモアクカヨト仰ラレ候ト云々。佛法ヲ申ミダス者ヲハ、一段アサマシキゾト仰ラレ候ト云々。

一。思案ノ頂上ト申ベキハ、彌陀如來ノ、五劫思惟ノ本願ニスギタルコトハナシ。此御思案ノ道理ニ同心セバ、佛ニナルベシ。同心申トテ、別ニナシ、機法一體ノ道理ナリト云々。

一。蓮如上人、仰ラレ候。御身、一生涯、御沙汰候事、ミナ佛法ニテ、御方便御調法候テ、人ニ信ヲ御トラセアルベキ御コトハリニテ候由、仰ラレ候云々。

一。同御病中ニ、仰ラレ候。今ワガ云コトハ、金言ナリ。カマヘテ、ヨク意得ヨト、仰ラレ候。又御詠歌ノ事、三十一字ニツマクルコトニテコソアレ、是ハ法門ニテアルゾト仰ラレ候ト云々。

一。愚者三人ニ、智者一人トテ、何事モ談合スレバ、面白コトアルゾト、前々



住上人、前住上人へ御申候。是又佛法ノ方ニハ、イヨク肝要ノ御金言ナリト云々。

一〇 蓮如上人、願誓ニ對シ、仰ラレ候。法敬ト我トハ兄弟ヨト仰ラレ候。法敬、申サレ候是ハ冥加モナキ御事ト、申サレ候。蓮如上人仰ラレ候。信ヲエツレバ、サキニ生ル、者ハ兄、後ニ生ル、者ハ弟ヨ。法敬トハ兄弟ヨト仰ラレ候。佛恩ヲ一同ニウレバ、信心一致ノウヘハ、四海ミナ兄弟トイヘリ。

一〇 南殿山水ノ御縁ノ牀ノ上ニテ、蓮如上人仰ラレ候。物ノ思ヒタルヨリ大ニチガフト云ハ、極樂ヘマイリテノコトナルベシ。コ、ニデアリガダヤタウトヤト思フハ、物ノ數ニテモナキナリ。カノ士ヘ生レテノ歡喜ハ、コトノハモ有ベカラズト仰ラレシト。

一〇 人ハソラゴト申サジト嗜ムヲ、隨分トコソ思ヘ。心ニ偽リアラシト嗜人ハ

サノミ多クハナキ者ナリ。又ヨキ事ハナラヌマデモ、世間佛法トモニ、心ニカケ嗜タキ事ナリト云々。

一〇 前々住上人、仰ラレ候安心決定鈔ノコト、四十餘年カ間、御覽候ヘトモ、御覽シアカヌト仰ラレ候。又金ヲホリ出スヤウナル聖敎ナリト仰ラレ候。

一〇 大坂殿ニテ各ヘ對セラレ、仰ラレ候此間、申シコトハ、安心決定鈔ノカタハシヲ、仰ラレ候由ニ候。然ハ當流ノ義ハ、安心決定鈔ノ儀、吳々肝要ナリト仰ラレ候ト云々。

一〇 法敬申サレ候。タウトム人ヨリ、タウトガル人ゾタウトカリゲルト、前々住上人仰ラレ候。面白コトライフヨ、タウトム體、殊勝ブリスル人ハ、タウトクモナシ。タ、有難ヤト、タウトガル人コソ、タウトケレ。面白コトラ云ヨ、モトモノコトラ



申サレ候ト仰事ニ候ト云々。

一〇文龜三正月十五日ノ夜、兼縁、夢云、前々住上人、兼縁へ御問

アリテ、仰ラレ候ヤウ、イタツラニアル事、アサマシク思召候へバ、稽古カタクセ

メテ一卷ノ經ヲモ日ニ一度、皆皆寄合テヨミ申セト、仰ラレケリト云々。餘二人

ノムナシク月日ヲ送候コトヲ、悲シク思召候故ノ義ニ候。

一〇同夢云、同年ノ極月、二十八日ノ夜、前々住上人、御袈裟衣

ニテ、襖障子ヲアケラレ、御出候間、御汗談聽聞申へキ心ニテ候處ニ、ツイ

タチ障子ノヤウナル物ニ、御文ノ御詞御入候ヲヨミ申ラ御覽シテ、ソレハ何ソト

御尋候間、御文ニテ候由、申上候へバソレコソ肝要、信仰シテキケト仰ラレケ

リト云々。

一〇同夢云、翌年極月二十九日夜、前々住上人、仰ラレ候ヤウハ、

家ヲハ能作ラレテ、信心ヲヨクトリ、念佛申セキ由、カタク仰ラレ候ヒケリト云々

一〇同夢云、近年大永三正月一日ノ夜ノ夢云、野村殿南殿ニ

テ、前々住上人、仰云、佛法ノコト、色々仰ラレ候テ後、田舎ニハ雜行

雜修アルヲカタク申ツクヘシト仰ラレ候シト云々。

一〇同夢云、大永六正月五日夜、夢ニ前々住上人仰ラレ候、一

大事ニテ候、今ノ時分ガヨキ時ニテ候。コ、ヲトリハツシテハ、一大事ト仰ラレ

候。畏タリト御ウケ御申候へバ、タソノ畏タリト云ニテハナリ候マシク候

タ、一大事ニテ候由、仰ラレ候シト云々。次夜夢云、蓮誓仰候。吉崎、前々

住上人ニ、常流ノ肝要ノコトヲ習申候、一流ノ依用ナキ聖教ヤナントラ廣

クミテ、御流ヲヒガサマニトリナシ候コト候。幸ニ肝要ヲ拔候聖教候。是カ一

流ノ秘極ナリト、吉崎ニテ、前々住上人ニ、習ヒ申候ト、蓮誓仰ラレ候シト



云々。私云、夢等ヲシルスコト、前々住上人、世ヲ去タマヘバ、今ハソノ一言ヲモ、大切ニ存候ヘバ、カヤウニ夢ニ入テ仰セ候コトノ、金言ナルコト、マコトノ仰トモ存スルマ、コレヲシルス者ナリ。誠ニコレハ夢想トモ申ヘキ事トモニテ候。總別夢ハ妄想ナリ。サリナガラ、權者ノウヘニハ、瑞夢トテアル事ナリ。猶以テカヤウノ金言ノコトヲハ、シルスヘシト云々。

一〇佛恩ガタフトク候ナドト申ハ、聞ニク、候、聊爾ナリ。佛恩ヲ有難ク存ズト申セバ、莫大聞ヨク候由、仰ラレ候ト云々。御文カト申モ、聊爾ナリ。御文ヲ聽聞申テ、御文有難ト申テ、ヨキ由ニ候。佛法ノ方ヲハ、イカホドモ尊敬申ヘキ事ト云々。

一〇佛法ノ讚嘆ノトキ、同行ヲカタク、ト申ハ平外ナリ、御方々ト申テヨキ由仰コト、云々。

一〇前々住上人、仰ラレ候。家ヲツクリ候トモ、ツブリダニスレズバ、何トモカトモツクルベシ。萬事過分ナルコトヲ御キラヒ候。衣裳等ニイタルマデモ、ヨキモノキント思ハ、アサマシキ事ナリ、冥加ヲ存シ、タ、佛法ヲ心ニカケヨト仰ラレ候云々。

一〇同仰ラレ候。イカヤウノ人ニテ候トモ、佛法ノ家ニ奉公申候ハ、昨日マデハ他宗ニテ候トモ、今日ハ、ハヤ佛法ノ御用トコ、ロエヘク候。縦ヒアキナヒヲスルトモ、佛法ノ御用トコ、ロエヘキト仰ラレ候。

一〇同仰云、雨モフリ、又炎天ノ時分ハ、ツトメナガクシク仕候ハデ、ハヤク仕テ、人ヲタ、セ候ガヨク候由、仰ラレ候。コレモ御慈悲ニテ、人々ヲ御イタハリ候。大慈大悲ノ御アハレミニ候。常々ノ仰ニハ、御身ハ人ニ御シタカヒ候テ、佛法ヲ御ス、メ候ト仰ラレ候。御門徒ノ身ニテ、御意ノゴトクナラサルコト、中々アサマシキ事トモ、中々申モコトヲロカニ候トノ義ニ候。



一〇 將軍家義尚ヨリノ義ニテ、加州一國ノ一揆、御門徒ヲハラヒカルヘキトノ義ニテ、加州居住候御兄弟衆ヲモ、メシアゲラレ候。ソノトキ前々住上人仰ラレ候。加州ノ衆ヲ門徒放ヘキト仰出サレ候コト、御身ヲキラル、ヨリモカナシク思召候。何事ヲモシラザル尼入道ノ類ノコトマテ思召ハ、何トモ御迷惑此事ニ極ル由、仰ラレ候。御門徒ヲヤブラル、ト申コトハ、一段、善知識ノ御ウヘニテモカナシク思召候事ニ候。

一〇 蓮如上人、仰ラレ候。御門徒衆ノ、ハジメテ物ヲマイラセ候ヲ、他宗ニ出シ候義アシク候。一度モ二度モ受用セシメ候ヒテ、出シ候テ、然ルベキ之由、仰ラレ候。カクノゴトクノ子細ハ、存ジモヨラヌ事ニテ候。彌佛法ノ御用、御恩ヲヲロソカニ存スベキコトニテハナク候。驚キ入候トノ事ニ候。

一〇 法敬坊、大坂殿へ下ラレ候トコロニ、前々住上人、仰ラレ候。御往生

候トモ、十年ハイクヘシト仰ラレ候處ニ、ナニカト申サレケレドモ、オシカヘシイクメシト仰ラレ候處ニ、御往生アリテ、一年存命候處ニ、法敬ニ或人仰ラレ候。前々住上人仰ラレ候ハ、アヒ申タルヨ、ソノ故ハ、一年モ存命候ハ、命ヲ前々住上人ヨリ御アタヘ候事ニテ候ト仰候ヘバ、誠ニサニテ御入候トテ、手ヲアハセ、アリガタキ由ヲ、申サレ候。ソレヨリ後、前々住上人、仰ラレ候ゴトク、十年存命候。誠ニ冥加ニ叶ハレ候、不思議ナル人ニテ候。

一〇 毎事无用ナルコトヲ 仕候義、冥加ナキ由條々、イツモ仰ラレ候由ニ候。

一〇 蓮如上人、物ヲキコシメシ候ニモ、如來聖人ノ御恩ヲ御忘ナシト仰ラレ候。一ト口キコシメシテモ、思召出サレ候由、仰ラレ候ト云。

一〇 御膳ヲ御覽シテモ、人ノクハヌ飯ヲクウヘキコトヨト思召候由、仰ラレ候。



物ヲスグニキコシメスコトナシ、タゞ御恩ノタウトキコトヲノミ思召候ト仰ラレ候ト云云。

一〇 享祿二年十二月十八日ノ夜、兼縁、夢ニ、蓮如上人、御文ヲアソバシ下サレ候。ソノ御詞ニ、梅干ノタトヘ候。梅干ノコトヲイヘハ、ミナ人ノ口、一同

ニスシ、一味ノ安心ハカヤウニカハルマシキナリ。同一念佛无別道故ノ心ニテ、候ヒツルヤウニ、オホエ候ト云々。

一〇 佛法ヲスカザルガユヘニ、嗜ミ候ハズト、空善申サレ候ヘバ、蓮如上人、仰ラレ候。ソレハ、コノマヌハ、キラフニテハナキカト仰ラレ候ト云云。

一〇 不法ノ人ハ、佛法ヲ違例ニスルト、仰ラレ候。佛法ノ御讚嘆アレバ、アラキツマリヤ、トクハテヨカシト思フハ、違例ニスルニテハナキカト、仰ラレ候ト云云。

一〇 前住上人、御病中、正月二十四日ニ、仰ラレ候。前々住ノ早々ワ

レニコヒト左ノ御手ニニ御マ子キ候。アラアリガタヤト、クリカヘシ、仰ラレ候

テ、御念佛御申候ホドニ、各々御心タカヒ候テ、カヤウニモ仰候ト存候ヘハ、ソノ義ニテハナクシテ、御マドロミ候御夢ニ御覽セラレ候由、仰ラレ候、處ニテ、ミ

ナク安堵候ヒキコレ亦アラタナル御事ナリト云云。

一〇 同二十五日、兼縁兼縁ニ對セラレ、仰ラレ候。前々住上人、御世ヲ讓アソバサレテ以來ノコトトモ、種々仰ラレ候。御一身ノ御安心ノトヲリ、仰ラ

レ候。一念ニ彌陀ヲメノミ申テ、往生ハ一定ト思召サレ候、ソレニ付テ、前住上人ノ御恩ニテ、今日マテワレト思フ心ヲモチ候ハヌガ、ウレシク候ト仰ラレ候。

誠ニアリガタクモ、又ハ驚入申候。我人カヤソニ心得申テコソハ、他力ノ信心決定申タルニテハアルベク候。彌一大事ノ御コトニ候。

一〇 嘆徳ノ文ニ、親鸞聖人ト申セバ、ソノ恐アル故ニ、祖師聖人トヨミ候。



又開山聖人トヨミ申モ、オソレヲ存スル子細ニテ御入候ト云云。

一〇但聖人ト直ニ申セバ、聊爾ナリ。此聖人ト申モ、聊爾歟。開山トハ略シテハ申ヘキ歟トノ事ニ候。タ、開山聖人ト申シテヨク候ト云云。

一〇嘆徳ノ文ニ、以テ弘誓ニ託スト申スコトヲ、以テヲ拔テハヨマズ候ト云云。

一〇蓮如上人、堺ノ御坊ニ、御座ノ時、兼譽、御參候。御堂ニヲイテ、卓ノ上ニ、御文ヲヲカセラレテ、一人二人乃至五人十人、參ラレ候人々ニ對シテ、ヨ

マセラレ候。ソノ夜、蓮如上人、御物語ノ時、仰ラレ候。此間面白キ事ヲ思

出テ候、常ニ御文ヲ一人ナリトモ來ラン人ニモヨマセテキカセバ、有縁ノ人ハ信

ヲトルベシ。此間面白キ事ヲ思案シ出タルト、クレノノ仰ラレ候。サテ御文肝

要ノ御事ト彌シラレ候トノ事ニ候。

一〇今生ノ事ヲ心ニ入ルホト、佛法ヲ心ニ入タキ事ニテ候ト、人申候ヘバ、世

間ニ對様シテ申事ハ、大様ナリ。タ、佛法ヲフカクヨロコフベシト云云。又云、一

日ノ佛法ハタシナミテ候ヘシ。一期トオモヘバ、大儀ナリト、人申サレ候。

又云、大儀ナルト思フハ、不足ナリ。人トシテ命ハイカホドモナガク候テモ、アカ

ズ、ヨロコフベキ事ナリト云云。

一〇坊主ハ、人ヲサヘモ勸化セラレ候ニ、我身ヲ勸化セラレヌハ、アサマシキコ

トナリト云云。

一〇道宗、前々住上人へ、御文申サレ候ヘバ、仰ラレ候。文ハトリオトシ候

事モ候ホドニ、タゞ心ニ信ラダニモトリ候ヘバ、オトシ候ハヌヨシ、仰ラレ候シ。又

アクル年アソバサレテ、下サレ候。

一〇法敬坊、申サレ候。佛法ヲカタルニ、志ノ人ヲ前ニヲキテ語候ヘバ、力

ガアリテ申ヨキ由申サレ候。



一〇信モナクテ、大事ノ聖教ヲ所持ノ人ハオサナキ者ニ、ツルギヲモタセ候様ニ  
思召候。ソノ故ハ、劍ハ重寶ナレドモ、ヲサナキ者モチ候ヘバ、手ヲ切り怪我ヲス  
ルナリ。持テ能候人ハ、重寶ニナルナリト云。

一〇前々住上人、仰ラレ候。タゞイマナリトモ、我シ手トイハバ、シヌル者ハ有  
ヘク候。信ヲトル者ハ、アルマシキト仰ラレ候ト云。

一〇前々住上人、大坂殿ニテ、各々ニ對セラレテ、仰ラレ候。一念ニ凡夫ノ  
往生ヲトグルコトハ、祕事祕傳ニテハナキカト仰ラレ候ト云。

一〇御普請御造作ノ時、法敬、申サレ候。ナニモ不思議ニ、御詵望等モ御  
上手ニ御座候由、申サレ候ヘバ、前々住上人、仰ラレ候。ワレハ猶不思議ナ  
ル事ヲ知ル、凡夫ノ佛ニ成リ候コトヲシリタルト仰ラレ候ト。

一〇運如上人、善從ニ御カケ字ヲアソバサレテ、下サレ候。ソノ後善ニ、御尋

候、己前書ツカハシ候物ヲハ、ナニトシタルト仰ラレ候。善申サレ候。表補繪仕

リ候テ、箱ニ入レ置申候由、申サレ候。ソノ時、仰ラレ候。ソレハワケモナキコトヲ  
シタルヨ、不斷カケテラキテ、ソノコトグ心ヲナセヨト、云コトニテコソアレト仰ラ

レシト。

一〇同、仰ニ云、コレノ内ニ居テ聽聞申ス身ハ、トリハツシタラバ佛ニナラフ

ヨト仰ラレ候ト云。有難仰ニ候。

一〇同、仰云、坊主衆等ニ對セラレ、仰ラレ候。坊主ト云者ハ、大罪人

ナリト仰ラレ候。ソノ時、ミナノ迷惑申サレ候。サテ仰ラレ候。罪カフカケレバ

モシ、阿彌陀如來ハ御タスケアレト仰ラレ候ト云。

一〇毎日ニ御文ノ御金言ヲ聽聞サセラレ候コトハ、寶ヲ御賜リ候コト  
ニ候ト云。



一〇開山聖人ノ御代、高田ノ二代顯智上洛ノ時、申サレ候。今度ハ、既ニ御目ニカ、ルマジキト存候處ニ、不思議ニ御目ニカ、リ候ト、申サレ候ヘバ、ソレハイカニト仰ッレ候、舟路ニ難風ニアヒ、迷惑仕候由申サレ候。聖人仰ラレ候、ソレナラバ、船ニハノラルマジキモノヲト、仰ラレ候。ソノ後、御詞ノ末ニテ候トテ、一期舟ニノラレス候。又茸ニ醉申サレ、御目ニ遅クカ、ラレ候シ時モ、カクノゴトク仰ラレシトテ、一期受用ナク候シト云云。カヤウニ仰ヲ、信シチガヘ申スマシキト存セラレ候事、誠ニアリガタキ殊勝ノ覺悟トノ義ニ候。

一〇身アタ、カナレバ、子ブリキサシ候。アサマシキコトナリ。ソノ覺悟ニテ、身ヲモス、シクモチ、眠ヲサマスベキナリ、身隨意アレバ、佛法世法トモニ、ヲコタリ、无沙汰由斷アリ。此義一大事ナリト云云。

一〇信ヲエタラバ、同行ニ、アラク物モ申マジキナリ、心和クヘキナリ、觸光

柔輦ノ願アリ。又信ナケレバ、我ニナリテ、詞モアラク、靜ヒモ必ズ出來スルナリ。アサマシク、能々コ、ロウベシト云云。

一〇前々住上人、北國ニサル御門徒ノ事ヲ仰ラレ候。何トシテ久ク上洛ナキゾト仰ラレ候。御前ノ人、申サレ候。サル御方ノ御折檻候ト、申サレ候。ソノ時、御機嫌以外惡ク候テ、仰ラレ候。開山聖人ノ御門徒ヲ、サヤウニイフ者ハアルベカラズ。御身一人、聊爾ニハ思召サヌモノヲ、ナニタルモノカイフベキゾト、トクトクノボレドイヘト仰ラレ候ト云云。

一〇前々住上人仰ラレ候。御門徒衆ヲアシク申事、ユメクアルマジキナリ。開山ノ御同行御同朋ト御カシツキ候ニ、聊爾ニ存スルハクセコトノ由、仰ラレ候。

一〇開山聖人ノ、一大事ノ御客人ト申スハ、御門徒衆ノコトナリト仰ラレシ



ト云々。

一〇御門徒衆、上洛候へハ、前々住上人、仰ラレ候。寒天ニハ、御酒等ノ  
 カンヲヨクサセラレデ、路次ノサムサラモ忘ラレ候様ニト、仰ラレ候。又炎天ノ時  
 ハ、酒ナドヒヤセト仰ラレ候。御詞ヲ和ラレ候。又御門徒ノ上洛候ヲ、遅ク申  
 入候事、クセゴト、仰ラレ候。御門徒衆ヲマタセ、オソク對面スルコト、クセゴト  
 ノ由仰ラレ候ト云々。

一〇萬事ニ付テ、ヨキ事ヲ思ヒ付ルハ、御恩ナリ。惡事ダニ、思ヒ付タルハ御  
 恩ナリ。捨ルモ、取ルモ、何レモ御恩ナリト云々。

一〇前々住上人ハ、御門徒ノ進上ノ物ヲバ、御衣ノ下ニテ、御オガミ候。又  
 佛物ト思召候へバ、御自身ノメシ物マテモ、御足ニアタリ候へバ、御イタ、キ候。  
 御門徒ノ進上ノ物、則チ聖人ヨリノ御アタヘト、思召候ト仰ラレ候シト云々。

一〇佛法ニハ、萬事カナシキニモ、カナハヌニツケテモ、何事ニ付テモ、後生ノタ  
 スカルヘキコトヲ思ヘヨ。ヨロコビ多キハ佛恩ナリト云々。

一〇佛法者ニナレ近付テ、損ハ一ツモナシ。何タルオカシキコト、狂言ニモ、是  
 非トモ心底ニハ佛法アルベシト思フホドニ、ワガカタニ徳多ナリト云々。

一〇運如上人、大權化ノ再誕トイフコト、ソノ證多シ。前ニコレヲシルセリ。  
 御詠歌ニ、カタミニハ、六字ノ御名ヲノコシラク、ナカラン世ニハタレモモチキヨト

候。彌陀ノ化身トシラレ候事、歴然ト云々。  
 一〇運如上人、細々、御兄弟衆等ニ、御足ヲ御ミセ候。御ワラヂノ緒、クヒ

入キラリト御入候。カヤウニ京田舎、御自身ハ御辛勞候テ、佛法ヲ仰セラカレ  
 候由、仰ラレ候シト云々。

一〇同仰ニ云、惡人ノマテラスベキヨリ、信心決定ノ人ノ、マテラセヨト、



仰ラレ候云々。

一〇 蓮如上人、御病中、大坂殿ヨリ御上洛ノ時、明應八二月十八日、サ  
ンハノ淨賢、處ニテ前住上人へ對シ御申ナサレ候。御一流ノ肝要ヲハ、御文  
ニ委クアツバシト、メラレ候間、今ハ申マギラカス者モアルマシク候。此分ヲヨク  
御心得アリテ、御門徒中へモ、仰ツケラレ候へト、御遺言ノ由ニ候。然ハ  
前住上人ノ御安心モ、御文ノゴトク、又諸國ノ御門徒モ御文ノゴトク、信ヲエ  
ラレヨトノ支證ノタメニ、御判ヲナサレ候事ト云々。  
一〇 存覺ハ、大勢至ノ化身ナリト云々、然ニ、六要抄ニハ、アルヒハ三心ノ字  
訓、ソノホカ勘得セズトアツバシ、聖人ノ宏才仰へシト候。權化ニテ候へドモ、聖  
人ノ御作分ヲ、ガクノゴトクアツバシ候。誠ニ聖意ハカリガタキム子ヲアラハシ、自  
カラステ、他力ヲ仰ク御本意ニモ叶ヒ申候物ヲヤ。カヤウノコトガ明譽ニテ御

入候ト云々。

一〇 註ヲ御アラハシ候事、御自身ノ智解ヲ御アラハシ候ハンガタメニテハナク  
候。御コトバヲ褒美ノタメ、仰崇ノタメニテ候ト云々。  
一〇 存覺、御辭世ノ御詠ニ云、今ハハヤ、一夜ノ夢トナリニケリ、ユキ、アマタ  
ノカリノヤト。此言ヲ、蓮如上人、仰ラレ候ト云々。サテハ釋迦ノ化身ナリ  
往來娑婆ノ心ナリト云々。我身ニカケテ、コ、ロエバ、六道輪廻メグリノテ、今  
臨終ノ夕ヘサトリヲヒラクベシトイフ心ナリト云々。  
一〇 陽氣陰氣トテアリ。サレバ、陽氣ヲウクル花ハ、ハヤクヒラクナリ。陰氣トテ  
日陰ノ花ハ、オソクサクナリ。カヤウニ、宿善モ遲速アリ。サレバ巳今當ノ往生ア  
リ。彌陀ノ光明ニアヒテ、ハヤクヒラクル人モアリ、遅クヒラクル人モアリ。鬼ニ  
角ニ、信不信トモニ、佛法ヲ心ニ入テ、聽聞申ベキナリト云々。巳今當ノ事、前



々住上人ヒト仰オホセラレ候ト云々。キノフアラハス人モアリ。ケフアラハス人モアリ。アスアラハス人モアリト、仰オホセラレシト云々。

一〇蓮如上人、御廊下ヲ御トヲリ候テ、紙切ノオチテ候ヒツルヲ、御覽ゼラレ、佛法領ノ物ヲ、アダニスルカヤト、仰オホセラレ、兩ノ御手ニテ、御イタ、キ候ト云々。

總シテ、カミノキレナンドノヤウナル物ヲモ、佛物ト思召御用ヒ候ヘハ、アダニ御沙汰ナク候シノ由、前住上人御物語候ヒキ。

一〇蓮如上人、近年仰オホセラレ候コトニ候。御病中ニ仰オホセラレ候事、何ゴトモ金言ナリ、心ヲトメテキクヘシト仰オホセラレ候ト云々。

一〇御病中ニ、慶聞ヲメシテ、仰オホセラレ候。御身ニハ、不思議ナルコトアルヲ、氣ヲトリナラシテ仰オホセラルベキト、仰オホセラレ候ト云々。

一〇蓮如上人、仰オホセラレ候。世間佛法トモニ、人ハカロートシタルガ、ヨキト

仰オホセラレ候。默シタルモノヲ、御キラヒ候。物ヲ申サヌガ、ワロキト仰オホセラレ候。又微音ニ物ヲ申ヲ、ワロシト仰オホセラレ候ト云々。

一〇同仰ニ云ク、佛法ト世體トハ、タシナミニヨルト對句ニ仰オホセラレ候。又法門ト庭ノ松トハ、イフニアガルト、コレモ對句ニ仰オホセラレ候ト云々。

一〇兼縁、堺ニテ、蓮如上人御存生ノ時、背摺布ヲ買待アリケレバ、蓮如上人、仰オホセラレ候、カヤウノ物ハ、我方ニモアルモノヲ、无用ノカヒコトヨト仰オホセラレ候。兼縁、自物ニテトリ申タルト答申候處ニ、仰オホセラレ候、ソレハ我物カト仰オホセラレ候、コトハク佛物、如來聖人ノ御用ニ、モル、コトハアルマジク候。

一〇蓮如上人、兼縁へ物ヲ下サレ候ヲ、冥加ナキト御固辭サフラヒケレバ、仰オホセラレ候。ツカハサレ候物ヲバ、タ、取テ信ヲヨクトレ。信ナクバ冥加ナキトテ、佛ノ物ヲ受ヌヤウナレドモ、ソレハ曲モノナキコトナリ。我スルトオモフカトヨ。ミナ御



用ナリ。何事カ御用ニモル、コトヤ候ヘキト、仰ラレ候ト云々。

右合三百十六箇條也

實如御列

### 蓮如上人御一代記聞書終

本云  
天正十三年四月十九日書寫之者也

### 實悟記

古東山殿野村殿ニテノ事、或承及、見及申事  
等、思出次第、不同註置條々目錄

- 一〇御堂衆之事ハハラリウ 一〇綽如上人御時、御戸役之事シヤクニヨシヤウニンノオントキ 一〇聲明ハ小
- 一〇念珠クルベキ事チムジユ 一〇堂衆心得行儀事タクシユコヤロエギヤウ 一〇佛前ノ花
- 一〇座ニ付ヘキ様事内陣ザツク 一〇佛ヲオガム事ハチ 一〇早オガミハタシタ
- 一〇見苦シキ事ミクラン 一〇チムラスシテ勤ノ助音スベキ事チムラスシテチン 一〇焼香ニワロキ沈シヤウウウ
- 一〇ヤライノ事ヤライ 一〇阿彌陀堂御影堂參錢事アマイトドウミカドウサマゼン 一〇
- 一〇皮タビハク事カワ 一〇シタウツ、ハカセラルベキ事シタウツ



一。番屏掟條々事、並 鐘敷事 一。寺々 開山日、末寺 各齋以下有之事 一。蓮如上人御建立ノ寺ノ事 一。客人モテナシ遊山時事 一。他所へ御出時モ道中ハ精進事 一。客人ニ精進ノ儀破候事 一。同精進タルベキ日ノ事 一。精進日、町中モ魚物不通事 一。前住御正忌日 忌時 之時前日 夕 御精進事 一。一家衆有所へヤ事 一。教行 信 證請候事條々有之事也 一。霜月二十八日ニ明日之御精進ホドキ進上事 一。唐帽子御カゲ候事 一。末々一家衆袴着セラレ候事 一。古東山御坊チイサク候事 一。蓮如上人御時、佛法ノ一儀斗常被レ仰殊 冥加儀、堅被レ仰事 一。武者小路殿、御上ニテ人スタナニ、小殿原ハ只二人事 一。同 御ウヘニテ御相伴時事 一。一家衆息女物ヨマレ候事、下間衆若 時經 論等、常ヨマレタル事 一。人志 被レ申

點心斗被申事 一。代々御前燈明事 一。二月十五日ニ御松離事、他宗ニ難シ申事 一。正月二十五日事 蓮如御時ハ毎月御齋アリト申人有之 一。二十五日御齋前ニ蓮如上人ハ名 號三百 幅遊サレタル事 一。二月十五日事 一。佛前疊マハリ敷ノ所事 一。東山野村殿御亭々、ミニ上壇ヲ下ラル、子細事 一。御ウヘニテ、一家衆、女房衆、相伴時事 一。二十五日朝、知恩講式、實如上人アソバシ候ハヌ事 一。代々御影二幅ニカ、セラレ候事、證如ノ御往生ノ比御時ヨリ也 祐誓御申アリタル事也 一。内陣マハリ敷、中比、聖人ノキハニ一通シカレ、下輩衆ツカレ候ハ、カイサマナル由、人々被申事 一。代々御影二幅ニナリ候事 一。代々御命日勤事 一。二十五日勤ノ事 一。帷子七月 七日、五月五日、各へ實女上人御時ハ被下事 一。御本寺御指合時、勤ノ調聲人事 一。同



勤ツトメゼ、ノ事 一。毎月二十五日ノ私記事 一。二十二日勤儀被仰事  
 一。二十七日勤事 一。野村殿南殿持佛堂、念佛行道堂ノ御建立アリ  
 度候由、仰ノ御物語事 一。同持佛堂勤事 一。蓮如上人ヨ  
 リ代々御年忌亭ニテ勤事 一。昔ノ報恩講様體事 一。報恩講中ノ  
 間事 一。勤之儀、蓮如ノ仰、實如上ノ御物語事ニテ條 一。毎  
 朝勤終百返念佛事 一。歸命二字ノ申様ノ事 一。本堂漢音經  
 事、同百返念佛事 一。御影堂短百返念佛事 一。古へハ、一家  
 衆、讚ラ不出、衆勤イヅレモ助音候キ、當時ハ一向無音也 一。私記ノヨ  
 ミ様ノ事 一。日没ノ時分ノ八時ニ成タル事 一。速夜ノ時分ノ、普請  
 アガリノ鐘、ヲソクツカセラレントテ、太夜ノ早ク成事 一。代々ノ御命日朝  
 勤ノ事 一。勤ノ調子タカ、ラヌ事 一。唐帽子ノカケ様事 一。勤ノ

讚ノ出様仰事 一。正月七日御鏡卓トラル、事 一。代々ノ御前  
 ノ燈明ノ事 一。死人ノ遺物ノ小袖等打敷ニ俄ニサセラレタル事蓮如上人ノ  
 時也 一。賀州三ヶ寺内者、蓮如御佛事ニハ、被ニ召出ニ配膳申事 一。  
 如秀禪尼本泉寺蓮如宗蓮綱女 如宗松岡寺蓮如宗蓮綱女 往生時實如上人ヨリ 弔ニ御  
 堂衆御下、御香典有タル事 一。賀州三ヶ寺依ニ御免ニ誰人ニモ、法名出  
 申事、并依レ仰拙者出申事 一。末々若衆、一家衆、實名ヲ可レ出之  
 由、依レ仰拙者出申事 一。齋非時ニ膳ラクム事 一。野村殿ニテ、時  
 兩所ニ打事 一。實如御時、布施ヲ御前ニテヒカセラル、ニ、如何ト被レ思  
 食事ヒカセラレズ、主々ノ宿ヘヒカセラレタル事アリ、近年ハ又御前ニテ有事  
 一。野村殿、御亭ノ前ノ持佛堂タテラル、事 一。聖教外題御免事 一。  
 教行信證御免時之事 一。聖人御戸タテツメラレ候事 一。勤行

眞悟記

五



ノ時、扇ツカハレヌ事、齋之時ツカヒ候事 一。霜月上洛衆へ白小袖被

下候シ事 一。上洛一家、御上御亭ニテ供御被下候ツル事實如御代 一。

御堂邊ニテ、老少聖教ヨミ申タル事 一。御堂衆、燈明以下、役ニテ跡ヘカ

ヘラレ候事 一。日没、短念佛上ラレ候事 一。私記ヨミ歸候時ノ事

一。衣ノ色クロキ事 一。遠國人被遣肴等事 一。御本寺之御住持

ヲバアガムル事コレハ不可書申歟也 一。御堂ノ打置ヲバノケラレ、卓斗ヲカ

セラレタル事 一。御簾ノカケ様ニマルノ事 一。實如ノ御時、本尊名號

ノ事 一。座上ニラカル、人々ノ事 一。法儀心ニ入タル人ヲ袴御免ノ

事 一。一家衆、袴之儀、筑前被申事 一。一家衆ノ梳ノ事 一。六

要抄ノ事 一。浄土具書ヨミ可申由、クハダテ候へ共、師匠ナク斷絶事

一。六要抄ハ、ヨミ申マキ事モ 伺申、本ヲ可ニ仕立一事モ、實如上人へ申入

候事 一。ウツボ字ノ名號事 一。萬ノ外題事 一。田舎ヨリ上洛

衆御相伴事 一。御相伴サセラル禪衣衆ノ事 一。代々ノ御命日之時

ノ勤座事 一。勤ノ後、南ノ座敷アル時ノ事 一。蓮如御代、御内衆、

家ヲ被レ建候ニ、物被下タル事 一。蓮如御時、一家衆被レ申儀、伺ソ物ヲ

被下タル事 一。同實如御代御心ハセノ事 一。實如上人御時、過

分ニ物ヲ進上候へハ、ナニ物トゾ必被レ遣事 一。上洛年頭、一家衆、

御禮等被レ定事 一。徳度一家衆御禮等事 一。外人殊公シニテ十五日

日御相伴御精進事 一。慈鎮和尚御壽像事 一。遠國人上洛儀

堅兩御代仰事 一。遠國俗人等同御調事 一。勤ハテ時分ノ事

一。二十七日ノ掃除之時、下間衆モ被レ出候ヒシ事 一。實如御時、御堂

衆へ可有二讚嘆ニ様、御文ヨムベキ様、被レ仰出候事 一。鐘ノ前ニ、本堂

實備記

七



ノ時、扇ツカハレヌ事、齋之時ツカヒ候事 一。霜月上洛衆へ白小袖被下候シ事 一。上洛一家、御上御亭ニテ供御被下候ツル事實如御代 一。御堂邊ニテ、老少聖教ヨミ申タル事 一。御堂衆、燈明以下、役ニテ跡へカヘラレ候事 一。日没、短念佛上ラレ候事 一。私記ヨミ歸候時ノ事 一。衣ノ色クロキ事 一。遠國人被遣肴等事 一。御本寺之御住持ヲバアガムル事コレハ不可書申敷也 一。御堂ノ打置ヲバノケラレ、卓斗ヲカセラレタル事 一。御籠ノカケ様ヨマルノ事 一。實如ノ御時、本尊名號ノ事 一。座上ニヲカル、人々ノ事 一。法儀心ニ入タル人ヲ袴御免ノ事 一。一家衆、袴之儀、筑前被申事 一。一家衆ノ梳ノ事 一。六要抄ノ事 一。浄土具書ヨミ可申由、クハダテ候へ共、師匠ナク斷絶事 一。六要抄ハ、ヨミ申ベキ事モ 伺申、本ヲ可ニ仕立一事モ、實如上人へ申入

候事 一。ウツボ字ノ名號事 一。萬ノ外題事 一。田舎ヨリ上洛衆御相伴事 一。御相伴サセラル禪衣衆ノ事 一。代々ノ御命日之時ノ勤座事 一。勤ノ後、南ノ座敷アル時ノ事 一。蓮如御代、御内衆家ヲ被建候ニ、物被下タル事 一。蓮如御時、一家衆被申儀、伺ゾ物ヲ被下タル事 一。同實如御代御心ハセノ事 一。實如上人御時、過分ニ物ヲ進上候へハ、ナニ物トゾ必被遣事 一。上洛年頭、一家衆、御禮等被定事 一。徳度一家衆御禮等事 一。外人殊公シニテシテ御禮等被定事 一。徳度一家衆御禮等事 一。遠國人上洛儀日御相伴御精進事 一。慈鎮和尚御壽像事 一。遠國人上洛儀堅兩御代仰事 一。遠國俗人等同御調事 一。勤ハテ時分ノ事 一。二十七日ノ掃除之時、下間衆モ被出候ヒシ事 一。實如御時、御堂衆へ可有讃嘆一様、御文ヨムベキ様、被仰出候事 一。鐘ノ前ニ、本堂



ニテ實如仰事ニ、蓮如仰ヲ御物語事ワアミダキヤウハジメサマトウノ 一。阿彌陀經始樣等事ニチニシフゴニチニシフハチニチトウト

一。每月二十五日ノ事ニチニシフゴニチニシフハチニチトウト 一。實如御時、五日、二十五日、二十八日等、齋ニチニシフゴニチニシフハチニチトウト

日中以下ノ事 一。布施ノ引手等事ヒキテトウノ 一。實如御時、常御菜三三御ニチニシフゴニチニシフハチニチトウト

申候時、深御斟酌、冥加被ニ思食事メウカガテサルヲボシメ 一。霜月勤稽古事シモツキツツケイコノ 一。冥加メウカガ

之儀第一可存事キリタイイチニベキゾシズ 一。讚嘆申所ニ、相違之段、イカニモ能々可ヨクヨクベシ

ニ心得一被レ仰事ココロエル 一。蓮如上人、御手水ノ儀、水カナシク存候へ共、冥加メウカガ

ヲ被思食事サルヲボシメ 一。實如上人勤行單皮メサヌ事シチニヨシヤウニシヨウキヤウタビ 一。蓮如上人、朝レニヨシヤウニ

勤ニ、御ハダヨリ物メシカヘタル事ツトメオン 一。野村殿ニ、霜月二十八日ヲ、女房シユトリヨシマフスギナキコ

衆取越申儀無レ之事シユトリヨシマフスギナキコ 一。坊主衆、法儀之人、被レ懸ニ御目一候事オレフカウヒトカウヒト

親不孝ノ仁、孝行ノ仁ノ事オレフカウヒトカウヒト 一。賀州三ヶ寺壽像鑑如上人御時也事ホシゾウカイサンウラガキ

本尊開山裏書事ホシゾウカイサンウラガキ 一。霜月縁廊下イナハキ事シモツキエンロウカ 一。將軍御通之時シヨウケンチオホリノトキ

葬所之屋ツ、ム事ソウジヨノイヘ 一。野村殿ニ、正月十五日間、縁廊下筵敷事シヤウグワチジフゴニチカンエンロウカムシロシク

一。報恩講前進上物事ホノオンコノセンシウシヨウモノ 一。精進チカキニ精進入ト申事シヤウジンイリマフス 一。精進ホシヤウジン

トキノ事 一。女中方ノ事シヨチウガタ 一。一家衆有所事井チケシユアリドコロノ 一。毎月風呂ノマイクワチフコロノ

事 一。十二月ス、ハキ事シフニグワチ 一。御亭ノ座上、佛法世間ニ用ラル方ノ事オンテイザシヤウフチハフセケンモチヒカタ

一。凡僧方、法僧方用子細、條々事ボンソウカカタハフソウカカタモチユルシサイテウク 一。志可引之事前有之コトサシベキヒク

燈心二筋ヲ被レ用事トウシンニフタスジヲルモチ 一。二月十五日法事ノ事前ニモ註ニグワチジフゴニチハフジ 一。六時禮ロクジライ

讚ハ存如上人御代迄也并四反返之事サンソニヨシヤウニシヨウタイマデナリシヘンカヘシ井 一。御齋御相伴等案内之事オンチキゴサウハシトウアナイノ

一。男女タレモ御託言申ニ、女房衆方ニ、一切無ニ御知ニ子細事ナンニヨオワヒゴトマススニヨボウシユカタ井チセチナキオンシリシサイノ 一。讚ノサン

出様ノ事前有之歟ダシヤウオナジトキキチカチウ 一。實如上人、御往生ノ砌、條々被ニ仰置一候事シチニヨシヤウニシヨウウシヤウミキリテウクサレオホヤオカ

一。同時一箇條ノ事オナジトキキチカチウ 一。今一箇條ノ事イマ井チカチウ 一。二十八日以下、御命日ニシフハチニチイケゴメイニチ

ニ白小袖キル事シロコソデ 一。御住持様、御堂へ御出仕ノ時、御供多ハ不可然ゴチユンサマミドウゴシユチシトキオホキオホキサルベカシカ



事 一。蓮如上人、御内衆へ、細々被仰候事 一。邪法ヲ申仁ヲ生  
 害スルハ不可然事 一。後生ノ御免ト申事、何ノ經論ニアルヤノ事  
 一。蓮如上人、第一冥加ヲ被仰シ事 一。蓮如上人ハ、不孝不信ノ人ハ、  
 キラヒノ事 一。蓮如上人ハ、御膳ト被申ト、ハヤ御用ノコト思召出候事  
 一。蓮如上人、新衣ヲメシ候テハ、聖人ノ御前へ御マイリ、御用ニテ著シ候ト  
 御申候體ノ事

以上目錄終

昔人物語、又見及申事等、書註申條々

一。古者御堂衆ハ、六人候ツルト申、六人供僧トテ、是ハ平生精進ニテ候キ  
 妻子モナク、不斷經論聖教ニタツサハリ、法文ノ是非邪正ノ沙汰バカリニテ候  
 ツル由ニテ候。

一。綽如上人ノ、御時ヨリ、御堂衆ニ下間名字ノ人ヲナサレ、鑑取ト申テ、開  
 山聖人ノ御厨子ノ、役人ニテ候ツル由ニ候。御戸ハ御任持御役ナレバ如此由候。  
 一。當流ノ聲明ハ、小原流也。總而諸宗共ニ聲明ハ、小原、千本、兩  
 流ヲ本トスルナリ。然者圓如上人ノ仰事ニハ、下間名字ノ幼少ノ人ヲ、一人  
 小原ノ聲明師ノ弟子ニナシテ置、ヨク稽古ノ功エキ候ハ、コナタヘ取テラキ  
 テ聲明ノ譜ヲヨクナラハセ置テ、當流ニヨク可ニ覺悟ニ事也ト、仰セ候キ。



一。實如上人、被仰シハ、珠數ハタ、モタヌ物也、クルヘシ。蓮如上人モ御持候トテハ御クリ候シゾカシト、勤ノ座敷ニテモ仰事候シ。霜月廿六日ニ、日中ノ間ニ、仰キカセラレシ。御ソバチカク侍シ實圓ノ下ニ、北ニツキ申候時ノ事也。

一。御堂衆コンカウモハカデ、内陣ヲアルカレ候事、事ノ外曲言ト被仰候シ。總而御堂上檀ノ間ヲ、アナタコナタト、少事ノ儀ニアルカレ候事、不レ可然ト被仰候。内陣開山聖人ノ御座所ナレバ、可レ有ニ其心得一也。誰ヤラン承タルトテ、語申サレ候ハ、堂ノウシロヘ、堂衆、用事アリテ行通フ路ヲバ、別ニシタキ事ト、實如上人ニ被仰タルト申サレタル人候ヒシ。

一。實如被仰候シハ、蓮如上人前住仰事候シハ、何時ヲイハズ、佛前ノ花ノシホレシハ、ソレバカリタテカヘテモ、可レ然ト被仰シト實如被仰候シナリ。

一。座ニ付ベキ時ハ、ヘリニ衣ノスソモカ、ラヌヤウニ、ヘリヨリ二寸バカリノキ

テ付ベシノ扇ヲモ、ヘリニカ、ラヌヤウニ、是モ二寸モ、ノケテ置ベシ。

一。佛ヲオガムモ、手ヲアマリアゲタルモワロシ。又アマリサガリタルモ惡ナリ。ケサノムスビメノ上ニ、手ヲヲキタルヨシ。

一。オガムニ早クハテタルハ、麤相ニ敬ナクテ、見苦シキナリ。心ニ別ナル心モチハ、有ベカラザレ共、シミトトオガミ、シツカニシツカニ、オガミタルハヨシ。

一。子ムルハ第一ワロシ、見苦敷シテ不レ可然。内陣ノ衆ハ、老若トモニ先ヨク勤ラ付ベシ。助音ナキ不レ可然トテ、實如ハ、ツケウト御堂ニテ、勤ノ間ニ、御サイソク候。前住證如上人モ、付ラレウト仰事侍シ。

一。焼香ハ、蓮如ノ御時ハ、ワロキ沈ヲ焼香トテ、タカセラレ候。ヨキ沈ハカウバシク句候ヘバ、憂狂ナル心出キ、不レ可然トテ、カウバシカラヌヲ、タカセラレタルト、各物語候。當時ハヨキ沈タカセラレ候歟。先代ハ如此候事也。



一。御堂ノ上檀下、下檀トノ間ノ、ヤライハ、證如前住ノ御時ヨリ、出來候ノ實如ノ御代マデハ、ナキ事ニテ御用心トテサセラレ候。御尤ノ儀ニ候。他宗ノ人、聞候テ難シ申候事、御入候キ。

一。阿彌陀堂、御影堂ノ參錢ハ、昔ヨリ丹後、給ハル事ニテ候。蓮應丹後代ニ寄進被レ申候。明應五六奇特ノ志ニテ候トノ、御沙汰ニテ候キ。先阿彌陀堂斗ノヲ、寄進被レ申候テ、又一兩年後ニ、御影堂ノ參錢ヲモ、寄進被レ申上ニ候。殊勝ノ志ニ候ヨシ、其比ノ沙汰ノミニテ候キ。永正初比。

一。御堂、勤行ノヲハリニ、戸障子ハツシ、各々チサハガレ候事、實如ノ御時ハ見マイラセ候事ナク候キ。

一。皮足袋ヲバ、他宗ニ佛檀ノ内陣ニハ、入ズ候カ、尤ノ事ニ候。當流ニモ御用候ヘキ御事ニヤ。

一。勤行ノ時、シタウツハ、ハカセラル物ニ候ヤ。版コンカウノ緒ノ付ヤウモ、二筋ニテ、中へ足ヲサシ入候ヤウニ仕候。シタウツノ時ノ緒ノ付ヤウニテ候。コトニ開山ノ三百年忌ノ時ハ、ハカセラレ侍リキ。

一。寺内町ノ掟シ、番屋ニラサセラレ候シ。定テ今モ所持セラレタル人アルベク候歟。其内ニ吹物、音曲、停止ノ日ノ事、御佛事七日ノ間、毎月二十八日二十五日、盆、彼岸等、停止ノ事ナリ。魚賣買ナキ日、御遊山ナドノ日、御迎人ノ儀等、或鐘數ナド被レ注候シ。

一。末寺ニモ、一寺開山ノ日、勤行アリテ、齋ナドモ、昔ヨリアル事ニ候。然ハ其住持ハ、精進ニテ候キ。

一。蓮如上人ハ、野村殿、大坂殿、堺御坊、越州吉崎、播州英賀、參州土呂、同鷲塚、大和飯貝、紀州墨江別所ナドハ、開山ニテ御入候。但鷲塚



ハ實如ニテ、御入候歟。

一昔ハ客人、公家、并武家衆モ、精進ニテ、等御モテナシナリ。魚物ハ、不被レ出也。但不断ニ出入ノ輩、ソレハサモナク魚物ナリ。或ハ御遊山

ノ時節野山ニテ、樽モタセラル、モ、皆精進ナリ。然バ未々ノ、愚老コトキノ者ノ野山へ出申候モ、何ゾ御樽類歟又ハ小漬ナドモタセラル、ニモ皆精進也。

一實如ノ御時、山科殿ヨリ、大坂殿へ、御下之時。山科井チニテ一日ノウチニ、晝御休トテ、七个所ニテ、御小供御參ラセケル事アリキ。七个所ナガラ、精進ニシテラへ、進上候。前々如此候。

一面向ノ御客人ノ事、精進ニテ候ヲ、ヤブレ候事ハ、細河右京大夫政元號大心院ノ、ヤブレタル事ニ候。其初細々野村殿へ、政元被レ參候ニ、始ハ精進ニテ候ツルガ、或時政元、深草瑞林院ニ被レ申事ハ、本願寺へ行テナグサミ活計

セントオモハバ精進也。魚物ヲ被レ食候ト聞ニ、精進ニテ、何其ワロシト、物語セラレ候ヲ、瑞林院野村殿ニテ、蓮如前住へ被レ申候へバ、サラバ魚物ニテ細々、來臨ノ事ニテ候へバ、内者ノ心ニテ候トテ、其後魚物ニ成候テヨリ、破タル儀式候。其比政元以外ノ威勢ニテ、將軍モ不及之體ニ候ツル時節ナレバ、如此候。サレ共實如ノ御代モ、野山ソトニテノマカナヒハ、精進ノ事ニテ、昔ヨリ

リノ法儀ヤブレズ候。是後代マデモカ様ニ御座候ハ、他宗出家人御供申サル、時ハ、可レ然様體ニテ、御入候。

一祖師御命日、又御佛事中、益三箇日、彼岸一七日ノ御客人、昔ヨリノゴトク、精進ノ御アヒシラヒニテ候。今モ如此ニ御入候ハ、外聞ハヨク御入候へキ歟、出家ノ人ノ御相伴ノ時、魚物ナド、參候事、且以ナキ御事ニテ候。

一町中モ、御精進日ハ、樽ノサカナニテモ、御入候へ。御坊中、又町ヲモ、持

實語記

十七



トオル事、停止候キ。

一。實如ノ御時ハ、毎年三月二十四日夕、供御精進也。仍田舎末寺モ同前ニ候。蓮如御時モ、六月十七日、如此也ト承候キ。當時モ、八月十二日夕、サ様ニ可有御入一事ニ候也。

一。一家衆ノ物、又キカヘナド仕候座敷、御入候ハテハイカ、ニテ候。野村殿ニテハ、御堂北南兩所ニ屋候キ。小便所、手水桶ナド兩所ニ候キ。是又今モ御入候ハ、尤一家衆辱可存候。有所ナクテ、各一段迷惑仕候。

一。教行信證ハ、蓮如上人ノ仰ニハ、二十歳ヨリ内ニハ、ヨマスメカラズ候若時ハ、何トシテモ、聊爾ニ存スル間、二十ヨリ以後、ヨマスメシトノ仰候間、愚老モ二十五ニテヨミ申候。兄弟中、悉慶聞坊被教事候由、被申候テ

我等モヨミ果候テ、宿へ罷歸候時、前住様へ、講習申候テ、今拙者兄弟中ニモ、皆々教候トテ、落涙候ツル事ニテ候キ。慶聞ハ、大概空ニ一部ハ、被覺タルト見え申候キ。第一始一丁、御住持ニ請申候事トテ、各請申候。拙者モ少シ、實如へ請申候。御目カスミ候トテ、始少シ請申、次ヲ圓如へ、一丁斗ノ末ヲ請申候キ。實從順興寺同前ニ候キ。近年人々御堂ニテ、請申事ニ被申候。拙者ナドハ、南殿御亭ニテ、請申候キ。南殿ト申ハ、野村殿ニテ、蓮如御隱居方也。北殿ト申ハ、實如當御住持御座方ニテ候キ。

一。霜月二十八日、御齋モイマダ過サルニ、近年ハ御精進ホドキノタメトテ、魚物ヲ各進ト候。アマリニハヤク見え申候。野村殿ナドニテ、見及申サル御事ニ候。併二十八日ノ晚ハ、魚物モマイリ候様ニ、ウチ見マイラセ候體、見苦存候。古モ一向ナキ體ノ様申ス人モ候キ。コレハ御停止候テモ見ヨク



御入候へキ歟。

一。唐帽子ハ、四十五六歳ヨリ、代々カケラレ侍ルトミユ。必々其比ヨリ、各へモ御免候シ。蓮乗本泉寺五十三歳ノ時、御免、蓮綱松岡寺四十七歳ヨリ被懸候。蓮證報恩寺御免候テ、於ニ御堂ニモ、勤行中被懸候。同袴モ御免ニテ、白衣也。竹一檢校ニモ袴ヲ御免候テ、白衣ニテ候。絹袈裟ヲモ御免ニテ勤行ニ出候間、蓮如前住ノ御出立ニ同シク、蓮證下竹一ト兩人モ、蓮如ノコトク同シ出立ニテ侍シト、各語申シ侍リキ。

一。末々ノ一家衆、袴ヲ著候事、古ハナキ事ニ候。越前ノ吉崎立候テ、明ル年、蓮如御越年候シ。文明。正月二日、照護寺立永、年始ノ御禮ニ參候時著袴候テ、其後供御ニメシ候ニモ、年始ナレバ、著袴御相伴申候テ、其マ、又ギカテ著シ候事ニテ候ト、立永候テヨリ岡崎ト申所隠居主ノ雜談被申モ、聞

申タル事ニテ候。サラニ上ヨリ著シ候ト、被仰タル事モナクテ、イマニ加様ニ著シ候ト、カタリ被申候キ。然間永正十年比、野村殿へ實顯、超勝寺賢心瑞泉寺上浴申候、報恩講ニアヒ申サレ候時、袴ヲ一七日ノ間ヌガサセラレ侍シ、兩入外アマタ末ノ一家衆候ツル由ニ候。ミナノ袴ヲヌガセラレ、白衣ニテ侍リキ。實如上人ノ仰ニテ侍リキ。一七日ノ間、齋非時モ、如勤行一家衆ヲノノ加様ニ候キ。一七日スギテ北國へ下ラレ候時、近年著セラレタル事ニテ候程ニトテ、又著セラレキ。北國加州ニテモ、着仕ヘキカト被申候シニ、ソレハカサ子テ可有ニ御思案一候。マツ此間ノゴトク、末寺ノ間ニテハ、白衣タルヘシト、被仰候テ、北國ニテハ、白衣ニテ候ツルガ、袴ヲ着セラレタル方モアリゲニ候。コレハ勤行ナドニ被着候事、ミグルシク、他宗ノ人モ難シ申事ニテ候。

一。昔、東山大谷殿ナドニテハ、御坊中ニ、イツクニ女房衆御入候共、見エ



ズ候キト被<sup>レ</sup>申<sup>マ</sup>候。大谷殿ハ、本堂阿彌陀堂三間四面、御影堂ハ五間四面也。チイサク御入候ツル事ニ候。慶聞坊サシ圖ヲセラレ候ツル御亭ト御堂ノ間、竹亭トテ其間モ、二間バカリナリケルヲ、蓮淳ト拙者ト持申候キ。

一、蓮如御時ハ、晝夜不斷佛法ノ事ヨリ外之儀、被<sup>レ</sup>仰候ハヌ様ニ候シト、各被<sup>レ</sup>申候。第一、冥加ノカタ、事外ニ被<sup>レ</sup>仰候シト、各被<sup>レ</sup>申候事ニ候。當時ハ佛法方ノ事サヘ、被<sup>レ</sup>申出<sup>ヒ</sup>候人サヘ、且以候ハズ候。冥加ト申事ハ、カリソメニモ被<sup>レ</sup>申出<sup>ヒ</sup>一人承<sup>レ</sup>候ハズ候。勿體ナキ事ニ候也。

一、野村殿ニテ、武者小路殿ニハ、女房衆十人斗、比丘尼衆四人ニテ、若殿原衆ハ二人、下間源五、同名源十郎、刑部卿リヤウニシバカリ。年ノ時ハ、御ウヘニ奉公候シ、二十年バカリヨリ後ハ、イツレモオモテハ出ラレ御亭ニ嗣候被<sup>レ</sup>申候キ。

一、御ウヘニテ供御ナドノ、各一家衆、女房衆、御相伴之時ハ、雙方ヘツケラレテ、一方ハ法師衆、一方ハ女房衆ニテ、候ツル事ニ候。

一、一家衆ノムスメ共モ、ムカシハ和讃正信偈ヲモ、經ヲモヨミ申、御堂トドニテ、連經ノ時ハ、御簾ノ内ニ本ヲモチテ、付ラレ候ツル事ニ候。男子ハ沙汰ニ及ズ、ヲノノヨミ申候キ。當時ハサモ候ハヌ事ハ、如何。殿原衆殊更、下間名字、若年ノ衆ハ、脇ノ座ニテ經ヲモヲヨミ付ラレ候シ也。先年二十七日ノ晝夜ニ、實如ノ御時、アマリニ正信偈ナガク御入候時、助音衆コトノク次ノ句ヲ忘候テ、切タル事候シ。源五郎源左衛門只一人付ラレテ、ツギキ申事御入候キ。又其後モ、次ノ句ヲ忘タル事候ツル其時ハ、上檀ニタ、一人蓮藝候テ、ツツケラレ候事モ、御入候ツル。

一、人ノ志 申サレ候事ツツキテ、スキノナキ事候ツルニ、點心バカリ、ムシム



ギ、ウドム斗被申タル事候キ。一家衆直綴ニ扇持テ、袈裟ハカケズ候ツル。當時ハ、見及申サズ候間、書付申候。

一。代々ノ御影前ハ、燈明斗、燈明四日、十九日、二十日、二十九日、二十四日、十四日、十八日、斗參、抹香モ參候。其時ハ二十五日ハ、前住ニテ御入候間、申ニヲヨハス候。證如御代ヨリ、毎朝燈明ノ參候ハ、尤ノ御事ト申アヒ候。同正月ノ修正七箇日、彼岸七箇日、本尊ノ御前ノ蠟燭ノトボサレ候事、證如ノ御代ヨリ始候。是又尤ノ御事ト申候。

一。永録三年二月十五日ニ、御代ニ一度御入候松ハヤシ御入候ツルハ、他宗ノ人々事外ニ難シ申候。御事ニ候。一日御延引候テ、十六日ニ御入候ハ珍重ニ御入候事ニテ候。釋尊御命日ニ法事ノ御入候ハ又事ヲニ難シ申事ニテ候。松ハヤシハ如何御事候ヤト申事ニ候。

一。正月二十五日ニハ、蓮如ノ御時ハ、毎年三箇日御佛事御入候ト申仁モ御入候。覺不申候ト申仁モ御入候。毎月二十五日ニハ、御齋ハ、御入候ツルトキコエ申候。實如ノ御時ハ、前住ニテマシ候間、其ワケラ不存候キ。五六月二十五日、御齋御入候事ハ、注置候物ミエ申候。

一。蓮如ノ御時ハ、二十五日御齋前ニ、名號ヲ三百幅マデアソバサレ候ト、注タル物ニ御入候キ。然ハ二十八日、十八日、御齋前ニモ百幅二百幅名號ヲ被遊ル事ニ候間、實如ノ御時又同前ニ御入候ト。

一。二月十五日ニ、勤行齋ナド、御入ナキ儀、他宗ノ聞及候テ、事ノ外ニ不審ヲナシテ難シ申候事ニテ候ガ、如何ノ御事候ヤ、蓮如ノ御時ハ勤御入候ト申人モ候。圓如ニハ他宗難シ申事、御聞候。一段ト勝事ニ思食、實如ノ御時、可有御申トノ御事ニテ候キ。既益モ、彼岸モ、就ニ佛説ニ御入候ウヘハ



涅槃ハツト御入候ハテハ、不可レ叶ニ事トテ候ツル。諸宗一同涅槃儀アル事ニテ候由申候。

一〇堂ノ内陣ニ、疊マハリ敷ノ事。越中瑞泉寺ハ、綽如ノ御時、御建立ニテ候間、疊マハリ敷也。然而一亂ニ焼候テ後、草屋ニ坊中立候トキ、常ノ押版ニ仕候テヨリ、近年如此。此寺ヲ引テ立候間、本泉寺又マハリ敷ニ候ツルト申候。三河國土呂、播磨國ノ英賀、兩所共ニ、蓮如上人御建立、疊マハリ敷ノ内陣ニテ候。坊主衆ノ所モフルキ所ハ、疊ハマハリ敷ノ内陣多候ヘトモ一亂已後ハ、草屋ニ立候トテ、皆々常ノ押版ニテ候。二役本泉寺、始ハ内陣疊マハリ敷ニテ候ツル。一段トシゲク焼、五六度火事ニ及候テ、後ニハ草屋ニヨリ、常ノ押版ニテ候。

一〇昔ハ東山ニ御座候時ヨリ、御亭ハ、上段御入候ト各物語候。蓮如上

人御時、上段ヲサケラレ、下段ト同物ニ、平座ニサセラレ候。其故ハ、佛法ヲ御ヒロメ、御勸化ニツキテハ、上薦フルマヒニテハ、成ベカラズ。下主チカク、萬民ヲ御誘引アルベキユヘハ、イカニモ、下主チカク、諸人ヲチカク召テ、御ス、メ有ベキトテ、御事ニテ候ト、被レ仰候テ、平座ニ御沙汰候。アリガタキ御事ト、諸人申タルトテ、各宿老衆、カダリ申サレ候。實如上人モ、御物語ヲ、承候事ニテ候。定テ今モ存知ノ人候ヘク候也。

一〇女中方ニテ、一家衆、同女中衆、ヒトツニ供御ナド御入候時ハ、女中衆ハ内方、一家衆ハ庭ノ方、左右ニワケテ座ス。山科ニテ、御入候キ當時ハ、女中方ハ、上ニ御入候テ、男方衆ハ、下ニ御入候ヤウニ候。昔ハサハ御入候ハデ對座ノ心ニテ候キ。

一〇蓮如上人、御往生ノ砌ハ、御堂ニテ、二十五日、早引御入候キ。其後



兎角候テ一周忌、第三年ノ比、其内ノ比ヨリ、阿彌陀堂ニ、法然上人ノ御影ハ、懸ニ本堂ニ申候事候。實如上人ノ御代ヨリ、二十五日朝ノ、知恩講私記ハ、アソバサレヌ事ニ候。永正初比、光教寺蓮誓、實如上人へ被ニ申入候ハ、何トテ知恩講私記ハ、前住ハアソバサレタル事ニテ候ニ、アソバサレ候ハヌソト、尋申サレ候へバ、御返事ニハ、何共フシガ成カ子候ト、被レ仰タル事ニ候キ其趣、人ノ被レ語候間、蓮誓へ尋申候へバ、サ様ニ仰事候ツルト、物語健ウケタマハリコト

承候事ニ候。

一〇代々御影ヲ、二幅ニサセラレ候事。證如前住、御往生己後、祐誓慶壽院殿サセラレタル事ニ候。前ニハ一幅ニ七代ノ御影、御入候キ。八代ニ御成候間トテ、二幅ニサセラレタル御事ニテ候歟、他流ナドニハ七代ノ外別ニ書事候由申候カ但シ如何事候哉。

一〇御堂内陣、開山聖人、三百年忌比、昔内陣三間ノ座ノトオリニ、疊シカセラレ候ツレ共、下座ノ心ニテ、一家衆下輩ノ衆シカセラレ侍リ、烏丸殿ノ意見ニテ、御入候ツル歟。ガイサマナル由、各申事候キ。他宗ニハ、イク通モ押版キハヨリウシロノ方へ、下座ノ方へ、敷候テハ、佛ノキハガ上座ニテ、外ノ方ホト下輩ノ由、申事候。今面五間ニテ御入候間、昔ノゴトク三間ノトオリ疊シカセラレ、一家衆、着申テモ、可レ然御事ニ候ヤラム、然バ、則、上首着候テモ可レ然御入候ハン哉。然バ後ノ方ハ、下輩ノ着座勿論タルヘシ。

一〇代々ノ御影二幅ニ成申候事ハ、證如御往生候テヨリ、慶壽院殿鎮永ノ御料簡候前ハ、一幅ニ六代御入候ツル事ニ候。其後二代御影ノセ、被レ申候テ、八代御入候事ニテ候。天文二十三年以來ノ事ニテ候。

一〇代々御命日ニ、正信偈クリ引ニナリ、讚ノ終ユリノナク成候事ハ、證如



ノ御時ヨリノ事也。實如ノ御時マデハ、正信偈クリ引ニアラズ、少早御申候シ。讚ノ終ニモ、ユリ御入候事ニテ候キ。二十五日ニ、蓮如ノ御命日ナガラ、法然上人、御命日ニ候間、何トゾ可有ニ御座一事候哉。蓮如ハ山科殿、大坂殿ノ開山ナリ。法然聖人ノ御命日ニハ、蓮如ノ御時マデハ、速夜日中、齋御入候ツルト、各被レ申候。實如ノ御時ニハ、前往ニテ御入候間、速夜、日中眞ニ御入候間、法然聖人ノ御命日儀式、マギレ申候テ、此比ハ无分別ニ候、蓮如上人御時ニハ、法然聖人御命日、儀式御入候シ由、各申サレ候間此比モ其儀可有ニ御入候歟トゾ、各被レ申事ニ候。

一、實如上人ノ御時ハ、毎年色々ノ帷子ヲ下間野介ヤドニテ、五百サセテ、又イタテラレ候。同名兵庫助宿ニテ、二百以上七百ノ分サセラレ、五月五日ト、七月七日、不斷祇候ノ座頭三人、猿樂四五人、北國ヨリ上ラレ候

一家衆、遠國ヨリ上洛候坊主衆、又不斷御齋被レ申候。出家十人斗、以下ノ衆へ被レ下タル事ニテ候。

一、宿老衆物語申サレシハ、御本寺ニハ、ツトメノ調聲人、御本寺ニハ御堂衆、御同宿衆、ナドニハ、ハジメサセラレス、必ズ御留守ナドノ時ハ、一家衆ニハジメサセラレ候事ニテ候ヨシ、申サレ候。虚言申サヌ衆ノ物語ニテ候ツル事。

一、御本寺ニムカシハ、朝勤ノ正信偈ノゼニ御申候ハ、正月朔日ト、七月十五日ノ朝ト、一度ナラデハ昔ハゼニ御申ナク候由ニ候キ。其外ハ、正信偈ゼニハアラズ、ハカセニ御申候事ニテ候ト、物語候キ。上古ニカ様ニ御入候

事ニ候。定テ子細御入候ヘク候。

一、蓮如ノ御代ニハ、毎月二十五日ノ勤ノ後ニ、知恩講私記ヲアソハサレ候キ。實如上人ノ御時ヨリ、アソハサレズ候。蓮如ノ御時モ、何事ゾ御サシ合ノ時



ハ、私記ハアソハサレ候ハデ、早引ニテ御入候由ニ候。

一〇二十二日ハ、早引バカリ御入候ツルト被レ申候。蓮如上人ノ仰ニ、今日ハ太子講ノ私記ヲアソハサレ度候ト、度々仰事候ツルト、各宿老衆、物語ニ被レ申候。實如ノ仰ヲモ承候キ。

一〇二十七日モ、毎月兩師講式ヲ如ニ二十五日一常ノ勤ノ座敷ニテ、サハリニテモ、二十五日二十七日ノ式ハ、アソハサレ候由ニ候。御堂ニ七高僧ノ御影カ、リ申タル時モ候ツル。蓮如御往生、五六年後ハ、御堂ニカ、リ申候。七高僧ニテハ御入ナクテ、法然上人ヲノケラレ、六高僧ニテ野村殿ノ本堂ニ、カ、リ申タル事ニテ候。

一〇野村殿、南殿ニ、念佛行道堂ヲ、御タテ候テ、念佛ヲ行道ニオリテ、御申アリ度候ト、蓮如上人、度々仰事候ツルト、宿老衆モ、物語被レ申候。實如

上八モ、蓮如ノ仰トテ、御物語候ツルヲ、數度ウケ給候キ。サ候時分、永正十三年夏、南殿御亭ノ庭ニ、水ヲタ、ヘラレ候ヲ、半分程ヲメラレテ、持佛堂ヲ立ラレ候キ。ヤチハコケラフキ、本尊ハ、興正寺門徒ノ人、本尊ノ木佛ヲ寄進申タルヲ、スヘラレ候キ。其時ニハ行道堂ニテ侍ラント各申候キ、然共サ候ハデ、タ、ノ持佛堂ニテ、兩脇三尺餘押版ニ、一方ハ蓮如ノ御影ニ、三具足燈臺已下、如常。一方ハ蓮祐禪尼ノ御影カ、リ、三具足以下アリ、五日ノ朝ト、二十五日ノ朝ト、毎月勤行ニ御出候テ、實如上人御調聲アリ。二十五日、正信偈、又念佛正信偈ノ時モアリ、讚三首、五日ハ正信偈也、讚三首也。祥月ノ時ハ、太夜、日中、花束モ、打敷モアリ。助音何時モ同、御堂衆二人、一家衆、内陣衆斗參、助音申候也。

一〇蓮如上人御年忌、三年七年以下ノ一七日ノ御佛事ノ時ハ、南殿昔



ノ亭ニテ、一七日、毎日三ヶ度勤、亭ニテ御堂ノ後勤アリ。調聲ハ一家内陣ノ衆、老若共ニ、一遍カハリテ申也。助音衆、毎月五日、二十五日ノゴトシ。亭ノ佛前、蓮如御影、花束打敷アリキ。初中後ノ日中ニハ、實如上ノ人御出候テ、御調聲アリキ。實如ノ御時、御中陰同前タリキ。證如ノ御時ヨリ、無ニ此儀也。

一。報恩講ノ事、御文ニモアツバシラカレ候ゴトク、太夜過候ヘバ、人ヲコトク出サレ、御影堂ニ、一人モ人ナキヤウニ成候テ、ノゾミノ人、五人三人、残り候ヤウニ見エ候。人多キ時ハ、御堂衆、坊主衆、手蠟燭シツクヲトモシ持テ、人ヲ出サレ候テ、門ヲハタテ候。御影前ニハ、五十人、三十人候テ、第一坊主衆、改悔候テ、次ニ其外ノ人、一人ツ、前へ出ラレ、坊主衆ノ中ヲ、ワケラレラカレテ、前ニス、ミ、諸人改悔候間、一人ツ、ノ覺悟申サレ、聽聞申候ニ、

殊勝ニ候シ。縁ナドヨリ申候ハ、不可然候。一大事ノ後生ノ一儀ヲ縁ノ端ナドヨリ、被レ申候ハ、不可然トテ、一人宛、前へ出テ、改悔名ヲナノリ、高ラカニ被レ申候テ、一人々々ノ覺悟モ聞エ、殊勝ニ候キ。當時ノ様ニ、五十人百人ツレ一度ニ安心トテ、被レ申候ヘドモ、ワケモキコエズ、總々シキバカリニテ、何タル事ノタフトキトモ、義理ノ相違モ、何モキコエズ候事ハ、前代ナキ事ニテ候。

一。一七日ノ間ハ、佛法バカリニテ、世間ノ物語ノ一言モ、ナキヤウニ候ツル、蓮如ノ御時ノ事ヲバ、皆々被レ申候。又ハ實如モ、報恩講中ニハ、蓮如御代ノ事ヲバ、御物語候。御身ハ不信ニ御入候ト申、無辨ニ候テ、物語ヲモ、不レ申候ト、被レ仰候キ。齋、非時ノ上ニハ、大概、御法談候キ。勤行ノ上ニモ、時々御法談候キト、蓮如ノ御時ノ事、被レ申候キ。實如ノ御時モ、初中後ノ齋ノ上、御法談候キ。一家衆、齋非時前ニハ、寄合、法儀談合候キ。當時ハ、且



以無二其儀一候

三十一

一。勤ニ運如、常ニ仰事、實如御物語候事、數々御入候キ、忘申候正  
 信偈ヲ付候ニ、初二法藏菩薩ト云テ、ホサウト付ルハワロシホウザウトスセシ。又  
 回向ノ末、往生安樂國ノハジメ、ワウトロヲヒロゲ申ハ聞ニクシ、ヲウ生ト云心ニ  
 申ヘシト、コレヲバ常ニ、細々被レ仰シト、御物語候キ。其外仰無レ限事ニ候  
 一。念佛ヲカロク申ヘシ、讚ヲモカロク出スセシト條々仰事侍キ。毎朝勤ノ上  
 ノ百遍ハ、代々ノ報謝ノ心ト候。百返ヨリ、タテヌモワロシ、アマルモワロシト、仰  
 事候也。

一。淨土和讃ノ終ニ、歸命セヨノ命ノ字、ウノカナヲハリテ、申ハワロシ。ウセヨ  
 トキコエ、聞ワロシ。ウノ假名ソトカロク云セシト仰ナリ。加様ノ事アマタアリキ。  
 一。本堂ノ阿彌陀經ハ、嵯峨本トテ、彌陀經ノヌリ本候。漢音ヲウケタル本

ニテ候。綽如上人アソハサレタル阿彌陀經ヲ、披見申候ツルニモ、嵯峨本ノ  
 ゴトク、御付候テ、如レ此嵯峨本ノゴトク毎朝スセシト、奥書ニアソハシラカレ  
 候キ。此本ハ、漢音バカリニアラズ、吳音モ少マシリ、唐音モアリ。クダラヨミトア  
 聖德太子ノ百濟國ヨリ、取ヨセラレタルヨミニテ候間、クダラヨミト申ニテ候。當  
 時ハ、チ下カハリ申候歟。古圓如ノ御稽古候ツル件ノサガ本ニテ、御稽古候  
 キ。當時ハ、吳音オホクマシリタルヤウニ候。阿彌陀經、念佛百返ヨリアマリ候  
 へ、實如上人ハ物ヲ御ナラシ候テ御成敗候シ、タゞ百遍ヨク申ヘシト、被レ仰  
 候キ。

一。御影堂ノ、毎朝ノ短佛ハ、古ハナガク御入候キ。陀佛トハキコエス、  
 阿佛ト御申候ヤウニ、陀ノ字アタラデ御申候キ。子細アルベシ。  
 一。昔、上檀ノ人數、一家衆ハ、阿彌陀經已下、何ヲモ助音申サレ候キ。當



時ハ、一向助音イタサレズ、無言ナル事イハレナキ御事ニ候也、但シ如何。

一〇私記アソバシ候時、三ライ一向キコエ申候ハヌ事、如何御事候哉。實如

ノアソバシタル時ハアキラカニ、諸人ノ耳ニキコエ申候。少ハカスカニモ成ルヤウノ

時モ、御入候シ。圓如ハウチアケテ、アキラカニ候キ、ヒクカラヌ物ニテ有ベキ事ト

仰候キ。他宗ハ何宗モ、私記ノ調子ニ、出候。昔ハ何モ、高ク、出サレ候キ。

一〇日没モ、昔ハ七時打アリシ事、本式也。日ノ没スル時ノ聲明也。然ラ

永正七八年ノ時分ヨリ、八時ニナリタルヤツニ御座候間、則末寺ニモ、八時

ニ成タル事也。大坂殿ニモ永正十八年邊ニ、八時ニ有レ之。

一〇太夜ト申モ、昔ハ七時過半時也。大略六時以後有タル事也。實如御

時モ、大略六時打、二十七日、二十四日ノ太夜アリツル事ニ候。普請ノ時、

ヲソク七時打鐘候ヘバ、普請衆アガリ候トテ、太夜ヲ早クサセラレ、八時ニナリ

申候キ。普請ノアガリノ鐘ヲ、七時過ニツカセラレ候テ、八時ニ有ツル事也。太

夜ハ、ヨルガ本トミエ候也。善導和尚ノ行時ノ時分ニ候也。

一〇毎月ノ代々御命日ノ朝勤、正信偈ノ終クリ引ハ、證如ノ御時ヨリ、如

レ此讚ノヲハリ、ユリノナキ事、同御代ヨリ、被レ定也。實如ノ御時ハ、スコシ真ニ

御入候キ。平生ノ勤モ少真ニ、實如ノ御時ハ御入候キ、但不同ノ御事候キ。

一〇實如上ノ人御時ハ、ツヨク調子サガリ申候間、タカク被レ出候ツル事候

故、中山黃門宣親卿、小原ノ聲明師、名仁、語候ツルトテ、物語候ツルハ、

聲明ハサノミ高カラヌ事ニテ候ト、申タルト、物語申サレテヨリ、タカクハサノ

ミ御沙汰ナク候ツル。

一〇實如上ノ人、唐帽子カケラレテ、佛前へ御出仕ノ體ハ、カケラレナガラ、御

出候テ、座ニ御付候テ、御オガミ候ハントテ、帽子ヲ御取候テ、御オガミ候テ、